

令和2年度文化芸術による子供の育成事業-巡回公演事業-公演団体一覧

【A区分・B区分団体】

ブロック	分野	種目	公演団体名	対象学年				企画名	演目	複数年度実施
				小(低)	小(中)	小(高)	中			
B	音楽	合唱	東京合唱協会	○	○	○	○	楽しい合唱・ミュージカルとオペレッタ 【第1部】楽しい合唱 小学生 歌えバンバン・大きな古時計 等 中学生 ハレルヤ・アヴェヴェルムコルプス・ソーラン節 等 (省略) 【第4部】オペレッタ【あまんじやくとうりこ姫】台本:若林一郎 作曲:林 光		
B	音楽	オーケストラ等	仙台フィルハーモニー管弦楽団	○	○	○	○	J.ウィリアムズ作曲(アメリカ)「スター・ウォーズ」組曲より メイン・タイトル 【楽器紹介】「オーケストラの楽器たち」 ～スーザ:行進曲「星条旗よ永遠なれ」 【裏方スタッフ紹介】ステージマネージャー、ライブラリアン、インスペクター、企画制作スタッフ ほか (省略) PIチャイコフスキー作曲(ロシア)「バレエ組曲「くるみ割り人形」より 花のワルツ 他		
B	音楽	オーケストラ等	シエナ・ウインド・オーケストラ	○	○	○	○	夢とまほうの音楽会 ～ふしぎな楽器の世界へようこそ～ 【オープニング】リード:ギャロップ 【楽器紹介】小さな世界 【魔法の音楽①】「ハリー・ポッター」より「ヘドウィグのテーマ」 (打楽器アンサンブル)等 (省略) 【共演コーナー】サンドペーパーバレエ(ボディパーカッションで共演) 【魔法の音楽②】魔法使いの弟子～ホール・ニュー・ワールド～火祭りの踊り 他		
B	演劇	児童劇	有限会社 劇団風の子北海道	○	○	○	-	「マーレンと雨姫」 原作 テオドール・シュトルム「たるの中から生まれた話」 脚色 多田徹、中島西 演出 鳴海輝雅 美術 有賀二郎 音楽 岸 功、菊池大成		
B	演劇	児童劇	有限会社 劇団かかし座	○	○	○	-	Wonder Shadow Labo(よみ)ワンダー シャドウ ラボ (脚本・構成・演出変更・監修/太宰久夫 舞台美術/齋藤浩樹 衣裳/中矢恵子 共演児童衣裳/小林巨和振付/楠原竜也 舞台監督/杉村向陽、高橋信濃(Mals A Sol) 音響/山北史郎(山北舞台音響) 照明/坂本義美(龍前舞台照明研究所) 影絵美術監修/後藤圭 影絵美術/劇団かかし座美術部、小田純治、小島直子、とうたいう)		
B	演劇	演劇	特定非営利活動法人劇場創造ネットワーク	○	○	○	○	『フランドン農学校の豚 ～注文の多いオマケ付き～』 原作 宮沢 賢治、上演本 佃 典彦、演出 西沢 栄治、 美術 長田 佳代子、振付 神在 ひろみ、音楽 園田 容子、 照明プラン 横原 由祐、音響プラン 島 猛、衣裳 仲村 祐妃子		
B	演劇	ミュージカル	東京演劇集団 風	○	○	○	○	星の王子さま 原作:サンテグジュペリ 翻訳:内藤渥 構成・演出:浅野佳成/作曲:八幡茂	R1 (継続)	
B	舞踊	バレエ	スターダンサーズ・バレエ団	○	○	○	○	第1部 「バレエって何だろう」 構成・演出 小山久美 第2部 「舞台をみてみよう」 『シンデレラ』 原作: シャルル・ペロー 作曲: セルゲイ・プロコフィエフ 演出・振付: 鈴木稔		
B	伝統芸能	歌舞伎・能楽	公益財団法人 梅若研能会	○	○	○	○	●能「船弁慶」観世信光作 5番目物 猛得物 太鼓物 典拠(よりどころ) 義経記 平家物語 源平盛衰記 ●狂言「雷(かみなり)」和泉流 神鳴(かみなり) 大蔵流		
B	伝統芸能	邦楽	東京打撃団(和太鼓)	○	○	○	○	■萬葉(富田和明/作曲) ■焔迅(横山亮介/作曲) ■輪(露木一博/作曲) ■空透彩(内藤哲郎/作曲) ■X(高田淳/作曲) ■碧空(村山二郎/作曲) ■大太鼓(加藤拓哉/作曲) ■篠笛独奏(村山二郎/作曲)～華疾風(加藤拓哉/作曲) 等		
B	伝統芸能	演芸	日本講談協会	-	○	○	○	○しぼられ地蔵 ※必ずしもこの演目が掛かるとは限りませんが、 子供達の心に残るような教訓を含んだ演目を口演いたします。		
B	メディア芸術	メディアアート等	WOW	○	○	○	-	BAKERU - デジタルアートで「体感」する郷土芸能の世界 -		

【C区分団体】

A・B・E	音楽	オーケストラ等	[C区分]東京フィルハーモニー交響楽団	○	○	○	-	オーケストラ公演<東京フィルがやってきました！> ・オープニング : トアンダーソン:舞踏会の美女 ・楽器紹介(弦楽器、木管楽器、金管楽器、打楽器の紹介)トアンダーソン楽曲より (省略) ・鑑賞:小学校が選曲した楽曲の演奏(以下の中から選曲) トロジャース:サウンド・オブ・ミュージックより トム・ルグスキー:展覧会の絵 トドヴォルサーク:交響曲第9番「新世界より」から第4楽章 ・アンコール : J.シュトラウス:ラデッキー行進曲 他	
B・C	伝統芸能	歌舞伎・能楽	[C区分]一般社団法人京都能楽囃子方同明会	○	○	○	○	音楽として聴く「囃子堂」 早笛 三番三 共演 神楽 獅子	

※複数年度実施欄に「H30」の記載がある団体は平成30年度から、「R1」の記載がある団体は令和元年度から、「R2」の記載がある団体は令和2年度から3年間同じブロックで公演を行う団体です。

※<http://www.kodomogetjutsu.go.jp/junkai/kouen.html>から、団体のホームページや現在実施されている令和元年度の情報を閲覧することができます。

A・B区分団体													C区分団体	
	B12	B13	B14	B15	B16	B17	B18	B19	B20	B21	B22	K121	K119	K120
	東京合唱協会	仙台フィルハーモニー管弦楽団	シエナ・ウインド・オーケストラ	有限会社 劇団 風の子北海道	有限会社 劇団 かかし座	特定非営利活動法人 劇場創造ネットワーク	東京演劇集団 風	スターダンサーズ・パレエ団	公益財団法人 梅若研能会	東京打撃団 (和太鼓)	日本演劇協会	WOW	東京フィルハーモニー交響楽団	一般社団法人 京都音楽職子方 同明会
巡回ブロック	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	A・B・E	B・C
項目	合唱	オーケストラ等	オーケストラ等	児童劇	児童劇	演劇	ミュージカル	パレエ	歌舞伎・能楽	邦楽	演芸	メディアアート等	オーケストラ等	歌舞伎・能楽
前日仕込みの有無	なし	なし	なし	なし	なし	なし	あり	あり	なし	なし	なし	あり	なし	なし
6月1日	月				○			移	○					○
6月2日	火				○			○	○					○
6月3日	水				○			○	○					○
6月4日	木				○			●	○					○
6月5日	金				○			○	○					○
6月6日	土													
6月7日	日							移	移					
6月8日	月							○	○					○
6月9日	火							○	○					○
6月10日	水							●	○					○
6月11日	木			○				○	○					○
6月12日	金			○				○	○					●
6月13日	土													
6月14日	日		移			移								
6月15日	月		●			○								○
6月16日	火		○			○								○
6月17日	水		○			○								○
6月18日	木		○			○								○
6月19日	金		○			○								○
6月20日	土													
6月21日	日		移						移				移	
6月22日	月		●						○				○	○
6月23日	火		○						○				○	○
6月24日	水		○						○				○	○
6月25日	木		○						○		移		○	○
6月26日	金		○						○		○		○	●
6月27日	土													
6月28日	日					移					○		移	
6月29日	月			○		○					○		○	○
6月30日	火					○					○		○	○
7月1日	水					○					○		○	○
7月2日	木					○					○		○	○
7月3日	金					○					○		○	○
7月4日	土										○		○	●
7月5日	日										○		○	○
7月6日	月										○		○	○
7月7日	火			○							○		○	○
7月8日	水			○							○		○	○
7月9日	木			○							○		○	○
7月10日	金			○							○		○	○
7月11日	土										○		○	○
7月12日	日										○		○	○
7月13日	月													○
7月14日	火													○
7月15日	水													○
7月16日	木													○
7月17日	金													○
7月18日	土													○
7月19日	日													○
7月20日	月													○
7月21日	火													○
7月22日	水													○
7月23日	木													○
7月24日	金													○
7月25日	土													○
7月26日	日													○
7月27日	月													○
7月28日	火													○
7月29日	水													○
7月30日	木													○
7月31日	金													○
8月1日	土													○
8月2日	日													○
8月3日	月													○
8月4日	火													○
8月5日	水													○
8月6日	木													○
8月7日	金													○
8月8日	土													○
8月9日	日													○
8月10日	月													○
8月11日	火													○
8月12日	水													○
8月13日	木													○
8月14日	金													○
8月15日	土													○
8月16日	日													○
8月17日	月													○
8月18日	火													○
8月19日	水													○
8月20日	木													○
8月21日	金													○
8月22日	土													○
8月23日	日												移	○
8月24日	月												○	○
8月25日	火												○	○
8月26日	水												○	○
8月27日	木													○
8月28日	金													○
8月29日	土													○
8月30日	日												移	○
8月31日	月												○	○

	A・B区分団体												C区分団体	
	B12	B13	B14	B15	B16	B17	B18	B19	B20	B21	B22	K121	K119	K120
	東京合唱協会	仙台フィルハーモニー管弦楽団	シエナ・ウインド・オーケストラ	有限会社 劇団 風の子北海道	有限会社 劇団 かかし座	特定非営利活動法人 劇場創造ネットワーク	東京演劇集団 風	スターダンサーズ・パレエ団	公益財団法人 梅若研協会	東京打撃団 (和太鼓)	日本演劇協会	WOW	東京フィルハーモニー交響楽団	一般社団法人 京都音楽職子方 同明会
巡回ブロック	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	A・B・E	B・C
項目	合唱	オーケストラ等	オーケストラ等	児童劇	児童劇	演劇	ミュージカル	パレエ	歌舞伎・能楽	邦楽	演芸	メディアアート等	オーケストラ等	歌舞伎・能楽
前日仕込みの有無	なし	なし	なし	なし	なし	なし	あり	あり	なし	なし	なし	あり	なし	なし
9月1日	火													
9月2日	水													
9月3日	木													
9月4日	金													
9月5日	土													
9月6日	日													
9月7日	月			○										
9月8日	火			○										
9月9日	水			○										
9月10日	木			○										
9月11日	金			○										
9月12日	土													
9月13日	日													
9月14日	月			○										
9月15日	火			○										
9月16日	水			○										
9月17日	木			○										
9月18日	金			○										
9月19日	土													
9月20日	日													
9月21日	月													
9月22日	火													
9月23日	水			○										
9月24日	木			○										
9月25日	金													
9月26日	土													
9月27日	日	移								移				
9月28日	月	○		○						○		●		
9月29日	火	○		○						○		○		
9月30日	水	○		○						○		○		
10月1日	木	○								○		○		
10月2日	金	○		○						○		○		
10月3日	土									○		○		
10月4日	日	移								移				
10月5日	月	○								○		●		
10月6日	火	○								○		○		
10月7日	水	○		○						○		○		
10月8日	木	○		○						○		○		
10月9日	金	○		○						○		○		
10月10日	土									○		○		
10月11日	日									移		移		
10月12日	月			○				○		○		○	●	
10月13日	火			○				○		○		○	○	
10月14日	水			○				●		○		○	○	
10月15日	木			○				○		○		○	○	
10月16日	金			○				○		○		○	○	
10月17日	土													
10月18日	日	移	移				移	移	移		移			
10月19日	月	○	●	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
10月20日	火	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
10月21日	水	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
10月22日	木	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
10月23日	金	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
10月24日	土						●							●
10月25日	日	移					●		移	移				
10月26日	月	○			○		○	○	○	○		○	○	○
10月27日	火	○			○		○	○	○	○		○	○	○
10月28日	水	○			○		○	○	○	○		○	○	○
10月29日	木	○			○		○	○	○	○		○	○	○
10月30日	金	○			○		○	○	○	○		○	○	○
10月31日	土						○							
11月1日	日						○		移					
11月2日	月			○	○		○	○	○					○
11月3日	火						○							
11月4日	水			○	○		○		移			○		○
11月5日	木			○	○		○		○			○		○
11月6日	金			○	○		○		○			○		○
11月7日	土						○							
11月8日	日	移					○			移				
11月9日	月	○		○	○		○	○	○	○		○		○
11月10日	火	○		○	○		○	○	○	○		○		○
11月11日	水	○		○	○		○	○	○	○		○		○
11月12日	木	○		○	○		○	○	○	○		○		○
11月13日	金	○		○	○		○	○	○	○		○		○
11月14日	土						○							
11月15日	日	移					○		移					
11月16日	月	○	●	○	○		○	○				○		○
11月17日	火	○	○	○	○		○	○				○		○
11月18日	水	○	○	○	○		○	○				○		○
11月19日	木	○	○	○	○		○	○				○		○
11月20日	金	○	○	○	○		○	○				○		○
11月21日	土						○	○						○
11月22日	日						○							
11月23日	月						○			移				
11月24日	火			○	○		○	○		○		○		○
11月25日	水			○	○		○	○		○		○		○
11月26日	木			○	○		○	○		○		○		○
11月27日	金			○	○		○	○		○		○		○
11月28日	土						○	○						
11月29日	日						○			移				
11月30日	月					○	○	○		○	移		○	○

	A・B区分団体												C区分団体	
	B12	B13	B14	B15	B16	B17	B18	B19	B20	B21	B22	K121	K119	K120
	東京合唱協会	仙台フィルハーモニー管弦楽団	シエナ・ウインド・オーケストラ	有限会社 劇団 風の子北海道	有限会社 劇団かかし座	特定非営利活動法人 劇場創造ネットワーク	東京演劇集団 風	スターダンサーズ・バレエ団	公益財団法人 梅若研能会	東京打撃団 (和太鼓)	日本演劇協会	WOW	東京フィルハーモニー交響楽団	一般社団法人 京都楽楽囃子方 同明会
巡回ブロック	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	A・B・E	B・C
項目	合唱	オーケストラ等	オーケストラ等	児童劇	児童劇	演劇	ミュージカル	バレエ	歌舞伎・能楽	邦楽	演芸	メディアアート等	オーケストラ等	歌舞伎・能楽
前日仕込みの有無	なし	なし	なし	なし	なし	なし	あり	あり	なし	なし	なし	あり	なし	なし
12月1日 火						○	○	○	○	○		○	○	○
12月2日 水			○			○	○	○	○	○		○	○	○
12月3日 木			○			○	○	○	○	○		○	○	○
12月4日 金						○	○	○	○	○		○	○	○
12月5日 土						●	○			○				○
12月6日 日						●		移					移	
12月7日 月			○			○	○	○				●	○	○
12月8日 火						○	○	○				○	○	○
12月9日 水						○	○	○	●			○	○	○
12月10日 木						○	○	○	○			○	○	○
12月11日 金						○	○	○	○			○	○	○
12月12日 土						●								○
12月13日 日						●		移						○
12月14日 月			○			○	○	○						○
12月15日 火			○			○	○	○						○
12月16日 水			○			○	○	○	●					○
12月17日 木			○			○	○	○	○					○
12月18日 金			○			○	○	○	○					○
12月19日 土							○							○
12月20日 日								移						○
12月21日 月			○			○	○	○						○
12月22日 火			○			○	○	○						○
12月23日 水			○			○	○	○						○
12月24日 木						○	○	○						○
12月25日 金			○				○							○
12月26日 土														○
12月27日 日														○
12月28日 月														○
12月29日 火														○
12月30日 水														○
12月31日 木														○
1月1日 金														○
1月2日 土														○
1月3日 日														○
1月4日 月														○
1月5日 火														○
1月6日 水														○
1月7日 木														○
1月8日 金														○
1月9日 土														○
1月10日 日														○
1月11日 月														○
1月12日 火							○						移	○
1月13日 水							○	移					○	○
1月14日 木							○	○					○	○
1月15日 金							○	○					○	○
1月16日 土														○
1月17日 日														○
1月18日 月							○							○
1月19日 火							○	○						○
1月20日 水							○	●						○
1月21日 木							○	○						○
1月22日 金							○	○						○
1月23日 土							○							○
1月24日 日														○
1月25日 月							○	○					移	○
1月26日 火							○	○					○	○
1月27日 水							○						○	○
1月28日 木							○						○	○
1月29日 金							○						○	○
1月30日 土														○
1月31日 日														○

VI 令和2年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野, 種目(該当する種目に○を付してください。)

分野	種目
【音楽】	<input checked="" type="checkbox"/> 合唱) オーケストラ等, 音楽劇
【演劇】	児童劇, 演劇, ミュージカル
【舞踊】	バレエ, 現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸

申請する区分に, ○を付してください。

A区分のみ) ・ A区分とB区分の両方 ・ C区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)

あり ・ なし

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

- (1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能
 (2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能
 (3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能
 (4) その他()

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	かぶしがいしゃ とうきょうがっしょうきょうかい 株式会社 東京合唱協会				
代表者職・氏名	代表取締役 内藤彰				
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒178-0063 東京都練馬区東大泉 3-22-15 シンフォニープラザ2F (西武池袋線大泉学園北口徒歩6分)				
電話番号	03-3867-8008 F A X 番号 03-3867-8868				
ふりがな 公演団体名	とうきょうがっしょうきょうかい 東京合唱協会				
代表者職・氏名	音楽監督 内藤彰				
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒178-0063 東京都練馬区東大泉 3-22-15 シンフォニープラザ2F (西武池袋線大泉学園北口徒歩6分)				
制作団体 設立年月	1984年 4月				
制作団体 組織	<table border="1"> <thead> <tr> <th>役職員</th> <th>団体構成員及び加入条件等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>代表取締役 音楽監督; 内藤 彰 監査; 浅見会計事務所 指揮者; 内藤 裕史 文化庁公演担当; 鈴木 光子 財務担当; 中川游子 文化庁・衣装・小道具担当; 鈴木 由美子 コンサートマスター; 星野 淳</td> <td> 団員 40名 加入条件 下記の条件を満たした者の中から、オーディションに合格後、半年間の試用期間を経て正式採用される。現時点の判断基準は新国立劇場はじめ、国内の有力オペラ団体でソリストを務めるか、又はそれと同等の実力を有し、かつ合唱に必要とされる唱法をもマスターし得た者であること。さらに、青少年の教育活動に心からの積極性を有する者。 </td> </tr> </tbody> </table>	役職員	団体構成員及び加入条件等	代表取締役 音楽監督; 内藤 彰 監査; 浅見会計事務所 指揮者; 内藤 裕史 文化庁公演担当; 鈴木 光子 財務担当; 中川游子 文化庁・衣装・小道具担当; 鈴木 由美子 コンサートマスター; 星野 淳	団員 40名 加入条件 下記の条件を満たした者の中から、オーディションに合格後、半年間の試用期間を経て正式採用される。現時点の判断基準は新国立劇場はじめ、国内の有力オペラ団体でソリストを務めるか、又はそれと同等の実力を有し、かつ合唱に必要とされる唱法をもマスターし得た者であること。さらに、青少年の教育活動に心からの積極性を有する者。
役職員	団体構成員及び加入条件等				
代表取締役 音楽監督; 内藤 彰 監査; 浅見会計事務所 指揮者; 内藤 裕史 文化庁公演担当; 鈴木 光子 財務担当; 中川游子 文化庁・衣装・小道具担当; 鈴木 由美子 コンサートマスター; 星野 淳	団員 40名 加入条件 下記の条件を満たした者の中から、オーディションに合格後、半年間の試用期間を経て正式採用される。現時点の判断基準は新国立劇場はじめ、国内の有力オペラ団体でソリストを務めるか、又はそれと同等の実力を有し、かつ合唱に必要とされる唱法をもマスターし得た者であること。さらに、青少年の教育活動に心からの積極性を有する者。				

事務体制の担当	専任 ・ <input checked="" type="radio"/> 他の業務と兼任	本事業担当者名	鈴木光子 内藤彰
経理処理等の 監査担当の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無	経理責任者名	浅見 透
制作団体沿革	1984年、音楽監督に内藤彰を擁し、オペラや様々なコンサートでソロ活動をしている声楽家を中心に結成され、これまで定期演奏会、各地での特別演奏会、ファミリーコンサート、第九公演等の他年間40～50回の学校公演を行っている。その他NHKFM、NHK学校放送、教育用CDの録音、他多数のTV番組に出演。また、バイエルン国立歌劇場日本公演（NHKホール）の合唱に30名がエキストラ出演し、同歌劇場からその高い歌唱力を絶賛された。オーディションで入団した団員たちの多くがその後日本音楽コンクール等各種のコンクールに入賞又は国内外の主要歌劇場でソリストを務めるまでに至る一方、合唱団員としても音楽教育の必要性を強く認識し、学校鑑賞教室をソロ活動同様、各自の重要な任務と真摯に位置づけ活動している。		
学校等における 公演実績	上記‘沿革’記載の公演他、学校公演としては、例年長野県下各地区における15～20公演をはじめ、福生市内の小中学校公演(福生市教育委員会主催)他、富士見市、富士市、天童市、米沢市、上山市、福井市、伊丹市、長崎市他の教育委員会主催の鑑賞教室を初め、全国各地の小中学校から高等学校まで毎年40～50公演の学校公演を行っている。創立以来延べ1700校以上の学校で80万人近くの生徒さんに、私たちのオリジナル公演を聴いて頂いている。		
特別支援学校に おける公演実績	平成19年11月【本物の舞台芸術体験事業】にて養護学校で、平成22年10月には盲学校、23年2月には養護学校で23年9月、10月、25年11月、26年11月にはそれぞれ特別支援学校で公演した。他にも数回の経験がある。		
参考資料の 有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
		申請する演目のDVDまたはWEB公開資料	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	http://tokyo-gk.jp
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:
	Aの 提出が 困難な 場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容のDVDまたはWEB公開資料	有 ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	
※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード		ID: PW:	

A区分・B区分・C区分共通

No.2(実演芸術)

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 東京合唱協会】

対象	小学生(低学年・中学年・高学年)・中学生			
企画名	楽しい合唱・ミュージカルとオペレッタ			
本公演演目 原作/作曲 脚 本 演出/振付	<p>【第1部】楽しい合唱 (25分)</p> <p>小学生 歌えバンバン・大きな古時計・ピクニック・ソーラン節・フニクリフニクラ・翼をください・YUME日和・気球に乗ってどこまでも・ハレルヤ・ピリブ等より数曲</p> <p>中学生 ハレルヤ・アヴェヴェルムコルプス・ソーラン節・フニクリフニクラ・流浪の民・モルダウ・大地讃頌・群青・花(女声)・いざ起て戦人よ(男声)他より数曲</p> <p>【第2部】独唱または二重唱と四重唱 (ご希望の全員合唱を一緒に歌います) (12分)</p> <p>全員合唱 学校の希望曲(校歌を含む)</p> <p>独唱 さっちゃん、おしえて、エーデルワイス、オーソレミオ等 (より各校が選択)</p> <p>四重唱 筑波山麓男声合唱団(コミカルな演技を伴う男声四重唱)</p> <p>【第3部】歌って踊って(華やかに衣装も替えて)(下記の中から1曲選択)</p> <p>【ディズニー・メドレー】 (13分) (生徒参加・簡単な振り付けあり) ハイホー・星に願いを・チムチムチェリー・ピピディバピディブー・小さな世界 他</p> <p>【サウンド・オブ・ミュージックより】(11分) (生徒参加・簡単な振り付けあり) テーマ・マリア・一人ぼっちの羊飼ひ・エーデルワイス・ドレミの歌・すべての山に登れ</p> <p>中学生は他に・歌劇【カルメン】より「ハバナラ」または「闘牛士の歌」 (生徒参加・簡単な演技あり)</p> <p>・歌劇【椿姫】より「乾杯の歌」 (8分)</p> <p>…………… 休憩 10分 ……………</p> <p>【第4部】オペレッタ【あまんじゃくとうりこ姫】台本;若林一郎 作曲;林 光 (28分) 公演時間小学校(90分)中学校(100分)</p>			
著作権	×	制作団体が所有	○ 制作団体以外が所有する事項が含まれる	有 (制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾の有無
演目概要	<p>第一部 通常の合唱曲も、曲によっては音楽に合った振り付けやコミカルな演技、簡易な楽器も加える等により視覚・音楽の両面で、大変楽しく鑑賞出来ます。 (学校の希望曲も相談に応じます)</p> <p>第二部 ソリストの本格的独唱やコミカルな四重唱等</p> <p>第三部 (女性団員は華やかなドレスに着替え登場します) 生徒さんの参加型 「乾杯の歌」や、【カルメン】より「ハバナラ」は、日本有数の歌劇場で実際にソロを歌っている団員を中心に、歌劇場を彷彿させる総合歌唱力と演出に生徒さんは魅了され、貴重な体験をして頂けます。 【ディズニー】メドレー・【サウンド・オブ・ミュージック】メドレーに振り付けられた踊りや、様々に変化する歌い手のフォーメーションの変化の多彩さは(DVD参照)、20年以上にわたり、編曲・振り付け等に改良を重ね、当団にしか出来ないオリジナル版として、親しみあるメロディと高度な歌唱力に伴われ大変好評です。</p> <p>第四部 オペレッタ【あまんじゃくとうりこ姫】 瓜から生まれたうりこ姫(Sop)は、ぱっさ(Alt)とじっさ(Br)夫婦に大切に育てられ、素直で綺麗な娘に成長しました。しかしそのうりこ姫を狙って、少し間抜けな殿様(Br)とその家来(Ten)が姫をさらいに来ます。うりこ姫の危機を知った、普段いらずら好きで嫌われ者の「あまんじゃく」は、機転を利かしながらいりこ姫を必死に助けます。助けられたうりこ姫と老夫婦は、最後にあまんじゃくに感謝して、ハッピーエンドとなります。 このオペレッタを、機織り機、障子(影絵照明含む)、引き戸、背景等の本格的舞台装置と照明、本格的な衣装、小道具を駆使し、ハイレベルな歌と演技でお楽しみ頂けます。 提出しましたDVDをご覧になればお分かりになりますが、演奏水準、エンタテイメント性、セットから衣装やメイク等に至るまで、オペラ専門団体同様の、極めて高い水準にてご鑑賞頂</p>			

	<p>けます。しかも完璧な設営・準備の下、第3ステージ(ミュージカル)のセッティングからわずか10分の休憩中に、オペレッタへの舞台転換(セット作りから着替え、メイクまでも含む)を完了致します。</p>
<p>演目選択理由</p>	<p>当団の特色は、日頃オペラ等のソリストを務める歌唱力と演技力を持ち合わせた団員が多く在籍しており、しかもオペラ歌手にありがちな“素晴らしい声だが緻密なアンサンブル能力や、醸し出すハーモニーの純粹さに欠ける”と言う欠点を防ぐべく、ノンヴィブラート唱法や、より美しいアンサンブルを目指した高度な歌唱技術も習得したメンバーにより、構成されています。</p> <p>プログラミングは、こういった稀有な特色を持つ合唱団ならではのバラエティに富んだもので、とかく合唱団にありがちな、立って歌うだけの変化に乏しい演奏スタイルから脱却、全てのコーナーで、オペラ等で訓練された視覚的効果をも考慮した、楽しく、最後まで聴衆を引き付けて止まないステージ構成になっています。すなわち、純正調の倍音が響き渡る通常の合唱曲の他、独唱、四重唱からオペラ、オペレッタ、ミュージカルに至るクラシックの音楽に関するあらゆる形態を、一度の公演で高水準に楽しむことが出来るように、という配慮の下に、当団は楽曲を選択しています。</p> <p>このような当団の確固たる信念と方向性があるからこそ、生徒さんは約100分の公演を、最後まで飽きる事なく、夢中になることができます。</p>
<p>児童・生徒の共演，参加又は体験の形態</p>	<p>【第1部】の曲の中から共演曲を選ばれる場合</p> <p>① 校歌の共演；生徒さん全員が通常通り旋律を歌い、わたしたち合唱団が対旋律、ハーモニー等を付けることにより、校歌の魅力を再発見することでしょう。</p> <p>② 合唱部との共演；ワークショップで合唱部の指導をし、希望曲を私達と合唱部が舞台上で合同演奏をします。(合唱部以外にも、クラス対抗合唱コンクール優勝クラスとの合同合唱等、ご希望な形に対応することも可能です)</p> <p>③ 合唱曲を全校生徒と共演；全校生徒が演奏可能な合唱曲がある場合、色々な形態をご相談し、一番効果的な合唱形態で合同合唱を致します。</p> <p>【第3部】の曲の中から共演曲を選ばれる場合</p> <p>④ 【ディズニーメドレー】では、私達が有名な映画のテーマ音楽を順にメドレーで歌い踊った後、終曲(小さな世界)で、特別編曲された入場の音楽に乗って生徒さんが舞台上に登場し、当団団員と一緒にワークショップで練習した歌と踊りを披露します。特にこの曲では、歌の終わりに団員と生徒さん全員で美しいフォーメーションを造り、見事に決まったその華やかな一体感はその場に居合わせたすべての者に感動を与え、共演形態の理想の姿と言えます(提出しましたパンフレット参照)。(20人~60人位の生徒さんの参加が可能です)</p> <p>⑤ 【サウンド・オブ・ミュージック】も同様に進行、私達がメドレーで数曲歌い踊った後、特別編曲されたマーチに乗って生徒さんに登場していただき「ドレミの歌」から共演していきます。事前指導しました振り付けに従って共に歌い踊り、終曲の「すべての山に登れ」では、歌いながら美しいフォーメーションを作り上げ、鑑賞者共々感動的に終わります。(20人~60人位の生徒さんの参加が可能です)</p> <p>⑥ オペラ【カルメン】より「ハバネラ」または「闘牛士の歌」でソリストのアリアの合間に、生徒さんと私達が一般大衆役として、簡易な演技をしながらソリストと交互に掛け合いで歌う等により、場面を盛り上げて行きます。</p> <p>生徒さんがオペラの一場面に参加することによって、合唱はただ立って歌うものというイメージを払拭、音楽は生き物であって、相手の出方やその場の状況に応じ臨機応変に変化して行く事を、歌と共にそれを体ごと表現することにより学びます。</p> <p>また曲は、生徒さんが歌唱可能なように編曲しております(模範DVDを事前に送付致します)。(20人~60人の生徒さんの参加が可能です)</p> <p>いずれの曲も、生徒さん用の簡易な衣装を当団が用意することにより、ステージに彩りを添えとともに、生徒さんの演奏意欲を高め、私たち合唱団との更なる一体感の向上に貢献しています。</p> <p>以上の曲の中から、事前に学校側に選択していただきます</p>

出 演 者	ソリストの多くは厳格なオーディションを受け当団の団員となった者(新国立劇場、二期会、藤原歌劇団等のソリストや、「第九」や宗教曲のソリスト経験者が多い)で、合唱団員もほぼ同等な経験と資格を有している。指揮者は国内外のオーケストラやオペラ指揮で活躍している内藤彰(日本指揮者協会幹事)他		
公演出演予定者数 (1公演あたり)	出 演 者: 33 名 スタッフ: 4 名 合 計: 37 名	機 材 等 運搬方法	積載量 2 t 車 長 5 m 台 数 1 台

公演に当たっての 会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。					
会場設営の所要時間 (タイムスケジュール)の目安	前日仕込み(有・無) 会場設営の所要時間(時間程度)					
	到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出
	7時半	7時半～12時	1時半～3時	10分	3時半～4時半	4時半
※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。						
児童・生徒の 参加可能人数	ワークショップ	10人～100人;人数は厳密ではございません				
	本公演	30人～1000人				
ワークショップ 実施形態 及び内容	<p>主たる指導者と歌手、振り付け・演出家計5人とピアニストが、歌の指導と共に振り付けの仕方や、全体のフォーメーションの作り方を、模範を示しながら体系的に指導していきます。初めは躊躇しがちな生徒さんたちが、短時間のうちに芸術と一緒に作り上げていく喜びと驚きを体感しながら、急激に本物になって行く姿は、生徒参加型公演としてのひとつの理想的な展開を示しています。</p> <p>●前頁①～③⇒学校のご希望によってはそれぞれのパート指導、全体指導を行います。</p> <p>●④～⑥⇒生徒さんや、前もって指導される先生方の為に、楽譜や振り付け等の説明書を付けた。</p> <p>当団演奏のDVDを、最終完成形態の参考として各学校にお送りします。</p> <p>楽譜の難易度に関しましても、合唱部などある程度の水準をお持ちの生徒さんに参加して頂く場合と、一般生徒さんが参加される場合等により、歌って頂くパートのレベルを学校側に選択して頂き、生徒さんのいかなる参加形態にも音楽的に対応できるよう配慮します(当団が、生徒さんの水準、人数等に応じて編曲します)。</p>					
ワークショップ 実施形態の意図	<p>上記のごとく、それぞれ異なる学校事情に合わせ、ありとあらゆるケースに対応できるよう万全の準備で臨んでおります。その意図は</p> <p>●最終的に生徒さん達が一期一会の、'音楽を媒介とした集団創造の規律と喜び'等を本番で最大限に体験して頂くために、万全な準備をする。</p> <p>●ワークショップ中に、生徒個人々の特性を見出し、各々に応じたオーダーメイドの指導を行なっていきます。その中で、彼ら本人ですら気づいていなかった自らの才能(音楽面以外にも各生徒さんが各々持ち合わせている)を新たに発見して頂き、それが今後の長い人生の中で、音楽のみならず多方面において発揮できる良いきっかけとなるよう心から願って指導しております。</p> <p>●先生や保護者の皆様、あるいは近隣の方々ともその喜びを共有して頂くことにより、今後の学校教育に外からも内からも大きく役立っていくであろうことをも念頭に置き、それを見越したワークショップである事を願って計画し進行していきます。</p>					
特別支援学校での 実施における工夫 点	<p>学校の先生と綿密な事前打ち合わせをし、各特殊学級の児童・生徒さん達にとって無理なく楽しく一緒に参加できる曲目、体の動かし方等を検討させて頂く所存でおります。一例として、過去の盲学校の事例では、目の不自由な生徒さんたちにも舞台の設定やオペラの演出を楽しんでいただけるよう、状況が想像できるせりふを加える等、オリジナルにない彼らにとって理解しやすい各種要素を臨機応変に加えることにより、劇の流れが手に取るように理解でき、音楽と共に楽しんでいただくことができました。このように私達はそれぞれの生徒さんたちにとって最適な形態をオーダーメイドで作りに出していくよう最善を尽くしております。</p>					
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。					

東京合唱協会

「文化芸術による子供育成総合事業」一巡回公演事業一

令和2年度 メンバー予定表

ソプラノ10名	アルト10名	テノール7名	バス7名
大場 恭子	百合道子	有銘 哲也	星野 淳
栗田 真希子	坂本 晶子	池本 和憲	栗原 剛
只野裕美子	木下泰子	粟飯原俊文	植田真史
工藤 志州	三宮 美穂	永澤 健	清水 一成
鈴木 由美子	鈴木 光子	松永 国和	管谷 孝介
千葉 真智子	田村 真壽美	植木洋敬	内藤 裕史
芳賀 恵	浪川 佳代	伊藤達人	東嶋 正彦
矢崎陽子	古市 尚子		
清水 梢	山川 一江		
寺田千絵美	平井淳子		

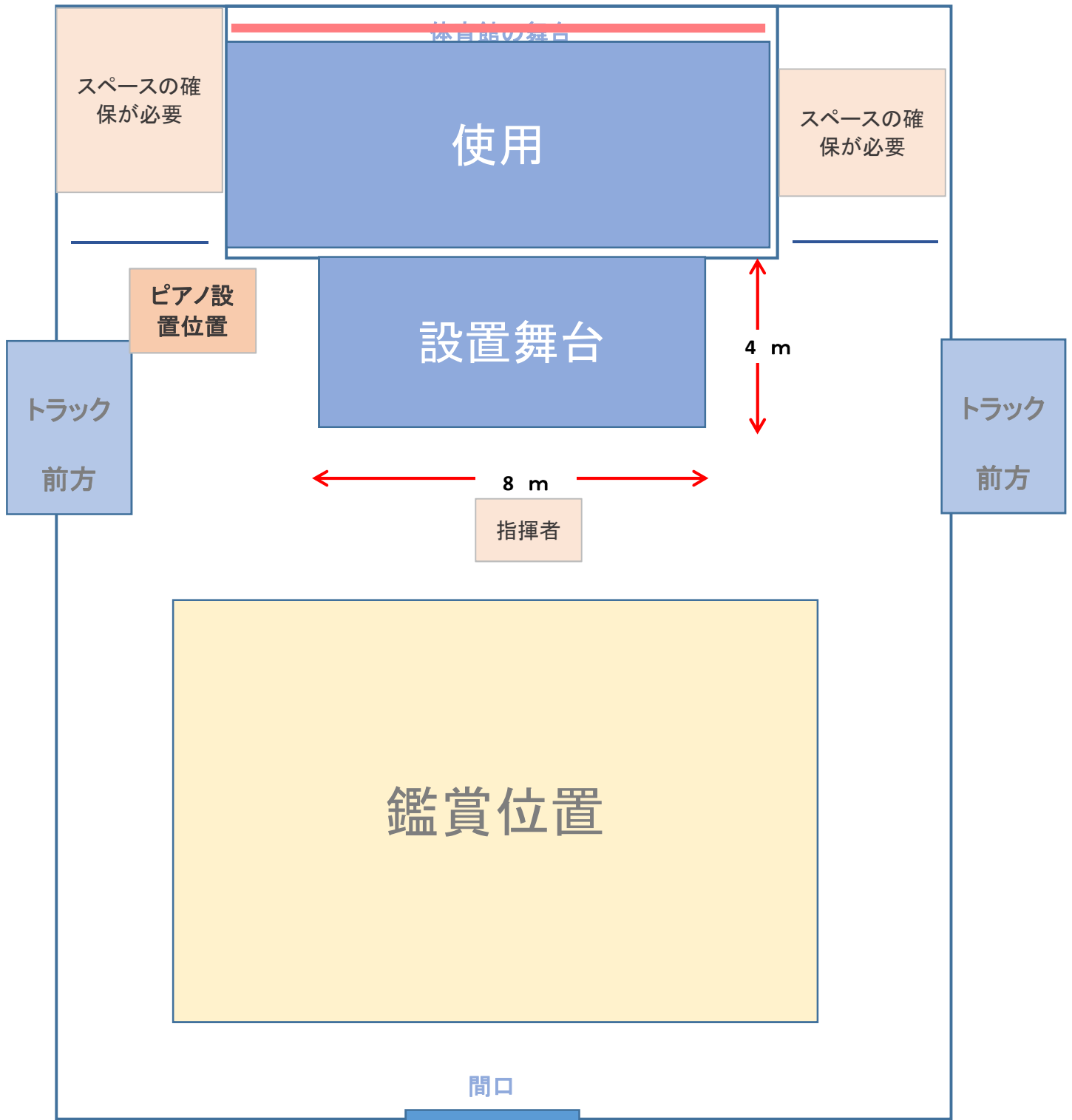
【令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	B12	分野	音楽	種目	合唱	ブロック	B	区分	A区分
公演団体名	東京合唱協会				制作団体名	株式会社 東京合唱協会			

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等							
控室について	可	必要数 *	3室	条件	昼食用1室、体育館下手横1室、男性着替え室1室				
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数 *			2トラック1台	大型バス1台			
	可	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			2トラック1台				
	可	搬入車両の横づけの要否 *			要(出来たら横づけが望ましい)				
	可	横づけができない場合の搬入可能距離 *			出来ましたら15m以内				
	可	搬入経路の最低条件			屋根のある経路が望ましい				
		理由			雨天時にオペラのセット等が濡れる故				
	—	設置階の制限 *			問わない				
	不可	搬入間口について 単位:メートル		幅	2m	高さ	2m		
WSについて	可	参加可能人数			100名位まで				
	可	学年の指定の有無 *			無し	指定学年 *	なし		
	可	所要時間の目安 単位:分			90分程度				
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安をご参照ください。				
	可	鑑賞可能人数			1000名位				
	可	舞台設置場所 *			ステージ上・フロアの両方				
	可	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル		幅	8m	奥行	4m	高さ	3m
	可	体育館の舞台を使用する場合の条件			舞台袖スペースの確保 *		要		
	可				舞台袖スペースの条件 *		袖に荷物があまりない状態を望む		
	—				緞帳 *	不要	バトン *	不要	
	可				遮光(暗幕等)の要否 *			要	理由
	不可	ピアノの調律・移動の要否		指定位置へのピアノの移動 *	要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。			
	可			ピアノの事前調律 *		要(出来るだけ)			
	—	フロアを使用する場合の条件		バスケットゴールの設置状況 *		格納されていれば可			
	可	公演に必要な電源容量			50A	※主幹電源の必要容量			
	その他特記事項								
可	半年内にピアノの調律を行ってない場合には、出来るだけ調律をお願いします。								

会場図面(表記単位:メートル)



舞台併用時

搬入間口について	幅	2m	高さ	2m
搬入車両の横づけの要否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		出来たら15m以内		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

オペラや様々なコンサートでソロ活動をしている声楽家を中心に結成された
実力派ソリスト集団

東京合唱協会

<http://tokyo-gk.jp>

東京合唱協会は、合唱以外に独唱・二重唱・四重唱からオペラ・オペレッタ・ミュージカルに至るクラシックの音楽のありとあらゆる形態を一度の公演で高水準に楽しむ事のできる希有なプロの合唱団です

***** 公演は 4 部構成になっています *****

小学校は約 100 分 / 中学校は約 105 分

第 1 部

【小学校】 観て聴いて参加して楽しめる曲

【中学校】 混声合唱・女声合唱・男声合唱の名曲

第 2 部

ご希望の曲をみんなで合唱

独唱または二重唱と四重唱

第 3 部

【小学校】 ミュージカルメドレーの舞台共演

【中学校】 オペラまたはミュージカル名場面の鑑賞・舞台共演

***** 休憩 (約 10 分) *****

第 4 部

オペレッタ「あまんじゃくとうりこひめ」

舞台共演の曲は

小学校：「ディズニーソングメドレー」または「サウンドオブミュージックメドレー」

中学校：オペラ「カルメン」より「ハバナラ」または「闘牛士の歌」

どちらかをお選びください（事前に 1 度ワークショップを行います）

「ディズニーソングメドレー」の場合は「小さな世界」1 曲

「サウンドオブミュージック」の場合は「ドレミの歌・すべての山に登れ」2 曲



☆ご希望の曲と一緒に歌います☆ （ワークショップでの指導も可能です）



第 2 部より
全員合唱

♪合唱団のメンバーは
ステージから下りて
子どもたちの中に入ります♪

（スペースを少し確保ください）

☆第 2 部の独唱または二重唱はリストから 1 曲お選びください☆

（おしえて・エーデルワイス・オーソレミオ・私のお父様・パパの二重唱 等）



第 2 部より
独唱・四重唱

☆第3部 合唱団との共演☆



「サウンドオブミュージックメドレー」より
♪ドレミの歌の音楽で元気に行進して舞台に立ち
合唱団のメンバーと一緒に歌い踊ります♪



中学校公演
第3部

♪合唱団で用意した衣装・小物をつけて
タバコ工場の女工・兵隊さん・町の若者に
扮して歌い演じます♪

中学生共演「ハバナラ」



「ハバナラ」「闘牛士の歌」共に
公演当日のリハーサルは衣装を付けて行います

音楽を創る楽しさを一緒に体験しましょう



「ディズニーソングメドレー」より
♪小さな世界の音楽で元気に行進して舞台に立ち
合唱団のメンバーと一緒に歌い踊ります♪

♪闘牛士・若者に扮して
合唱団のメンバーと一緒に
歌い演じます♪



中学生共演
「闘牛士の歌」

中学校公演
第3部



☆第4部 オペレッタ 「あまんじゃくとうりこひめ」☆

第4部

瓜から生まれた「うりこひめ」は
じっさとばっさに
大事に育てられてきました。

そんな「うりこひめ」をとのさんが
けらいを連れて さらいに？！

いつもは、わるさばかりの「あまんじゃく」
さてさて、どうなる事でしょう…



オペレッタ
「あまんじゃくとうりこひめ」より



物語・音楽はもちろん
暗転から始まる照明の美しさを目でも楽しめます♪

VI 令和2年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野, 種目 (該当する種目に○を付してください。)

分野	種目
【音楽】	合唱, <input type="checkbox"/> オーケストラ等, 音楽劇
【演劇】	児童劇, 演劇, ミュージカル
【舞踊】	バレエ, 現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸

申請する区分に, ○を付してください。 A区分のみ ・ A区分とB区分の両方 ・ C区分複数申請の有無 (該当する方に○を付してください。) あり ・ なし

複数の企画が採択された場合の実施体制 (該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

- (1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能
 (2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能
 (3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能
 (4) その他 ()

芸術文化団体の概要

ふりがな	こうえきざいだんほうじん せんだい かんげんがくだん		
制作団体名	公益財団法人 仙台フィルハーモニー管弦楽団		
代表者職・氏名	理事長 高橋 宏明		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒980-0012 宮城県仙台市青葉区錦町1丁目3-9 (最寄り駅: 仙台市地下鉄南北線/勾当台公園駅)		
電話番号	022-225-3934	FAX番号	022-225-4238
ふりがな	せんだい かんげんがくだん		
公演団体名	仙台フィルハーモニー管弦楽団		
代表者職・氏名	理事長 高橋 宏明		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒980-0012 宮城県仙台市青葉区錦町1丁目3-9 (最寄り駅: 仙台市地下鉄南北線/勾当台公園駅)		
制作団体設立年月	平成22年9月		
制作団体組織	役員	団体構成員及び加入条件等	
	[理事] 20名 [評議員] 18名 [監事] 2名 [事務局職員] 15名	[団体構成員] 71名 [加入条件] 採用オーディションによる	
事務体制の担当	専任 ・ <input type="checkbox"/> 他の業務と兼任	本事業担当者名	事業部 演奏事業グループ 伊東 広大
経理処理等の 監査担当の有無	<input type="checkbox"/> 有 ・ 無	経理責任者名	総務部 次長 鈴木 顕



制作団体沿革

仙台フィルは、1973年に市民オーケストラ「宮城フィルハーモニー管弦楽団」として誕生。翌年に初の定期演奏会を開催して本格的に活動を開始した。1983年4月から芥川也寸志が音楽総監督として現在の礎を築き、外山雄三音楽監督、パスカル・ヴェロ常任指揮者のもとアンサンブルに磨きをかけてきた。2018年度に飯守泰次郎が常任指揮者に就任、ドイツ音楽を中心としたレパートリーによりさらに音楽的深化を推し進めている。

2011年3月11日に東北地方を襲った東日本大震災による影響で、仙台フィルは数ヶ月にわたり演奏活動を中止せざるを得ない状況となったが、「音楽の力による復興センター・東北」と協力し音楽を被災者のもとに届けながら絆をつなぐ活動を行い、2011年度エクソンモービル音楽賞洋楽部門本賞と渡邊暁雄音楽基金特別支援を受賞した。

本拠地、日立システムズホール仙台コンサートホールでの「定期演奏会」は2016年に300回を数え意欲的な取り組みが高く評価されているほか、2001年から開催されている仙台国際音楽コンクールではホストオーケストラとして出演し、2006年秋からは毎年「仙台クラシックフェスティバル（せんくら）」でも広く市民に親しまれるなど、「杜の都」の音楽文化における中心的役割を担っている。

【仙台フィル公式ホームページ】 <http://www.sendaiphil.jp/>

仙台フィルハーモニー管弦楽団【公式】SNS



【Twitter】
@sendaiphil
ライブ更新中!



【Facebook】
@sendaiphil



【Instagram】
@sendaiphil_official

学校等における公演実績

- ・平成31年度〈仙台市主催公演〉および〈地元銀行主催公演〉全16公演
- ・令和元年度〈文化芸術による子供育成総合事業〉全13公演

特別支援学校における公演実績

- ・平成28年度〈文化芸術による子供の育成事業〉南越特別支援学校（福井県）

参考資料の有無

A	申請する演目のチラシパンフレット等	有	・ 無
	申請する演目のDVDまたはWEB公開資料	有	・ 無
	▼Web公開資料はこちら https://www.sendaiphil.jp/topics/R2-junkai/		
	Aの 提出が困難 な場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子が わかる内容のDVDまたはWEB公開資料 ※公開資料有の場合 URL ※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	有

公演 ・ ワークショップの内容

【公演団体名：仙台フィルハーモニー管弦楽団】

対象	小学生(低学年・中学年・高学年) ・ 中学生				
企画名	仙台フィルハーモニー管弦楽団 オーケストラコンサート2020				
本公演演目	<p style="text-align: center;">J.ウィリアムズ作曲(アメリカ)</p> <h2 style="text-align: center;">「スター・ウォーズ」組曲よりメイン・タイトル</h2> <p style="text-align: center;">J.Williams : Star Wars Suite - I. Main Title</p> <p style="text-align: center;">ユーモアあふれる楽器紹介でオーケストラを大解剖!</p> <p>【楽器紹介】「オーケストラの楽器たち」 ~スーザ:行進曲「星条旗よ永遠なれ」 <small>【裏方スタッフ紹介】ステージマネージャー、ライブラリアン、インスペクター、企画制作スタッフ ほか</small></p> <p style="text-align: center;">児童・生徒の代表2名と、先生はサプライズで燕尾服を着て登場!?</p> <p>【指揮者体験】「君も先生もマエストロ！」 【曲目】 ビゼー: 歌劇「カルメン」より</p> <div style="text-align: center; background-color: black; color: white; padding: 5px; border: 1px solid black;"> 休憩15分 <small>(ハープやティンパニなどの大型楽器を近くで見ることができるエリアを設置します)</small> </div> <p style="text-align: center;">A.ピアソラ作曲(アルゼンチン)</p> <h3 style="text-align: center;">エスクワロ(鮫)(サクソフォン独奏:上野耕平)</h3> <p style="text-align: center;">A.Piazzolla : Escualo</p> <p style="text-align: center;">G. ビゼー作曲(フランス)/山中惇史編曲</p> <h3 style="text-align: center;">カルメン・ファンタジーより(サクソフォン独奏:上野耕平)</h3> <p style="text-align: center;">G.Bizet / Y.Atsushi : Carmen Fantasy for Saxophone</p> <p>いつもピアノ伴奏で歌っているあの曲も、フル・オーケストラを伴奏に歌えば、さらにゴージャスに!</p> <p>【合唱共演】「オーケストラと一緒に歌おう！」(以下A~Dの中から1曲選択)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <input type="checkbox"/> A杉本竜一: ビリーブ <input type="checkbox"/> B村井邦彦: 翼をください <input type="checkbox"/> C八木澤教司: 明日という日が <input type="checkbox"/> D菅野よう子: 花は咲く </div> <p style="text-align: center;">P.I.チャイコフスキー作曲(ロシア)</p> <h3 style="text-align: center;">バレエ組曲「くるみ割り人形」より 花のワルツ</h3> <p style="text-align: center;">P.I.Tchaikovsky : The Nutcracker Suite, VIII. Waltz of the Flowers</p> <p style="text-align: center;">皆さんの学校の「校歌」を、オーケストラ版に編曲します!</p> <p>【アンコール】開催校校歌 (合同開催の場合は要相談)</p> <p style="text-align: right;">公演時間=全90分(うち休憩15分)</p>				
	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="background-color: black; color: white; padding: 10px; font-weight: bold; font-size: 1.2em; margin-right: 10px;">特別企画!</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; flex-grow: 1;"> <p style="text-align: center; font-weight: bold; font-size: 1.2em;">公演終了後、指揮者・ソリストとの交流会を実施!</p> <p>終演後、吹奏楽部・管弦楽部・金管バンド部等の音楽クラブとの「交流会」を実施します。</p> <p>指揮者とソリストが皆さんの「部室」にお邪魔し、疑問や質問にお答えします!</p> <p>もしかしたら..サプライズで演奏が飛び出してくるかも!?最後はみんなで記念撮影&サインも!</p> <p>(時間は終演後1時間程度を予定。細かい内容は、学校の先生とご相談させていただきます)</p> </div> </div>				
著作権	制作団体が所有	○	制作団体以外が 所有する事項が含まれる	有	(制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾の有無

「子供たちにとって、演奏プログラムが少し難しいかなと思っていました。
でも、そんなことはなかったです。『本物』は伝わるものですね。」

平成30年度〈文化芸術による子供の育成事業〉開催校ご担当の先生より

本事業は、約60名のフル・オーケストラが学校の体育館にお邪魔します。演奏はもちろんオーケストラで使われる楽器や指揮者の役割、またオーケストラを支える人たちについても、ご紹介いたします。オーケストラのみで演奏する「スター・ウォーズ」や、「くるみ割り人形」に加え、今回はサクソフォン奏者の上野耕平さんをソリストに、みなさん耳なじみのある歌劇「カルメン」の中から、「上野耕平版」として特別にアレンジされた曲を演奏いたします。この作品は、超絶技巧に溢れた作品ですが、彼の持つ本物のテクニックを、目の前にして五感で感じていただけたら幸いです。



百見は一聞に如かず 百回見るよりも、たった一度でも
自分の耳で聞いたほうが確かだということ



演
目
概
要

②オーケストラの楽器を紹介するコーナー「オーケストラの楽器たち」では、子供たちの目の前で一つずつご紹介いたします。演奏者は子供たちに親しみを持ったパフォーマンスなどを交えながら進めていくことで、子どもたちとのコミュニケーションを図ります。生のオーケストラを、そして本物の楽器を目の前にして聴くのが、見るのが、初めてという児童・生徒の皆さんのために、事前のワークショップでも楽器についての紹介を予定しています。

そして、②に続けて演奏する、スーザ：行進曲「星条旗よ永遠なれ」では、演奏中にはセクションごとに、オーケストラとしては珍しいスタンディング・プレーを行います。華やかな演出効果を披露しながら、各楽器の配置や音色などを、視覚的に楽しめる演出を施しています。

クラブ活動をしている 部室にお邪魔します！
終演後、吹奏楽部等の音楽クラブを対象に出演者との交流会を実施

質問疑問タイムあり！サプライズ演奏あり！写真撮影あり！サインあり！児童生徒の皆さんとの交流を大切に



本公演の後、吹奏楽部・管弦楽部・金管バンド部、合唱部等の音楽クラブとの「交流会」を実施します。指揮者とソリストが、皆さんが普段活動されている部室等にお邪魔し、音楽に関すること、演奏者に関する事など、自由な話題で疑問や質問にお答えします。また子どもたちにはサプライズでその場での演奏も予定しております。交流会の最後は、

みんなで記念撮影&サイン色紙プレゼントいたします。わずかな時間ではありますが、プロの演奏家と交流することで、皆さんの音楽に対する興味関心がより向上し、今後の活動に役に立てば嬉しいです。

2020年、東京で再びオリンピックが開催されます。

世界各国からアスリートたちが集まり、私たちに感動を与えてくれることでしょう。

この演奏会では、そんな「オリンピック」に紐づけながら、アメリカやフランス、アルゼンチン、ロシアなど、様々な国の作曲家に焦点を当て、プログラムを構成しました。

演奏会の幕開けは①「**スター・ウォーズ**」組曲より**メイン・タイトル**。

アメリカ生まれのジョン・ウィリアムズは「映画音楽の巨匠」として大変有名です。この曲は、弦楽器・管楽器・打楽器すべてのパートが冒頭から演奏される大迫力の曲です。1976年に映画「スター・ウォーズ」シリーズ第1作として発表され、今や世代を超えて愛されている、彼の代表作です。

②【楽器紹介】「オーケストラの楽器たち」

弦楽器、木管楽器、金管楽器、打楽器の4つのグループに分け音色や特徴についてご紹介します。事前のワークショップでは楽団オリジナルパンフレットを用いて楽器の紹介を行います。

③【指揮者体験】「君も先生もマエストロ！」

指揮台に立って約60名のオーケストラを指揮していただくコーナーです。児童・生徒の中から代表の方2名に、指揮者を体験していただきます。また、学校の先生1名にもサプライズで登場していただきます。代表の方に指揮をしていただく前に、指揮の振り方や役割等をレクチャーしますので、会場全体で学んでいただくことが出来ます。なお体験終了後に、指揮者のサイン入り指揮棒を学校にプレゼントします。

【休憩】

通常15分間を予定しています。なお、この休憩時に②【**楽器紹介**】でご紹介した大型楽器（ハープ、ティンパニ等）を、ステージ前まで運びますので、お手洗いの済んだ児童・生徒の皆さんは、間近で楽器をご覧いただくことが出来ます。

④エスクワロ（鯨）

後半はサクソフォン奏者の上野耕平が登場！**アルゼンチン**の作曲家、アストル・ピアソラのエスクワロ（鯨）からスタート！アルゼンチンといえば「タンゴ」のリズムが有名な国です。鯨釣りを趣味としていたピアソラ。揺れ動くリズムは「荒波の中、鯨釣りの荒々しいスリルと興奮」を表現しています。体育館の後方よりサプライズで登場する演出で一気に盛り上げます。

⑤カルメン・ファンタジー

フランスの作曲家ジョルジュ・ビゼーが作曲したオペラ「カルメン」を題材にした「カルメン・ファンタジー」は、本来オペラとして歌手が歌う部分を、今回はアルト・サクソフォンが奏でます。彼の持つサクソフォンのテクニック（細かい音符やフラジオ奏法など）も存分にお楽しみいただくことが出来る曲です。

⑥【合唱共演】「オーケストラと一緒に歌おう！」

プログラムでご提示したA～Fの中から、学校側で1曲お選びいただき、その曲をオーケストラの伴奏と一緒に歌う企画です。普段はピアノ伴奏で歌っている曲も、オーケストラ特有の音の厚みとともに歌えば、さらにゴージャスになります。

⑦バレエ組曲「くるみ割り人形」より 花のワルツ

「くるみ割り人形」はクリスマスイヴ、少女クララの周りで起こる素敵なファンタジーを描いたバレエです。この曲を作曲したのは**ロシア**の作曲家チャイコフスキー。「眠れる森の美女」「白鳥の湖」と併せて3大バレエと呼ばれています。楽器紹介でご紹介したハープが大活躍します。

③【指揮者体験】「君も先生もマエストロ！」

オーケストラの指揮台に立って、プロ・オーケストラを指揮していただく体験です。それは野球でたとえたら、まるでプロ野球のピッチャーを体験しているような感覚に近いかもしれません。

指揮をする前に、オーケストラの指揮者の役割について、指揮者自身がわかりやすく解説します。そのあと、指揮を体験される児童・生徒を選び（または事前に決めていただいても構いません）、オーケストラの前で実際に本物の指揮棒を持って振り方をレクチャーします。その後、実際に指揮台に立ってオーケストラを指揮していただきます。

なお、体験は児童・生徒の皆さん2名と、学校の先生1名にも体験していただきます。

（先生が体験することは、子供たちへのサプライズとして行います）。



▲指揮者体験の様子

オーケストラは、指揮者に合わせて演奏します。ゆっくり振るとテンポはゆっくりとなり、速く振ると、テンポは速くなります。指揮棒が止まってしまうと…オーケストラも止まってしまう！当日は、児童・生徒のみなさんから2名と、先生1名にも挑戦していただきます！

⑥【合唱共演】「オーケストラと一緒に歌おう！」

プログラムで提示したA～Fの4曲の中から、学校側で1曲選曲していただき、当日はオーケストラ伴奏と一緒に歌っていただきます。普段はピアノ伴奏で歌っている曲も、フル・オーケストラの音の厚い伴奏と一緒に歌えば、さらに豪華になります。ここでは、サクソフォン奏者の上野耕平さんも、皆さんと一緒に旋律を演奏します。なお、合唱の楽譜についてはオーケストラアレンジの都合上、当方で準備いたします。



▲合唱共演では、指揮者が児童・生徒の皆さんの方を向いて指揮します。

⑧【アンコール】「開催校校歌」

世界にたった一つだけの、みなさんの学校の「校歌」を、この公演のために、フル・オーケストラ編成でアレンジして演奏します。演奏会の最後は、児童・生徒の皆さんにも一緒に盛り上がりましょう。

※合同開催の場合は、曲目を変更させていただく場合がございます

（過去の例：県民歌、市民歌、等）



指揮 松井 慶太 Keita MATSUI

1984年青森県生まれ。2007年、東京音楽大学指揮科卒業。指揮を広上淳一および汐澤安彦に師事。第15回東京国際音楽コンクール入賞・奨励賞受賞（2009）。東京混声合唱団コンダクター・イン・レジデンス（2011～18年3月）。N響定期演奏会でルイーゼらのもと合唱指揮を務める（2008～14）。国内では仙台フィル、日本フィル、アンサンブル金沢など、海外ではドナウ交響楽団（ブダペスト）、プラハ交響楽団室内オーケストラを指揮している。



指揮 大井 剛史 Takeshi Ooi

1974年生まれ。東京藝術大学指揮科を卒業後、1999年同大学院指揮専攻修了。東京佼成ウインドオーケストラ正指揮者。国内主要オーケストラを指揮し、多彩なレパートリーと誠実な指揮でいずれも高い評価を得ている。新進作曲家の現代作品や、吹奏楽、オペラ、バレエ、など幅広い分野で意欲的に活動中。2008年アントニオ・ペドロッチ国際指揮者コンクール第2位。東京藝術大学音楽学部器楽科非常勤講師（吹奏楽）。尚美ミュージックカレッジ専門学校客員教授。



サクソフォン 上野 耕平 Kohei UENO

第28回日本管打楽器コンクールサクソフォン部門において、史上最年少で第1位ならびに特別大賞を受賞。学生時代にCDデビューを果たす。2014年第6回アドルフ・サククス国際コンクールにおいて、第2位を受賞。常に新たなプログラムに挑戦し、サクソフォンの可能性を最大限に伝えている。現在、演奏活動のみならずメディアにも多く出演している。第28回出光音楽賞受賞。The Rev Saxophone Quartet、ぱんだウインドオーケストラコンサートマスター。



司会 我妻 雅崇 Masataka WAGATSUMA

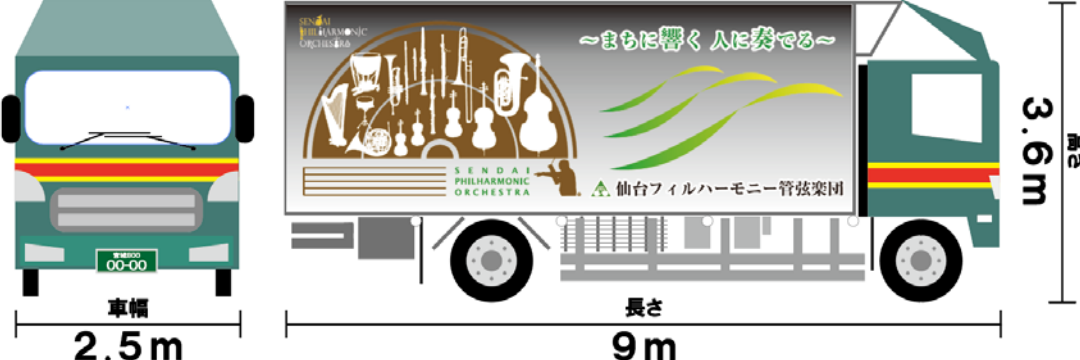
1973年仙台市生まれ。学生時代より合唱やミュージカルに参加。2001年仙台フィルハーモニー管弦楽団インスペクターに就任。2011年の東日本大震災後からは、「頑張ろう日本！スーパーオーケストラ」、「レクイエム・プロジェクト」インスペクター兼ステージマネージャー、Music from PaToNa ステージマネージャーと多岐にわたる活動を続けている。2015年より仙台フィルの司会者も勤め、オーケストラを知り尽くしたテンポ感ある、歯切れのいい司会に好評を得ている。




管弦楽 仙台フィルハーモニー管弦楽団 Sendai Philharmonic Orchestra
(2管10型)

1973年創立。東日本大震災では数ヶ月間活動を中止せざるを得ない状態になったが、音楽を被災者のもとに届ける活動を展開し、大きな反響を呼んだ。本拠地である日立システムズホール仙台での定期演奏会、さまざまなジャンルとの共演による「サマーフェスティバル」、県内各地で開催される「マイタウンコンサート」、日本人作曲家を紹介する「日本のオーケストラ音楽」展など多彩な公演のほか、全国小中学校訪問など年間100回を超える活動を展開している。



<p>公演出演 予定者数 (1公演あたり)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・弦楽器奏者：35名 (1stVn=10、2ndVn=8、Vla=6、Vc=6、Cb=4、Hp=1) ・管楽器奏者：20名 (Fl=3、Ob=2、Cl=2、Fg=2、Hr=4、Tp=3、Trb=3、Tub=1) ・打楽器奏者：4名 (Timp=1、Per.3) ・指揮者：1名 ・ソリスト：1名 ・司会者：1名 ・スタッフ：6名 (企画制作、ライブラリアン、ステージスタッフ) <hr/> <p>合計：68名</p>
-----------------------------------	--

<p>機材等 運搬方法</p>	<p style="text-align: center;">【搬入車両】仙台フィル楽器専用車（4トンワイド） × 2台</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p style="text-align: right; font-size: small;">※車両整備等の事情で、上記のラッピングとは別の車両を使用する場合があります。</p> <p style="text-align: center;">ティンパニやハーブ、コントラバス等の大型楽器を運搬しますので トラックが開催校の体育館に横づけできることが条件となります</p>
---------------------	---

 <p>大型貨物自動車等の 通行止め</p>	<p style="text-align: center;">【要チェック】搬入ルートに「大型貨物自動車等の通行止め」がある場合</p> <p>この標識は、道幅の狭い道路によく設置してあります。</p> <p>仙台フィルの楽器運搬専用車は「大型貨物自動車」に該当するため、こちらの道路標識のある道路は通行することができませんが「通行禁止道路通行許可書」を申請すると、通行することができる場合があります。</p> <p>詳しくは、その道路を管轄している警察署までお問い合わせください。</p>
--	--

<p>[注意]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・搬入に際し、校庭（土のグラウンド）を通過することは、雨天時にトラックがスタックする原因となりますので、アスファルト等で舗装された道路（固い地面）などの確実なルートをお知らせいただきますよう、お願い申し上げます。
--

【公演団体名：仙台フィルハーモニー管弦楽団】

公演に当たっての会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。							
会場設営の所要時間の目安	[前日仕込み] 無し [会場設営の所要時間] 1時間程度							
	11時00分	11時30分	13時10分	13時30分	14時10分	15時00分	15時30分	16時00分
	スタッフ入り 楽器搬入作業 先生と打合せ	楽団員到着 各自音だし	児童・生徒 移動開始	開演	休憩	終演 楽器搬出作業	楽団員出発	搬出作業終了 スタッフ出発
※各クール初日の学校は、リハーサルを行う関係上9時にスタッフ入りとなります。								
児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	本公演で鑑賞をされる児童・生徒の皆さん(全員)						
	本公演	50名～700名程度(保護者、近隣住民の皆様も鑑賞可) ※保護者・近隣住民の皆様をお招きする場合は体育館のキャパシティをご検討ください						
ワークショップ実施形態及び内容	[開催時間] 各学校授業の時間割に則り「1時間分」を基本とします。 小学校＝45分間、中学校＝50分間 (学校の事情に伴う時間の長短はご相談させていただきます)							
	[派遣人数] 4名(弦楽器奏者、管楽器奏者、サクソフォニスト、ピアニスト)＋スタッフ2名(予定)							
	[借用備品] ピアノ(グランド・アップライトなど、種類は問いません)							
	ワークショップの内容について							
<p>・自己紹介～オーケストラで使われる楽器の紹介</p> <p>オーケストラは、弦楽器・木管楽器・金管楽器・打楽器の4つのグループに分けることができます。</p> <p>[弦楽器] ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス</p> <p>[木管楽器] フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット</p> <p>[金管楽器] ホルン、トランペット、トロンボーン、チューバ</p> <p>[打楽器] スネアドラム、バスドラム、ティンパニ、鍵盤打楽器等</p>								
<p>・質疑応答</p> <p>児童・生徒の皆さんをはじめ、先生からもオーケストラや、楽器について、また演奏者自身(音楽家として)のことについて質問・疑問をお受けします。</p>								
<p>・ミニ・コンサート</p> <p>ピアノ＋管楽器または弦楽器などのソロ作品をはじめ、複数楽器が組み合わさったアンサンブルの作品など、様々な形態の作品を演奏します。</p> <p>吹奏楽部や管弦楽部、金管バンド等、音楽系クラブとのコラボレーション、また先生との共演も可能です。 (その場合は、事前にご相談させていただきます)</p>								
								
				<p>▲過去のワークショップ記録写真より。 「チェロの弓の素材はなーんだ？」と子どもたちに質問している瞬間です。正解は…「馬のしっぽの毛」です。</p>				
								
				<p>▲仙台フィルオリジナル「楽器紹介パンフレット」をお配りします。ワークショップでは、このパンフレットを参照しながら、オーケストラで使われる楽器について解説していきます。</p>				

ワークショップは、初めて「本物」に触れる時間。

ワークショップ実施形態の意図

本公演に先立ち開催する「ワークショップ」では、オーケストラのメンバーの中から弦楽器・管楽器奏者、また客演奏者としてサクソフォニスト、ピアニスト、合計4名の演奏者と共に学校にお伺いします。

このワークショップの最大の特徴は、演奏者と児童・生徒の皆さんとの距離感の近さです。オーケストラで使われる本物の楽器をお持ちし、実際にプロの演奏者が音を出し、その楽器の歴史や発音方法について、児童・生徒の皆さんの目の前で細かくご紹介します。

なお、ワークショップは少人数でお伺いするため、お見せできなかった楽器については、本公演で実際にご覧いただくことが出来ます。そのため、ワークショップでは仙台フィルオリジナル「楽器紹介パンフレット」を用いて、解説を進めていきます。

また、後半には「ミニ・コンサート」として、プロの演奏をお聴きいただきます。



▲仙台フィルオリジナル「楽器紹介パンフレット」

実施における工夫点
特別支援学校での

特別支援学校での実施要望について、プログラムの基本的な軸（コンセプト）は変えないものの、内容については先生方からお話を伺い、子供たちの能力に応じた内容に変更することが可能です。

平成28年に本事業で特別支援学校を訪問した際は、ワークショップの内容や本公演のプログラムを変更し、それに伴うタイムスケジュールを一部変更して実施しました。

実施可能時期

実施可能時期スケジュール表をご確認ください。



私たちは、音楽でつながっている
仙台フィルハーモニー管弦楽団
 SENDAI PHILHARMONIC ORCHESTRA

会長 郡和子(仙台市長) 常任指揮者 飯守泰次郎 コンサートマスター 神谷未穂
 顧問 村井嘉浩(宮城県知事) レジデント・コンダクター 高関健 西本幸弘
 創立理事長 故藤崎三郎助(6代) 指揮者 角田鋼亮
 桂冠指揮者 パスカル・ヴェロ

1st Violin

○ 宮崎 祥博
 伊谷 洋子
 熊谷 山本
 小坂 内本
 竹内 奈津子
 ネストル・ロドリゲス
 ヘンリ・タタル
 へ松 山塚
 三柳 直美
 柳 直美

2nd Violin

○ 山本 高史
 小川 有紀
 大岡 友村
 岡木 越池
 小佐々 木田
 近徳 永川
 長谷 上
 村 達
 史 康俊

Viola

◎ 井野 邊 大 輔
 野 野 和 英
 青 木 昌 恵
 梅 田 昌 子
 百々 々 子
 寺澤 正 晴
 長谷川 基
 御供 和 江

Cello

◎ 三宅 進
 吉北 岡 広
 高田 村 健
 八山 橋 子
 八山 澤 緑
 本島 本 子
 純

Double Bass

◎ 助川 龍
 名和 俊
 河野 三
 黒江 幸
 田中 昭
 江 浩
 中 洸
 太郎

Flute

○ 戸田 敦
 芦澤 男
 宮山 英
 山 元 康 生

Oboe

○ 西沢 澄 博
 木立 至

Clarinet

○ ダビッド・ヤジンスキー
 下路 詞 子
 鈴木 雄 大

Bassoon

○ 水野 一 英
 海野 隆 次
 入交 滋

Horn

○ 須田 一 之
 大野 晃 平
 木下 資 久
 中村 隆 伸 司
 溝根 吾

Trumpet

○ 森岡 正 典
 浦田 誠 真
 戸田 博 美

Trombone

○ 菊池 公 佑
 松崎 泰 賢
 矢崎 雅 巳
 山田 守

Tuba

○ ピーター・リンク

Timpani

○ 竹内 将 也

Percussion

佐々木 祥
 三上 恭 伸

Chief Inspector

我妻 雅 崇

Inspector

黒江 浩 幸
 下路 詞 子

Chief Librarian

水野 広 明

Chief Stage Manager

大久保 斉 象

Stage Manager

吉田 学 史

◎ 印 ソロ 首席

○ 印 首席

□ 印 副 首席



公益財団法人仙台フィルハーモニー管弦楽団

〒980-0012 宮城県仙台市青葉区錦町1丁目3-9

E-Mail : info@sendaiphil.jp URL : http://www.sendaiphil.jp

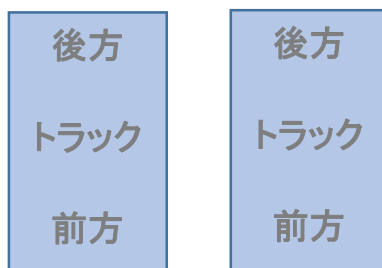
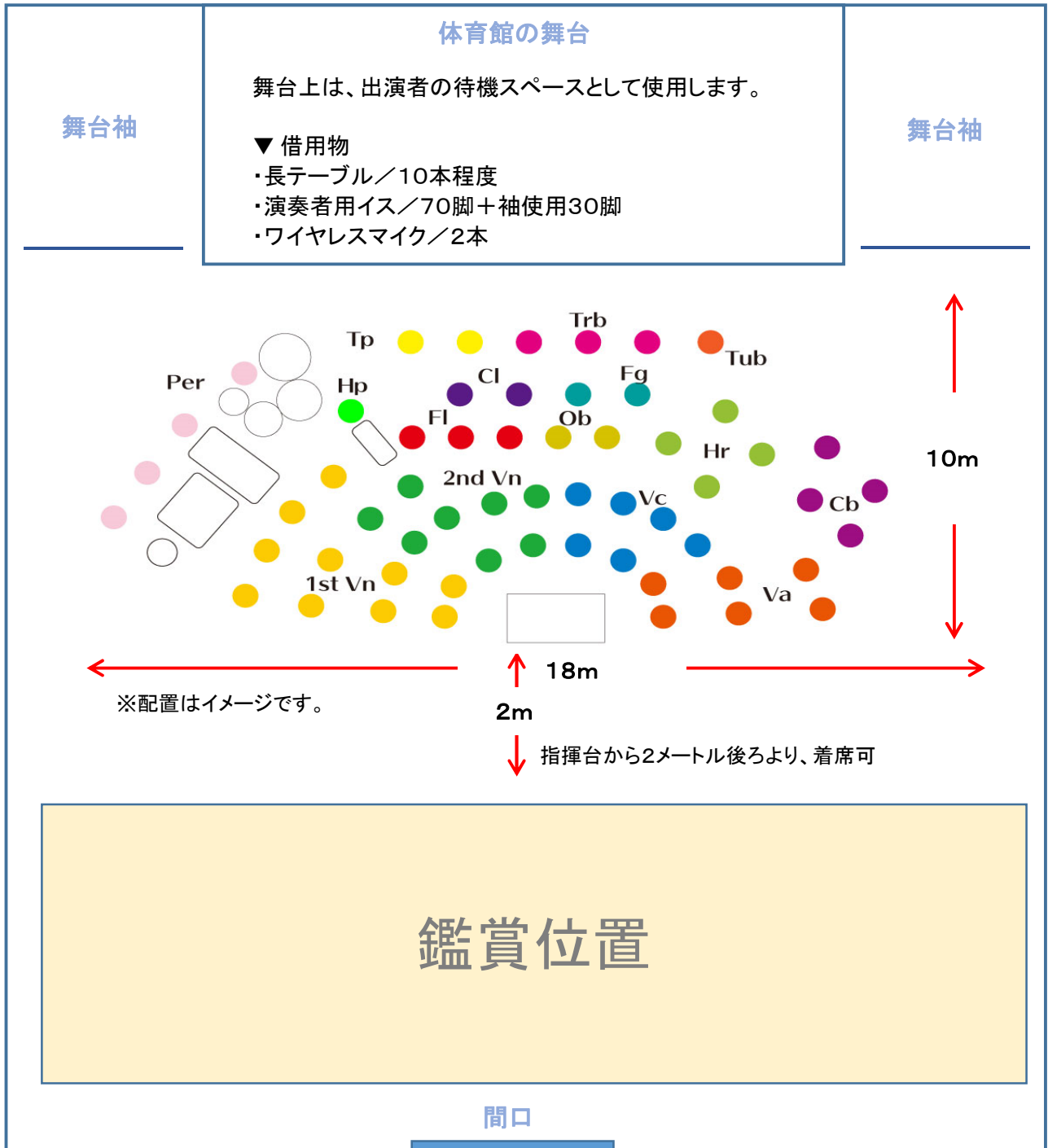
【令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	B13	分野	音楽	種目	オーケストラ等	ブロック	B	区分	A区分
公演団体名	仙台フィルハーモニー管弦楽団				制作団体名	公益財団法人 仙台フィルハーモニー管弦楽団			

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等								
控室について	可	必要数*	6室	条件	個室(4部屋)、大部屋(2部屋)が望ましい					
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数*			大型バス	3台	4tトラック	2台		
	不可	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			【楽器運搬車】 2.5m(車幅)×9m(長さ)×3.6m(高さ) 出演希望調書「機材等運搬方法」欄を参照					
	不可	搬入車両の横づけの要否*			要					
	不可	横づけができない場合の搬入可能距離*			不可					
	可	搬入経路の最低条件			・楽器運搬車(4tW)が通れる通路であること 一車幅、3t規制、トラック進入禁止、他の規制が無いことをご確認ください。なお、トラックが通るルートは「アスファルト」が好ましいです。					
		理由			雨天時にグラウンドや芝生面を走行すると土砂でスタックするため					
	不可	設置階の制限*			2階以上不可					
	可	搬入間口について 単位:メートル	幅	2m以上	高さ	2m以上(が好ましい)				
WSについて	可	参加可能人数			人数制限は無し					
	可	学年の指定の有無*			なし	指定学年*	なし			
	可	所要時間の目安 単位:分			小学校=45分 中学校=50分 学校の事情による時間の長短は相談可					
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安をご参照ください。					
	可	鑑賞可能人数			人数制限は無し。ただし、オーケストラが使用する範囲以外で体育館に入る人数をご検討ください。					
	可	舞台設置場所*			フロア					
	可	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル	幅	18m	奥行	10m	高さ	指定なし		
	可	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保*			要				
	可		舞台袖スペースの条件*			出演者待機スペースとして使用				
	可		緞帳*	要		バトン*	不要			
	可	遮光(暗幕等)の要否*			要	理由	演奏スペースに西日が当たる場合は閉めさせていただきます。			
	可	ピアノの調律・移動の要否	指定位置へのピアノの移動*		要	【W S】ピアノを使用します 【本公演】ピアノ使用無し				
	可		ピアノの事前調律*		不要					
	可	フロアを使用する場合の条件	バスケットゴールの設置状況*			格納されていれば可				
	可	公演に必要な電源容量			無	※主幹電源の必要容量				
	その他特記事項									
	可	大型バス3台(または2台)が駐車できるスペースの確保								
可	楽器運搬車(4tW)2台分が駐車できる場所の確保									

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	2メートル以上	高さ	2メートル以上(が好ましい)
搬入車両の横づけの要否	要(必須条件)			
横づけができない場合の搬入可能距離	不可			

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

私たちは音楽でつながっている。



仙台フィルハーモニー管弦楽団 オーケストラコンサート2020

指揮●松井慶太、大井剛史 サクソフォン●上野耕平 司会●我妻雅崇 管弦楽●仙台フィルハーモニー管弦楽団

J. ウィリアムズ

「スター・ウォーズ」組曲よりメイン・タイトル

A. ピアソラ (※)

エスクワロ (鮫)

G. ビゼー／山中惇史編 (※)

カルメン・ファンタジー

P. チャイコフスキー

バレエ組曲「くるみ割り人形」より花のワルツ

【楽器紹介】「オーケストラの楽器たち」【指揮者体験】「君も先生もマエストロ！」

【合唱共演】「オーケストラと一緒に歌おう！」【アンコール】開催校校歌



サクソフォン (※)
うえの こうへい
上野 耕平

VI 令和2年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野, 種目(該当する種目に○を付してください。)

分野	種目
【音楽】	合唱, <input checked="" type="checkbox"/> オーケストラ等, 音楽劇
【演劇】	児童劇, 演劇, ミュージカル
【舞踊】	バレエ, 現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸

申請する区分に, ○を付してください。

A区分のみ, A区分とB区分の両方, C区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)

あり, なし

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

- (1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能
 (2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能
 (3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能
 (4) その他()

芸術文化団体の概要

ふりがな	いっばんしゃだんほうじんじゃばんしんふおにつくういんず		
制作団体名	一般社団法人ジャパン・シンフォニック・ウインズ		
代表者職・氏名	代表理事 大津立史		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒160-0022 東京都新宿区新宿 1-24-7 ルネ御苑プラザ 420(東京メトロ丸ノ内線・新宿御苑前駅徒歩5分)		
電話番号	03-3357-4870	FAX番号	03-3357-4880
ふりがな	しえなういんどおーけすとら		
公演団体名	シエナ・ウインド・オーケストラ		
代表者職・氏名	事務局長 高澤芳郎		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒160-0022 東京都新宿区新宿 1-24-7 ルネ御苑プラザ 420(東京メトロ丸ノ内線・新宿御苑前駅徒歩5分)		
制作団体 設立年月	平成16年11月		
制作団体 組織	役員	団体構成員及び加入条件等	
	代表理事:大津立史 理事:林育弘、東佳樹 監事:熊代祐子	代表理事1名、理事2名、楽団員30名、事務局員4名 楽団員は実技オーディションにより審査し、合格者は 規定の試用期間を経て入団を決定する。	
事務体制の担当	<input checked="" type="checkbox"/> 専任, 他の業務と兼任	本事業担当者名	高澤芳郎
経理処理等の 監査担当の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有, 無	経理責任者名	笠井加代子
制作団体沿革	平成2年に、オーディションを経て集まった優秀な若手音楽家たちによってシエナ・ウインド・オーケストラを結成。平成16年に有限責任中間法人ジャパン・シンフォニック・ウインズとして法人登記。平成21年に公益法人制度改革により会社法人格を一般社団法人に変更。平成22年には文京区と事業提携を結び、文京シビックホールを拠点に地域と密着した活動を展開している。		

学校等における 公演実績	平成 29 年度 松本市立中学校 21 校、富士市立中学校 16 校など計 51 校にて実施 平成 30 年度 足利市立中学校 10 校、足利市立高等学校 8 校など計 59 校にて実施 令和元年度 現在までに北区立小学校 3 校、富士市立中学校 16 校など 20 校にて実施、 今後、文京区立中学校や佐野市立高等学校など、22 校にて実施予定		
特別支援学校に おける公演実績	平成 19 年度北海道遠軽市内音楽鑑賞教室にて普通学級と合同で実施 平成 26 年度大阪府立豊中支援学校にて音楽鑑賞教室を実施 平成 29 年度「文化芸術による子供の育成事業」によりふじざくら支援学校にて実施		
参考資料の 有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	① ・ 無
		申請する演目の DVD または WEB 公開資料	有 ・ ②
		※公開資料有の場合 URL	
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:
	A の 提出が 困難な 場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料	① ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	https://youtu.be/lgIe_0eUZmA
※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード		ID: PW:	

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 シエナ・ウインド・オーケストラ】

対象	小学生(低学年・中学年・高学年)・中学生			
企画名	夢とまほうの音楽会 ～ふしぎな楽器の世界へようこそ～			
本公演演目 原作／作曲 脚 本 演出／振付	<p>【オープニング】 リード:ギャロップ</p> <p>【楽器紹介】 小さな世界</p> <p>【魔法の音楽①】 「ハリー・ポッター」より “ヘドウィグのテーマ”(打楽器アンサンブル) “ニンバス 2000”(木管アンサンブル) “クディッチ”(金管アンサンブル) “ハリーの不思議な世界”(ウインド・オーケストラ)</p> <p>【休憩 10 分】</p> <p>【指揮棒は魔法のスティック！】 以下のメドレーを 3 名の児童・生徒によるリレーで指揮者体験をします。 ベートーベン「運命」冒頭部分～ハンガリー舞曲第 5 番～「くるみ割り人形」よりトレパック</p> <p>【楽器は魔法？】※ルロイ・アンダーソン曲集 踊る仔猫 シンコペーテッドクロック チキンリール</p> <p>【共演コーナー】 サンドペーパーバレエ (ボディパーカッションで共演)</p> <p>【魔法の音楽②】 マジカル・ミステリー・メドレー 魔法使いの弟子～ホール・ニュー・ワールド～火祭りの踊り 他</p> <p>【アンコール】 ミッキーマウスマーチ</p> <p>※金管バンドや吹奏楽部との共演希望があれば、対応可能です。 (以下曲目例) ①和泉宏隆:宝島、②宮川彬良:マツケンサンバⅡ、③マッコイ:アフリカンシンフォニー</p>			
著作権	制作団体が 所有	○	制作団体以外が所有する事 項が含まれる	○ (制作団体以外が所有す る事項が含まれる場合) 許諾の有無
演 目 概 要	<p>本プログラムでは、楽器の魅力をわかりやすく伝えるとともに音の出るしくみを理解し、より身近に感じてもらえるような構成にしました。オーケストラの奏者は長い間訓練を積みプロ奏者になっていますが、きっかけは音楽や楽器の魅力に取り憑かれたからです。そんな初心に帰って子どもたちにその魅力を伝えられればと思います。具体的には各楽器を魔法のアイテムに見立て、「ハリー・ポッター」の音楽を楽器ごとのアンサンブルで演奏し、後半ではアンダーソンの作品を用いながら各楽器のいろいろな使われ方を紹介していきますさらに子どもたちが思わず引き込まれるようなファンタジーな世界観をもつ作品から魔法にちなんだ楽曲をメドレーにして締めくくります。</p>			

公演時間(80～90分)

<p>演目選択理由</p>	<p>オープニングにふさわしい華やかなギャロップに続き、まずは吹奏楽で用いる楽器をディズニーナンバー「小さな世界」に乗せ紹介していきます。音の出るしくみを解説しつつ、音色を聴き比べていきます。続いて、魔法を題材にした人気映画「ハリー・ポッター」の音楽を取り上げ、打楽器アンサンブル、木管アンサンブル、金管アンサンブルを披露し、各楽器の特色を学び、最後は壮大なハリーポッターの世界をウインド・オーケストラの迫力あるサウンドで楽しみます。</p> <p>休憩をはさんだ後は体験コーナーとして指揮棒を魔法のスティックに見立て指揮を体験していただきます。曲はどこかで聴いたことがあるクラシックの名曲から3曲をメドレーに仕立てます。</p> <p>続いてはルロイ・アンダーソンの作品を取り上げ、様々な楽器の使い方を紹介していきます。ねこの鳴き声をクラリネットで表す「踊る仔猫」、時を刻む秒針の音をコミカルなウッドブロックで表す「シンコペーテッドクロック」、ニワトリの鳴き声が楽しい「チキンリール」に続き、共演コーナーとして「サンドペーパーバレエ」をボディパーカッション仕立てのアレンジを施します。ワークショップにて指導するボディパーカッションによりオーケストラと共演します。</p> <p>最後はマジカル・ミステリー・メドレーと題し、「魔法使いの弟子」、ディズニー映画アラジンより「ホール・ニュー・ワールド」やファリャ作曲「火祭りの踊り」などをメドレーに仕立て、ファンタジーの世界観をたっぷり味わいながらフィナーレを飾ります。</p>		
<p>児童・生徒の共演，参加又は体験の形態</p>	<p>指揮者コーナーでは指揮棒を魔法のスティックに見立て、クラシックの名曲3曲メドレーにて指揮者体験します。</p> <p>共演はアンダーソンの作品からサンドペーパーバレエを取り上げ、紙やすりの代わりにボディパーカッションによってオーケストラと共演します。コールアンドレスポンスなども取り入れ、即興演奏の楽しみ方なども盛り込みます。</p>		
<p>出演者</p>	<p>指揮：福本信太郎 司会：山下まみ、もしくは戸塚理絵 吹奏楽：シエナ・ウインド・オーケストラ(以下メンバー表) Picc: 西田紀子、Fl: 窪田恵美、重見佳奈 Ob: 金子佳代、宮川真人 E♭Cl: 木内倫子 B♭Cl: 中村めぐみ、近藤薫、飯島泉、山手寿子、佐々木理恵、黒岩真美 AltCl: 原山佐保子 BassCl: 京谷麻里子 Fg: 鹿野智子、高林美樹 Sax: 栄村正吾、江川良子、貝沼拓実、大津立史 Hr: 林育宏、加藤智浩、田島花林、和久田侑希 Tp: 砂川隆丈、久良木文、熊代祐子、佐藤友紀、上田仁 Tb: 郡恭一郎、長谷川貴大、山口隼士 Eup: 庄司恵子、齋藤充 Tuba: 山岸明彦、望月寛隆 Per: 荻原松美、村居勲、東佳樹、服部恵、新田初美 Cb: 齋藤ちひろ Hp: 井上麗</p>		
<p>公演出演予定者数 (1公演あたり)</p>	<p>出演者：45名 スタッフ：10名 合計：55名</p>	<p>機材等 運搬方法</p>	<p>積載量 4tおよび2t 車長 8.75mおよび6.19m 台数 2台</p>

公演に当たっての 会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。					
会場設営の所要 時間(タイムスケ ジュール)の目 安	前日仕込み(有(無)) 会場設営の所要時間(2時間程度)					
	到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出
	9時	9時～11時	13時～14時半	10分	14時半～16時	16時半
※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。						
児童・生徒 の参加可能人数	ワークショップ	10～500名程度				
	本公演	会場収容可能人数				
ワークショップ 実施形態 及び内容	指揮指導者1名、管楽器奏者1名、打楽器奏者1名、ピアノ奏者1名、スタッフ2名にて行います。 木管楽器と金管楽器の音の出る仕組みを解説し、ピアノ伴奏によるソロ曲の実演で楽器の音色を実際に体感します。その後は打楽器奏者により、様々な種類の打楽器や奏法などをレクチャーしていきます。休憩をはさみ、指揮者を体験する3名の児童・生徒に指揮の指導を行い、その後、本公演で取り上げる「ボディパーカッション」についてのレクチャーや共演する「サンドペーパーバレエ」の指導を行います。					
ワークショップ 実施形態の意図	吹奏楽は管楽器と打楽器により構成されていることをふまえ、管楽器の音の出る仕組みをいろいろな例を交え説明していきます。また、指揮者体験コーナーではテンポ感や曲想の異なるクラシックの名曲をメドレーに仕立て、事前に指揮レッスンを施し、よりエンターテインメント性の高い指揮者体験を実現します。また、ボディパーカッションでのオーケストラとの共演指導を通じ、本公演への期待感を高め、音楽や楽器をより身近に感じられるように指導していきたいと思っております。					
特別支援学校で の実施における 工夫点	特別支援学校でも工夫次第で、ほぼかわりなく実施できる内容になっています					
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。					

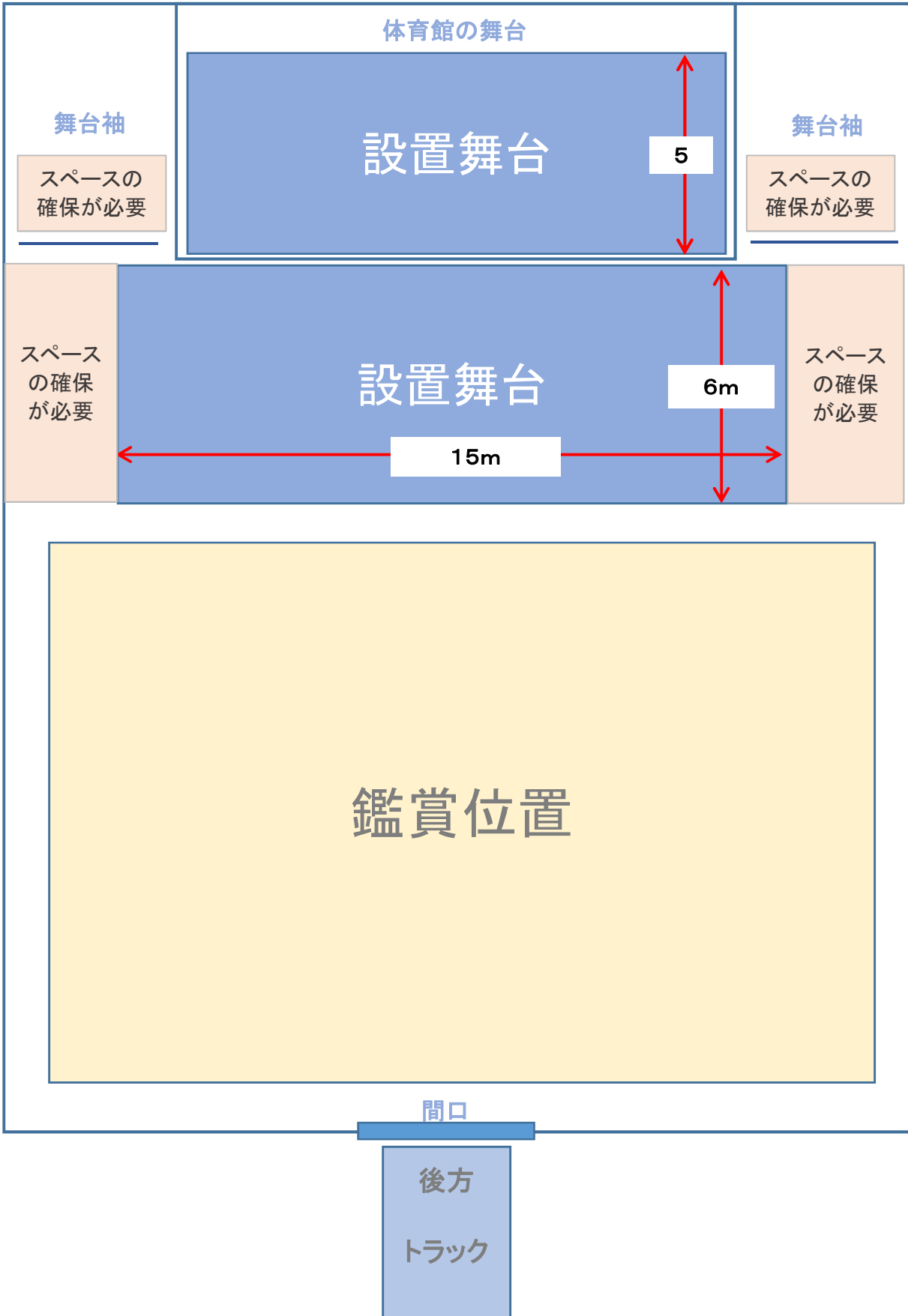
【令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	B14	分野	音楽	種目	オーケストラ等	ブロック	B	区分	A区分
公演団体名	シエナ・ウインド・オーケストラ			制作団体名	一般社団法人 ジャパン・シンフォニック・ウインズ				

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等										
控室について	可	必要数 *	4室	条件	指揮者、司会者、男性、女性 各1室							
搬入について	可	来校する車両の大きさと台数 *			4トラック&2tトラック 各1台	大型バス 2台						
	可	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			4トラック、2tトラック 1台							
	可	搬入車両の横づけの要否 *			要							
	可	横づけができない場合の搬入可能距離 *			5m以内							
	可	搬入経路の最低条件			・できる限り階段のない経路が望ましい。 ・屋根のある経路が望ましい。							
		理由			大型楽器や平台の搬入があるため							
	可	設置階の制限 *			1階の設置が望ましい							
	不可	搬入間口について 単位:メートル		幅	1.5m	高さ	2.2m					
WSについて	可	参加可能人数			制限なし(会場収容人数まで)							
	可	学年の指定の有無 *			なし	指定学年 *	なし					
	可	所要時間の目安 単位:分			80分~90分							
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安をご参照ください。							
	可	鑑賞可能人数			制限なし(会場収容人数まで)							
	可	舞台設置場所 *			ステージ上・フロアの両方							
	可	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル		幅	15m	奥行	11m	高さ	指定なし			
	可	体育館の舞台を使用する場合の条件			舞台袖スペースの確保 *			要				
	可				舞台袖スペースの条件 *			荷物があまり無い状態が望ましい				
	—				緞帳 *	不要		バトン *	不要			
	—	遮光(暗幕等)の要否 *			不要	理由						
	—	ピアノの調律・移動の要否		指定位置へのピアノの移動 *	不要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。						
	—			ピアノの事前調律 *		不要						
	可	フロアを使用する場合の条件		バスケットゴールの設置状況 *		格納されていれば可						
	可	公演に必要な電源容量			20A		※主幹電源の必要容量					
	その他特記事項											

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	1.5m	高さ	2m
搬入車両の横づけの要否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		5m以内		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

夢と“まほう”の音楽会

～ふしぎな楽器の世界へようこそ～



今回シエナが提案するコンサートは「魔法」の世界観を味わう夢のような音楽会です。楽器に息を吹き込むと、信じられない大きな音やまさに魔法にかけられたような素敵な音色が鳴り響きます。今回はそんな楽器の秘密を解き明かしながら「ハリー・ポッター」やルロイ・アンダーソンの楽しい曲をいっしょに楽しみましょう！



【オープニング】

リード：「吹奏楽のための第1組曲」より“ギャロップ”

【楽器紹介】

ディズニーの名曲「小さな世界」のメロディに乗せて各楽器を紹介

【魔法の音楽①】

「ハリー・ポッター」より

“ヘドウィグのテーマ”（打楽器アンサンブル）

“ニンバス2000”（木管アンサンブル）

“グディッチ”（金管アンサンブル）

“ハリーの不思議な世界”（ウインド・オーケストラ）

【指揮棒は魔法のスティック！】（指揮者体験コーナー）

ベートーヴェン：「運命」～ハンガリー舞曲第5番

～「くるみ割り人形」より“トレバック”

【楽器は魔法？】（ルロイ・アンダーソン曲集）

踊る仔猫

シンコペーテッドクロック

チキンリール

サンドペーパーパレエ（共演コーナー）

【魔法の音楽②】

マジカル・ミステリー・メドレー

魔法使いの弟子～ホール・ニュー・ワールド～火祭りの踊り 他

【アンコール】以下から1曲を自由に選択できます。

①和泉宏隆：宝島

②宮川彬良：マツケンサンバⅡ

③マッコイ：アフリカン・シンフォニー

（いずれの曲も吹奏楽部や金管バンドとの共演が可能です）



【指揮】福本信太郎

昭和音楽大学准教授として同大学吹奏楽団を指揮、指導する傍ら、多くのアマチュア吹奏楽団を全日本吹奏楽コンクール全国大会へと導いている。

【司会】山下まみ

NTV「every」リポーター、NHK「NEWS WEB」つぶやきリーダー、「Tokyo 7th Sisters」九条ウメ、「けものフレンズ」マーゲイ、「BanG Dream！」山吹千紘などで活躍。



【シエナ・ウインド・オーケストラ】

1990年に結成されたプロフェッショナルのウインド・オーケストラ。現在、文京シビックホールを拠点に演奏活動を展開し高い人気を誇っている。2002年より佐渡裕を首席指揮者に擁し、青島広志、宮川彬良など多彩な指揮者を客演に迎えている。2010年文京区と事業提携を結び、地域や教育機関と密着した活動も積極的に展開している。また、テレビ朝日「題名のない音楽会」等のメディアへの出演や、CD・DVDも多数リリースしており、いずれも大きな話題を呼んでいる。<http://sienawind.com/>



VI 令和2年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野, 種目 (該当する種目に○を付してください。)

分野	種目
【音楽】	合唱, オーケストラ等, 音楽劇
【演劇】	<input checked="" type="checkbox"/> 児童劇, 演劇, ミュージカル
【舞踊】	バレエ, 現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸

申請する区分に, ○を付してください。

A区分のみ ・ A区分とB区分の両方 ・ C区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)

あり ・ なし

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

- (1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能
 (2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能
 (3) 提案したいいずれか1企画のみ実施可能
 (4) その他()

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	ゆうげんがいしゃ げきだんかぜのこほっかいどう 有限会社 劇団風の子北海道		
代表者職・氏名	代表取締役 植村直己		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒〒001-0027 札幌市北区北 27 条西 11 丁目5-7		
電話番号	011-726-3619	F A X 番号	011-726-0303
ふりがな 公演団体名	ゆうげんがいしゃ げきだんかぜのこほっかいどう 有限会社 劇団風の子北海道		
代表者職・氏名	代表取締役 植村直己		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒〒001-0027 札幌市北区北 27 条西 11 丁目5-7		
制作団体 設立年月	平成5年4月27日		
制作団体 組織	役職員 代表取締役 植村直己 取締役 篠生 明 坂本 光司 上野 翼 菊地 真央	団体構成員及び加入条件等 14名 18歳以上(高校卒業)	

事務体制の担当	専任・他の業務と兼任	本事業担当者名	信清敬子
経理処理等の 監査担当の有無	有・無	経理責任者名	植村敬子
制作団体沿革	<p>東京都世田谷区下北沢で1950年創設した児童劇専門劇団「劇団風の子」の地方班第1号として、札幌を拠点に北海道のすみずみの子ども達に児童劇を届けること、北海道という土地で作品を生み出し日本中の子ども達に地方独自の特色ある児童劇を届けることを目的に設立。</p> <p>1982年に「劇団風の子北海道班」として活動開始。小学校、養護学校、保育園、幼稚園、教育委員会、子ども劇場、その他年間600ステージ以上巡演。</p> <p>1990年 ロシア、サハリン州立人形劇場との国際文化交流開始。</p> <p>1993年4月27日に法人格取得。</p> <p>2016年 幼児向け作品「うしろの正面なあんだ」が厚生労働省 児童福祉文化賞授賞。</p> <p>2017年 中・高生向け作品「ボクラのばにしんぐぼいんと」製作。</p> <p>2019年現在に至るまで、「森の笛が聞こえる」「どんぐりと山猫」「十二の月の物語」「マーレンと雨姫」などの演劇教室作品や「めっきらもつきらどおんどん」、参加劇「うそんこほんこ」など幼児・乳幼児向け作品を数多く制作、巡演している。海外公演も継続している。</p>		
学校等における 公演実績	<p>演目「マーレンと雨姫」</p> <p>1997年 公演実績 91回</p> <p>1998年 公演実績 161回</p> <p>1999年 " 150回</p> <p>2000年 " 151回</p> <p>2001年 " 176回</p> <p>2002年 " 161回</p> <p>2003年 " 40回</p> <p>2014年 公演実績 41回</p> <p>2015年 " 102回</p> <p>2016年 " 109回</p> <p>2017年 " 109回</p> <p>2018年 " 105回</p> <p>(マーレンと雨姫以外の作品も含めると年間410ステージ)</p>		
特別支援学校に おける公演実績	<p>「マーレンと雨姫」では</p> <p>1997年～2003年で5回</p> <p>2014年～2015年で2回</p> <p>2016年 文化芸術による子どもの育成事業 で1回</p> <p>2017年 文化芸術による子どもの育成事業 で3回</p> <p>2018年 文化芸術による子どもの育成事業 で2回 (聾学校1回)</p>		

参考資料の有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	有 ・ 無
		申請する演目の DVD または WEB 公開資料	有 ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:
	A の提出が困難な場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料	有 ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	
※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード		ID: PW:	

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 有限会社 劇団風の子北海道】

対象	小学生(低学年・中学年・高学年) ・ 中学生			
企画名	子どもたちが主役！一緒につくろう『マーレンと雨姫』			
本公演演目	「マーレンと雨姫」			
原作／作曲 脚 本 演出／振付	原作 テオドール・シュトルム「たるの中から生まれた話」 脚色 多田徹、中島茜 演出 鳴海輝雅 美術 有賀二郎 音楽 岸 功、菊池大成			
	上演時間(70 分)			
著作権	<input type="radio"/>	制作団体が 所有	制作団体以外が所有する 事項が含まれる	(制作団体以外が所有 する事項が含まれる場 合) 許諾の有無
演 目 概 要	<p>● あらすじ</p> <p>みなさんの学校に旅の一座がやってきます。旅をしながら聞いてきたいろんな話を子ども達の前で演じるのです。今日のお話は『マーレンと雨姫』。</p> <p>今から 100 年以上前のドイツのお話。少女マーレンの住む村では百年ぶりの日照りが続いています。草木は枯れ、牛やヒツジや人間も水がほしくてたまりません。</p> <p>マーレンの父さんのヤーコブは、今まで水はけの悪い沼地の畑を持っていて苦労していましたが、この日照りでちょうどよく干上がって作物や牧草が青々と茂り、大金持ち。昔なじみのカスパーが頼みに来ても干草を分けてあげないのを見て、マーレンの心は痛みます。村の人達のためにも、早く雨が降ってほしいと願っていました。</p> <p>「雨が降らないのは、雨姫様が眠っているからだって！」と教えてくれたのは羊飼いの少年アンドレース。アンドレースのおばあちゃんに話を聞いて、二人は雨姫様を探しに出かけます。雨姫様が守る深い井戸までの道すじは、おばあちゃんが教えてくれました。でも、雨姫様を起こす呪文と井戸のカギのありかは分かりません。</p> <p>雨姫様が眠っている間に「火の玉おやじ」は大あばれ。雨なんか降らされてはたまらないと行く手を阻もうとしますが、二人は知恵と勇気で呪文を聞きだしカギのありかもつきとめます。</p> <p>森をぬけ、洞穴から続く階段を下りて進んでいくと、谷底の突き当たりに井戸があり、雨姫様が眠っていました。でもそこへ行くには火のように熱いところを歩いていかなければなりません。雨を降らせまいと、ヤーコブも火の玉おやじも追いかけてきます。マーレンとアンドレースは雨姫様を起こし、雨を降らせることができるでしょうか。</p>			

● 演目解説

「マーレンと雨姫様」は1958年、劇団風の子がはじめて全国公演をするために創立者の多田徹によって書かれました。長い間上演され、子どもたちに親しまれています。劇団風の子北海道では「マーレンと雨姫」の題名で、北海道独自の視点「子どもと自然」をテーマに中島茜の脚色を加え鳴海輝雅の演出で1997年から2003年まで巡演し、2014年から再演しています。原作はドイツの作家テオドル・シュトルム(1817～1888)の「たるの中で聞いた話:」の中の「雨姫」で、当時の社会状況が反映された物語です。

昔、マーレンの村では雨姫様や火の玉おやじなどの自然の精霊たちと共に暮らしていました。自然の精霊である雨姫様は、地下の水脈の源の井戸を守っていて、昔々から人間の暮らしを見つめ、程よく雨を降らせたり川の水を流してきました。「火の玉おやじ」もこの物語の中では人々を困らせますが、もともとは村の辻にひょっこり座っていたり、畑や草地を飛び跳ねる自然の精霊で、雨姫と対をなして恵みを与えてくれる存在でした。

社会の変化によって、人間中心の生き方が当たり前になり、人間の暮らしに物があふれ便利さやお金が大切にされるようになると、人々は自然の存在を忘れてしまいます。私達の暮らす日本でも、大雨で川が氾濫したり山が崩れたり、日照りや地震は自然の災害ですが、だからこそ人間は、精霊に語りかけ祈り祭りをしてきました。

この物語の中では、自然との付き合い方を忘れないようにしてきたアンドレースのおばあちゃんが雨姫のことを子どもたちに伝え、子ども達は信じて進んで行きます。

劇を見ている子どもたちは、「私にできるかしら・・・」と思いながらも一步一步進んでいくマーレンや、ちょっと頼りないところもあるけれど、いざとなったら勇気をもって進んでいくアンドレースと一体となり、心を躍らせてみせてくれているようです。物語の中でマーレンは「お父さんも村の人も大事」と雨を降らせるようお願いします。そして雨が降り、再び水害で困る父親に、「明日からは私も畑の水はけのことを考える」と成長した姿を見せます。

舞台装置は体育館のフロアーに作り、子ども達には身近に見てもらえるように工夫しています。自然光を取り入れた空間で、子ども達が本来持っている想像力を引き出していきます。効果音や音楽もその場で生で演奏します。子どもたちにとって珍しい楽器も目の前で演奏され、子ども達は五感を全部使って物語の世界に入っていきます。

演目選択理由

劇団風の子北海道は、「子どものいるとどこへでも」を合言葉に、小学校の授業の中での演劇教室にふさわしい作品を作ってきました。

子ども達の生活の場、学びの場である学校で、友だちや先生と一緒に生の演劇を鑑賞し、共感することは子どもの成長にとって非常に大切です。

だからこそ、『マーレンと雨姫』は、子どもの成長、自立、互いを信じること、自然と共存することなど、次代を担う子ども達へ願いをこめた作品になっています。

「子どもが本来持っている力を信じる」ことが物語の芯になっているため、子ども達と共演する本事業には特にふさわしいと考え演目を選択しました。

また、私達は小学校の体育館で演劇を上演する方法を専門に確立してきました。低学年から高学年、障がいのある子ども達も安心して劇の中に入り込み楽しめるような舞台表現を選んでいきます。

『マーレンと雨姫』に共演してもらおう方法も、本来子どもが持っている表現をベ

	<p>ースにできるので、ワークショップでは子ども達の自主性を引き出し、一体感を持つ内容を構成しています。</p> <p>子ども達の発想力やコミュニケーション能力を育て、未来の文化の担い手として将来の芸術家の育成や芸術鑑賞能力の向上につなげようとする本事業の目的と合致すると思い選択しました。</p>		
<p>児童・生徒の共演，参加又は体験の形態</p>	<p>子ども達の共演部分が劇の山場です！</p> <p>子ども達には、劇の流れの中で、お話のクライマックスの場面で共演してもらいます。場面はマーレンが井戸のふたを開き泉の水が流れ出すところです。</p> <p>雨を降らせまいとする火の玉おやじと共に熱い炎を燃やしたり、雨姫様と共に水の流れや生き返っていく魚たち、美しく咲きそろう花を表現します。表現の詳細は子ども達とのワークショップで作っていきます。</p> <p>クラスみんなで表現しよう！楽しもう！</p> <p>各学校の人数にもよりますが、子ども達30人から80人くらいに共演参加してもらいます。学年・クラス単位で、少人数の学校では全学年で参加してもらうことも可能です。（事前に先生と相談して決めます。）</p> <p>はじめは客席で観劇し、場面になったらその場から参加。またラストシーンを観劇できるように流れを作りました。衣装や小道具を使った目立つ役割もありますが、基本的に全員で一体感をもって表現できる内容です。</p> <p>真剣！本物の舞台で俳優たちとリハーサル</p> <p>公演当日、本物の舞台の上で俳優たちとリハーサルします。俳優達は児童劇を専門にしているので、日ごろから子ども達の表現を引き出し、受け取ることを訓練しています。音楽も俳優たちが生で演奏するので、子ども達その日のリズム、表現に合わせて音を出したり流れを作っていきます。子ども達と俳優たちの遊び心と真剣さで新しい表現が生まれます。</p>		
<p>出演者</p>	<p>篠生 明 、 坂本光司 、 木村智子 菊地真央 、 盛わかな 、 杉村香凜</p>		
<p>公演出演予定者数 (1公演あたり)</p>	<p>出演者： 6 名 スタッフ： 1 名 合計： 7 名</p>	<p>機材等 運搬方法</p>	<p>積載量 2トン 車長 7 m未満 台数ワゴン車含め 2 台</p>

公演に当たっての 会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。																									
会場設営の所要 時間(タイムスケ ジュール)の目 安	<p>前日仕込み(有・無) 基本的には当日準備します。 開演時間や会場条件によってお願いすることもあります。</p> <p>会場設営の所要時間(4 時間程度) 準備は3時間半弱だが児童とリハーサルを行うため</p> <p>午後公演の場合(例)</p> <table border="1" data-bbox="392 869 1430 987"> <thead> <tr> <th>到着</th> <th>仕込み</th> <th>本公演</th> <th>内休憩</th> <th>撤去</th> <th>退出</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8時</td> <td>8時～13時 (昼食時間込み)</td> <td>13時～ 14時10分</td> <td>0分</td> <td>14時半～ 17時半</td> <td>17時半</td> </tr> </tbody> </table> <p>※開演時間は、各学校の授業時間に合わせて考えます。 ※会場条件によって準備、撤去の時間が変わり、これよりも長くかかることもあります。</p> <p>午前公演の場合(例)</p> <table border="1" data-bbox="392 1126 1430 1279"> <thead> <tr> <th>到着</th> <th>仕込み</th> <th>本公演</th> <th>内休憩</th> <th>撤去</th> <th>退出</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7時</td> <td>7時～11時</td> <td>11時～ 12時10分</td> <td>0分</td> <td>13時～ 15時半</td> <td>15時半</td> </tr> </tbody> </table> <p>※上記、同じです。 ※やむをえず午前公演となってしまう場合には下のスケジュールとなります。</p>		到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出	8時	8時～13時 (昼食時間込み)	13時～ 14時10分	0分	14時半～ 17時半	17時半	到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出	7時	7時～11時	11時～ 12時10分	0分	13時～ 15時半	15時半
到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出																					
8時	8時～13時 (昼食時間込み)	13時～ 14時10分	0分	14時半～ 17時半	17時半																					
到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出																					
7時	7時～11時	11時～ 12時10分	0分	13時～ 15時半	15時半																					
児童・生徒 の参加可能人数	ワークショップ	～70人くらい(学年単位で。全校の場合も有り。)																								
	本公演	鑑賞は全校児童、共演はワークショップを行った子ども達。																								
ワークショップ 実施形態 及び内容	<p>事前に 練習や役決めは必要ありません。先生方に台本とDVDを送りますので大きいイメージを持っていただきたいと思います。子ども達は当日お芝居を見る楽しみもあるので、ワークショップの際にあらすじを伝えます。</p> <p>内容</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 「マーレンと雨姫」について、あらすじ。(10分くらい) ② からだや声の準備運動。イメージ遊び体験。発声練習(15分くらい) ③ 舞台装置や演出のイメージをもってもらおう。(5分くらい) ④ 「火の玉おやじと大あばれ」シーン作り。(15分くらい) 休憩(5分) ⑤ 「雨姫様と雨ふらせ」シーン作り。(15分くらい) ⑥ 劇の流れに入って通し練習。(30分くらい) <p>参加人数 劇に参加する児童を対象に行います。学校の人数にもよりますが、だいたい20人から70</p>																									

	<p>人くらい。できれば高学年の子ども達を中心にしたいので、4、5、6年生のうちの1～2学年に参加してもらうことが多いです。学校の希望により、その限りではありません。小規模の学校では全員参加も可能です。</p>
<p>ワークショップ 実施形態の意図</p>	<p>① 「マーレンと雨姫」について、あらすじ。 「マーレンと雨姫」のあらすじを聞いて、物語をイメージしてもらいます。</p> <p>② からだや声の準備運動、発声練習 のびのびと表現するために、遊びを取り入れた体操で子ども達の心とからだをやわらかくします。からだがあぐれてきたら、声も出してみます。また、表現する前に必要な集中力を高めます。子ども達が自分から表現する身体にするため工夫しています。</p> <p>③ 舞台装置や演出のイメージをもってもらおう。 舞台の大きさや目的、演出方法を分かりやすく説明し、子ども達にイメージしてもらいます。子ども達の表現を引き出す工夫です。</p> <p>④ 「火の玉おやじと大あばれ」シーン作り。 全員でからだを大きく使い大きな声でセリフを言って生き生きとした火の表現をします。衣装を着て舞台に出てきてもらう人、その他の役割もその場でやりながら決めていきます。劇作りのスピード感や即興性も体験してもらいます。</p> <p>⑤ 「雨姫様と雨ふらせ」シーン作り。 全員で綺麗に咲きそろう花を表現してもらいます。効果音の鈴をならしたり水、魚、など小道具を使った表現にも挑戦してもらいます。</p> <p>⑥ 流れの中で通し練習 いよいよ台本の流れの中で表現していきます。当日をイメージしながら流れを繰り返し体験していきます。本番でしっかり演技できるように大筋をつかんでもらいます。</p>
<p>特別支援学校での実施における工夫点</p>	<p>それぞれの学校によって子ども達の障がい異なるので、それぞれに難しいことがあると思います。上記の内容をもとに、各学校の先生方と相談した上で易しい表現にかえたり、個々に対応いたします。生徒の皆さんが過度な緊張をせず、楽しんで劇を鑑賞、体験してくれることを基本におきたいと思います。</p> <p>これまでの特別支援学校での公演では、子ども達の体調に応じてワークショップの時間を考えました。今までの公演ではこちらが用意していないものですばらしい表現を生み出してくれた子ども達がたくさんいました。できるだけ子ども達の表現を生かし、一緒に舞台を作りたいと思います。</p>
<p>実施可能時期</p>	<p>実施可能時期スケジュール表をご確認ください。</p>

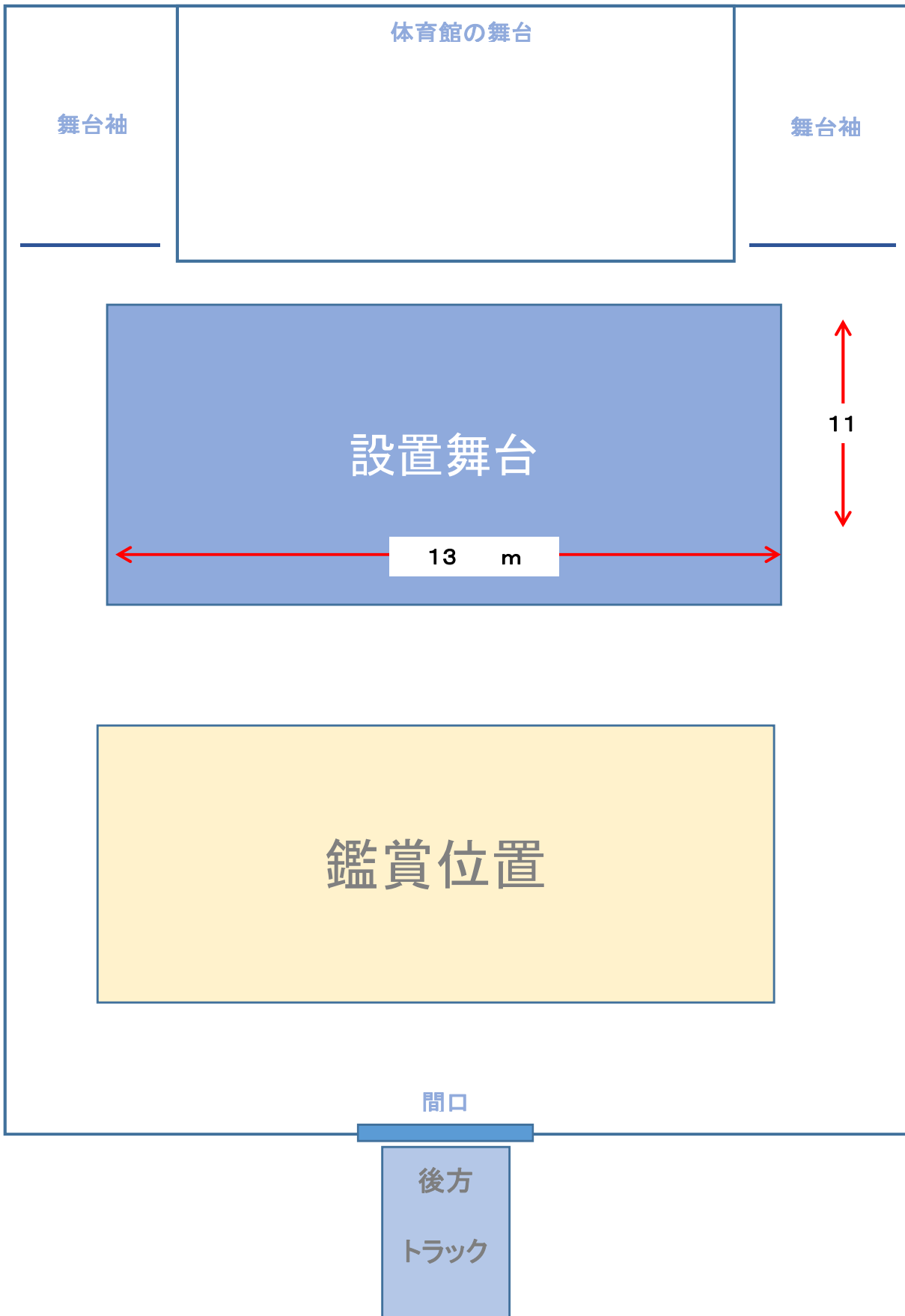
【令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	B15	分野	演劇	種目	児童劇	ブロック	B	区分	A区分
公演団体名	有限会社 劇団風の子北海道				制作団体名	有限会社 劇団風の子北海道			

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等							
控室について	可	必要数 *	1室	条件	基本的には会場内で行いますが、必要な場合のみ1室お願いします。				
搬入について	可	来校する車両の大きさと台数 *			2トラック	1台	バン	1台	
	不可	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			長さ6m42、幅2m22、高さ3m06				
	可	搬入車両の横づけの要否 *			要				
	可	横づけができない場合の搬入可能距離 *			10m以内ありがたいが相談してください。				
	可	搬入経路の最低条件			屋根がある経路が望ましいです。横付けできない場合は準備時間が30分位多くかかります。				
		理由			大型の舞台道具を少人数で複数搬入するため				
	不可	設置階の制限 *			3階以上不可(2階までは可)				
	可	搬入間口について 単位:メートル		幅	1.8m	高さ	1.8m		
WSIについて	可	参加可能人数			~70人位ですが、学年の人数によって~90人くらいまで可能です。				
	可	学年の指定の有無 *			なし	指定学年 *	できれば高学年。全校も可		
	不可	所要時間の目安 単位:分			90分(養護学校の場合は応相談)				
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安をご参照ください。				
	可	鑑賞可能人数			全校児童で観賞。共演はワークショップ体験学年。~520人くらいまで。				
	不可	舞台設置場所 *			フロア				
	不可	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル		幅	13m	奥行	11m	高さ	7m
	—	体育館の舞台を使用する場合の条件			舞台袖スペースの確保 *			不要	
	—				舞台袖スペースの条件 *				
	—				緞帳 *	不要	バトン *	不要	
	可	遮光(暗幕等)の要否 *			要	理由	体育館の半分くらい遮光できればよいです。暗幕がないときも相談してください。		
	—	ピアノの調律・移動の要否		指定位置へのピアノの移動 *	不要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。			
	—			ピアノの事前調律 *	不要				
	可	フロアを使用する場合の条件		バスケットゴールの設置状況 *	格納されていれば可				
	可	公演に必要な電源容量			50A	※主幹電源の必要容量			
	その他特記事項								
可	会場条件によっては前日仕込みが必要です。								

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	1.8m	高さ	1.8m
搬入車両の横づけの要否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		10m以内		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

劇団風の子北海道作品



マールと 雨姫

テオドル・シュトルーム原作
「たるの中から生まれた話」より
脚色 多田 徹 / 演出 鳴海テルマサ

ふしぎな劇じゃあるけれど子ども衆にはわかるはず!



「マールンと雨姫」

聞いてください
見てください!

テオドール・シュトルム作「たるの中から生まれた話」より



スタッフ

原作 テオドール・シュトルム
脚色 多田 徹
演出 鳴海テルマサ
美術 有賀 二郎
音楽 岸 功
衣裳 菊池 大成
協力 住吉アキヨ 小坂橋 恵
小道具 相馬 寛之
照明 植村 直己

劇団風の子は一九五〇年東京世田谷に誕生し「子どもがいるとどこへでも」を合言葉に、児童演劇専門劇団として全国を旅しています。
風の子北海道は一九八二年札幌に拠点をおき「森の笛がきこえる」「どんぐりと山猫」「十一の月の物語」など、自然と人間のかわりを見つめる作品を作ってきました。
一年を通して道内外をとりまわっています。

おはなし

こんなにも暑い夏は百年ぶりです。雨が降らないので畑に作物もできず、羊も牛も人間も水がほしくて死にそつです。
マールンのお父さんの畑は、もとは水たまりだったので今はちようとよくなり、青々と育った作物を売って急にお金持になりました。
雨姫様がねむっているから雨が降らないと知ったマールンは、羊飼いのアンドリースといっしょに、雨姫様を探しに出かけます。
でも、雨が降られては困る火の玉おやじがまちかまえています。



上演にあたって

この物語は、人間のまわりにまだ自然の精霊や神さまがいた頃のお話です。
大風や大雨、日どりなどが人間におそいかかってくる人々はお祈りしたり祭をしたりしていました。でもだんだん人間たちが自然を征服できると思うようになると、忘れられた雨姫様は眠ってしまいました。マールンとアンドリースは「それなら起こしにゆこう」と冒険の旅に出かけます。体育館のまん中に舞台をつくり、日どりが広がると大きな炎の幕が舞台をおおいます。火の玉おやじが元気になる音も反対に雨姫様がめざめて井戸から水があふれる音も生の楽器で表現します。真近かな空間で六人の旅の一座が役を演じた音を出したり歌ったり。見ている子どもたちに身体全体で感じとってほしいと思っています。



VI 令和2年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野, 種目 (該当する種目に○を付してください。)

分野	種目
【音楽】	合唱, オーケストラ等, 音楽劇
【演劇】	<input checked="" type="checkbox"/> 児童劇, 演劇, ミュージカル
【舞踊】	バレエ, 現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸

申請する区分に, ○を付してください。

 A区分のみ ・ A区分とB区分の両方 ・ C区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)

 あり ・ なし

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

- (1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能
 (2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能
 (3) 提案したいいずれか1企画のみ実施可能
 (4) その他()

芸術文化団体の概要

ふりがな	ゆうげんがいしゃ げきだんかかしざ		
制作団体名	有限会社 劇団かかし座		
代表者職・氏名	代表取締役 後藤 圭		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒224-0026 神奈川県横浜市都筑区南山田町4820-1 (横浜市営地下鉄・グリーンライン「東山田駅」下車 徒歩10分)		
電話番号	045-592-8111	FAX番号	045-592-8458
ふりがな	ゆうげんがいしゃ げきだんかかしざ		
公演団体名	有限会社 劇団かかし座		
代表者職・氏名	代表取締役 後藤 圭		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒224-0026 神奈川県横浜市都筑区南山田町4820-1 (横浜市営地下鉄・グリーンライン「東山田駅」下車 徒歩10分)		
制作団体 設立年月	1952年 7月		
制作団体 組織	役員	団体構成員及び加入条件等	
	代表取締役 後藤 圭 取締役 飯田周一、石井世紀 西垣 勝、山下義文	(1) 団体構成員 計25名 【役職員】5名 【広報部】櫻井尚人 【舞台部】菊本香代、他12名 【美術部】山中亜衣、他1名 【企画営業部】関幹男、他2名 【経理部】井上かおる、他1名 (2) 加入の条件 劇団の行う選考に合格すること	
事務体制の担当	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 ・ 他の業務と兼任	本事業担当者名	野村 晴子
経理処理等の 監査担当の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無	経理責任者名	井上 かおる

制作団体沿革	1952年、日本最初の現代影絵専門劇団として創立。53年、NHK 専属劇団となる。59年、会社法人(有限会社)設立。64年、学校公演を開始。73年、NHK 特別番組「竹取物語」を制作。(モンテカルロ国際 TV 映画祭優秀作品)。以後、様々な TV 局を通じて影絵作品を制作・放映。84年、東京から横浜市に本拠を移し、以後今日まで児童劇作品を中心に制作・上演。07年、第1回アジア児童青少年演劇フェスティバル参加。09年、岐阜県下呂市より委託を受け、影絵昔話館「しらさぎ座」の常設公演開始。(19年終了)。09年、手影絵作品でドイツ国際影絵フェスティバルに参加。以降、毎年国際フェスティバルに招聘され、現在までに 21 カ国 31 都市で公演参加。19年3月、韓国の人形劇団 Art Stage SAN と合同企画「ごめんね、ありがとう！る島の秘密」を制作し、東京・横浜で初演。8～9月に韓国各都市で上演。		
学校等における公演実績	<p>昭和 39 年 学校公演を開始。平成 29 年度は年間 708 日の公演の内、264 日を国内の小中学校で実施。その他、公立文化ホールにて、教育委員会や文化ホール指定管理者等主催の児童生徒の団体鑑賞公演を実施している。</p> <p>今日までに制作した舞台作品は 50 を超え、平成 24 年に「魔法つかいのおとぎばなし」、平成 25 年に「宝島」が厚生労働省社会保障審議会・特別推薦児童福祉文化財を受賞。他、東京都優秀児童演劇選定優秀賞、厚生労働省社会保障審議会・推薦児童福祉文化財など、受賞作品多数。</p> <p>【近年の小・中・特別学校での上演実績】(文化庁事業を含む)</p> <p>平成 28 年度 全 430 公演 うち「三枚のおふだ」101 公演、「長靴をはいたねこ」161 公演</p> <p>平成 29 年度 全 392 公演 うち「三枚のおふだ」99 公演、「長靴をはいたねこ」136 公演</p> <p>平成 30 年度 全 371 公演 うち「Wonder Shadow Labo」107 公演、「三枚のおふだ」92 公演</p>		
特別支援学校における公演実績	(文化庁事業を含む) 平成 23 年度 4 校、平成 24 年度 2 校、平成 25 年度 3 校、平成 26 年度 2 校、平成 27 年度 1 校、 平成 28 年度 「三枚のおふだ」1 公演、「長靴をはいたねこ」1 公演、 「魔法つかいのおとぎばなし」1 公演、「星の王子さま」1 公演 平成 29 年度 「三枚のおふだ」1 公演、「長靴をはいたねこ」2 公演、他 1 公演 平成 30 年度 「Wonder Shadow Labo」2 公演、「長靴をはいたねこ」1 公演、 「三枚のおふだ」1 公演(大田区立小・中学校特別支援学級合同鑑賞)		
参考資料の有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	有 ・ 無
申請する演目の DVD または WEB 公開資料		有 ・ 無	
※公開資料有の場合 URL		https://www.youtube.com/watch?v=gTVbUF0czVQ&list=PLC0MGJlv2tX-iCqyocJkallgq0JNOyViS&index=14&t=0s	
※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード		ID: PW:	
A の提出が困難な場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料	有 ・ 無	
	※公開資料有の場合 URL		
	※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:	

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 有限会社 劇団かかし座】

対象	小学生(低学年・中学年・高学年) ・ 中学生		
企画名	Wonder Shadow Labo (よみ)ワンダー シャドウ ラボ		
本公演演目	「Wonder Shadow Labo」		
原作/作曲 脚本 演出/振付	脚本・構成・演出/後藤圭 「シエトの冒険」台本/若林一郎 音楽/石川洋光 児童参加プラン(脚本・構成・演出変更、監修)/太宰久夫 舞台美術/齋藤浩樹 衣裳/中矢恵子 共演児童衣裳/小林巨和 振付/楠原竜也 舞台監督/杉村向陽、高橋信濃(Mals A Sol) 音響/山北史郎(山北舞台音響) 照明/坂本義美(龍前舞台照明研究所) 影絵美術監修/後藤圭 影絵美術/劇団かかし座美術部、小田純治、小島直子、とうたいよう 公演時間(90分)		
著作権	制作団体が 所有	○	制作団体以外が所有する事 項が含まれる 有 (制作団体以外が所有す る事項が含まれる場合) 許諾の有無
演目概要	<p>『Wonder Shadow Labo』は、平成 27 年度文化庁「トップレベルの舞台芸術創造事業」で文化ホール上演作品として制作・上演した『Wonder Shadow』を、学校でも上演可能な作品として改編したものです。影絵表現の仕組みと面白さ、不思議さを影絵実験ショーとして上演します。</p> <p>実験室を模した舞台セットの中、俳優たちは日々影絵の研究に取り組む博士と研究員(Dr.シャドウ)に扮し、作品は進行していきます。Part1～3 の 3 部構成となっており、Part1,2 ではDr.シャドウたちが身近な素材や自分の身体で様々な影絵表現ができることを実験を通して提示し、Part3 ではDr.シャドウたちがそれら影絵表現を用いてお話を上演する劇中劇になっています。特に Part3 の「シエトの冒険」は美しい影絵と数々の音楽・歌が合わさり、かかし座オリジナル、ミュージカル仕立ての楽しい演劇作品になっています。</p> <p>【Part1】 Dr.シャドウの影絵ラボ 30 分 ちよっと頼りない博士と Dr.シャドウたちが、秘密の実験室で繰り広げる楽しい影絵実験ショー。ボールやハンカチ、積み木から不思議な影が次から次へ現れる！皆がやってみたくなるワクワクドキドキの実験ショーです。</p> <p>【Part2】 Hand Shadow Show 上演 15 分 手と体だけでいろいろな動物の影を紡ぎ出してみせる、劇団かかし座得意の「Hand Shadow Show」。世界中のフェスティバルや TV 番組でも大人気のパフォーマンスです。かかし座と合わせ、事前ワークショップで指導した児童による上演も行います。</p> <p>【休憩 10 分】</p> <p>【Part3】 影絵劇「シエトの冒険」上演 35 分 お話を作った博士は、Part1,2 の手法を用いて Dr.シャドウたちとお話ごっこを始めます。 [あらすじ]遠い遠いどこかの国で、雨が降らずに困っている村があった。そこには何とかして村人の役に立とうとする勇気のある少年がいた。名前はシエト。 シエトは村の古くからの言い伝えを信じ、雨を降らせるドラゴンを探す旅に出る。途中、小人や妖精を助けたシエトは、彼らから様々な助けを得る。しかしその旅は困難の連続で…。</p>		

	<p>【みどころ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究所を模した楽しい舞台セットと、3面スクリーンによる迫力ある影絵映像セットで、いつもの体育館で本格的な演劇体験をすることができます。 ・“光と影の研究所”なる設定により、演劇とサイエンスを融合させたアプローチで多角的な表現の世界を具体的に提案し、子どもたちの想像力や創造性を引き出します。 ・Part1,2 での「玉人形上演」「手影絵ショー」で子どもたちの想像力を掻き立て、影絵の世界へと誘います。 ・様々な困難が降りかかっても、あきらめず勇気をふりしぼって立ち向かうシエトの姿に、思わずみんなで応援したくなり、わくわく感やドキドキ感を一緒になって味わいます。
<p>演目選択理由</p>	<p>『Wonder Shadow Labo』は、平成30年4月の初演以来、令和元年7月まで、小学校・特別支援学校を中心に140ステージ上演しました。</p> <p>影絵劇においてはスクリーン裏側にあつて観客からは見ることのできない表現の仕組みを公開するという斬新な作品スタイルと、そこでの様々な工夫と芸術性が大変高い評価を得ています。子どもたちは影の特性を利用した表現を鑑賞・体験することで、発想力、表現力を豊かにします。</p> <p>また、どんな困難にも負けず自分を信じて立ち向かい、諦めていた村人のやる気を起こし、自分たちの村を再生するシエトの姿は、子どもたちの心に深く残り、成長の糧となるでしょう。</p> <p>美しい影絵、大掛かりな舞台装置や役者の熱演を間近で観たり感じたりする体験は、思わず体から溢れる感動となり、将来の芸術家の育成や芸術鑑賞能力の向上につながると考えます。</p>
<p>児童・生徒の共演，参加又は体験の形態</p>	<p>A. 玉人形ショーの上演</p> <p>事前ワークショップで製作し構成を考えた玉人形によるショーを、音楽にのせて上演します。 (〔共演者の学年・人数〕中～高学年4～10人程度 ※偶数が望ましい 当日リハーサルあり)</p> <div data-bbox="389 1144 1433 1529" style="border: 1px solid green; padding: 10px;">  <p>玉人形でショーを上演しよう</p> <p>俳優の紹介を受けてステージに上がり、事前ワークショップで取り組んだ玉人形によるショーを、音楽にのせて上演します。</p> <p>ポイント</p> <p>光源に対し玉人形の向きを調整することによって、横顔がきれいに映ります。ショーの振り付けを自分たちで考え、オリジナルの楽しいショーを作りましょう。</p> <p>スポンジボールで作る「玉人形」。身近な素材で影絵劇ごっこができます。</p> </div> <p>B. Hand Shadow Show上演 (Part2)</p> <p>事前ワークショップで学び取り組んだ手影絵によるショーを、上演します。 (〔共演者の学年・人数〕高学年10人程度 当日リハーサル有り)</p> <div data-bbox="389 1760 1433 2145" style="border: 1px solid green; padding: 10px;">  <p>手影絵ショーを上演しよう</p> <p>劇団員の紹介を受け、ワークショップで取り組んだミニ手影絵ショーを音楽にのせて上演します。</p> <p>ポイント</p> <p>手影絵は光源に対し組んだ手の向きを調整することによって、その動物に見えます。また頭の影がスクリーンに映ってはいけません。手の向きや頭の影に気をつけながら映しましょう。</p> <p>手や身体を組み合わせた陰で、動物などの様々な形を作り出します。</p> </div>

C. 台詞(シエト応援隊)での共演(Part3)

事前ワークショップで学んだ台詞を、公演で俳優と共に語ります。

([共演者の学年・人数]中～高学年10人程度 当日簡単なリハーサル有り)



シエトは仲間たち(児童によるシエト応援隊)と共に、村長を訪ねます。

台詞での参加

物語の各場面において、シエトを始めとする登場人物たち(俳優)のきっかけに合わせて、物語のキーとなる台詞を語ります。

ポイント

台詞で参加する児童の皆さんは、シエトの仲間であり応援隊です。台詞でシエトを励まし、導き、物語を進行させましょう。

チーム全員で語る台詞だけでなく、それぞれが独りで語る台詞もあります。しっかり覚えてしっかり語りましょう。

D. 合唱での共演(Part3)

事前ワークショップで学んだ劇中の歌を、公演で俳優とともに歌います。

([共演者の学年・人数]中～高学年10人程度～ 当日簡単なリハーサル有り)



シエトは歌に導かれるかのように、ドラゴン探しに向かいます。

合唱での参加

昔から伝わる村の歌やシエトがドラゴン探しに向かう歌など、物語を進行させるいくつかの歌を歌います。

ポイント

物語を歌で伝えると同時に、シエトに勇気と元気を与えられるよう、しっかり歌いましょう。

E. 妖精たち(台詞と踊り)による共演

シエトに洞穴の中から助け出された妖精は、以後シエトが困ったときに現れて、シエトを助け導きます。事前ワークショップで練習した台詞と踊りで公演に参加します。簡単な衣装を身につけます

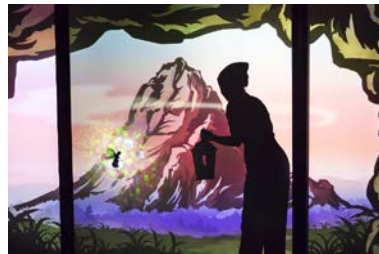
([共演者の学年・人数]高学年・女子 4~10人 当日リハーサル有り)



洞窟の中でシエトは、岩に挟まれていた妖精を見つけ、助け出します。

1. 洞窟の中(台詞)

シエトが岩に挟まれた妖精(人形・俳優)を助け出すと、妖精たち(子どもたち)は舞台上に現れて、シエトにお礼を述べ、洞穴の出口まで案内すると伝えます。



助けられた妖精は、お礼にシエトを洞窟の出口まで案内します。

2. 洞穴の出口(台詞)

出口にたどり着いたシエトに妖精たち(人形・俳優と子どもたち)は、「困ったときには必ず助けに来る」と語りかけ、送り出します。



石のドラゴン前でシエトが立ち尽くしていると、妖精が現れます。

妖精が魔法の言葉を唱えると、ドラゴンは眠りから覚め動き出します。

3. 山頂のお城、石のドラゴン(台詞と踊り)

立ち尽くすシエトの前に、妖精たち(子どもたち)が現れます。

シエトにランタンを台に置くと、音楽が流れ始めます。それをきっかけに妖精たちは魔法の言葉を唱え、舞台を踊りながら横切ります。



村に帰ったシエトは荒れた畑を耕し、種を撒きます。

そこに妖精が現れ、育つ棒を一振りすると、芽が出てぐんぐん育ちます

4. 畑を耕すシエト(踊り)

妖精(人形・俳優)の「育て棒」の一振りに合わせ、妖精たち(子どもたち)は舞台を踊りながら横切ります。

ポイント

妖精チームは踊りなど演技で共演します。俳優とのチームワークも大切です。

踊りの動きやタイミングなどをしっかり覚えて、楽しく演じましょう。

F. エンディングでの全員参加 (Part3)

鑑賞していた児童全員が村人となり、お芝居に参加します。(その場で耕す演技をし。踊る。)

(客席での参加)



シエトの畑に植物が育ち始めたのを見た村人は、シエトを手伝い村中の畑を耕します。

やがて村中の畑に植物が育つと、ドラゴンが現れて村に雨を降らせ、山野にも緑あふれる美しい村になる。

畑を耕す～エンディング

シエトが耕す畑に植物が育ち始めたのを見た村人は、他の村人(観客の子どもたち)に「シエトと共に村の畑を耕そう」と呼びかけます。

子どもたちはその場に立ちあがり、村人たちとなって畑を耕す演技をします。

やがてドラゴンが現れ、雨が降り出しますと、村人たち(子どもたち)は各々喜びの声を上げ、踊ります。

ポイント

最期は児童全員でお芝居に参加し、大団円に向かいます。

しっかり演じ楽しく踊って、充実した体験になるようお芝居を盛り上げましょう。

※A～Eの各チームに参加分けすることにより、相当数の児童の参加が見込まれます。またFで全児童の芝居の参加体験が可能となります。

※結果、観客児童と俳優とによる参加型お芝居が成立し、芝居に参加した達成感と充実感を共有できます。

※学校の希望次第で、A～Fの一部を実施することも可能です。参加する学年や人数についても、学校の状況に合わせてますのでご相談ください。

出 演 者	石井世紀、松本侑子、梅原千尋、谷山恵里奈 (予定) ※全員、劇団かかし座劇団員		
公演出演予定者数 (1公演あたり)	出 演 者: 4名 スタッフ: 5名 合 計: 9名	機 材 等 運搬方法	積載量 1t 車 長 5.4m 台 数 2台

公演に当たっての 会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。																	
会場設営の所要 時間(タイムスケ ジュール)の目 安	前日仕込み(有・ 無) 会場設営の所要時間(3 時間程度) <table border="1"> <thead> <tr> <th>到着</th> <th>仕込み/リハーサル</th> <th>本公演</th> <th>内休憩</th> <th>撤去</th> <th>退出</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7:30</td> <td>7:30～10:30/10:30～11:25 <small>予定</small></td> <td>13:30～15:00</td> <td>10分</td> <td>15:20～17:00</td> <td>17:30</td> </tr> </tbody> </table> ※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。						到着	仕込み/リハーサル	本公演	内休憩	撤去	退出	7:30	7:30～10:30/10:30～11:25 <small>予定</small>	13:30～15:00	10分	15:20～17:00	17:30
到着	仕込み/リハーサル	本公演	内休憩	撤去	退出													
7:30	7:30～10:30/10:30～11:25 <small>予定</small>	13:30～15:00	10分	15:20～17:00	17:30													
児童・生徒 の参加可能人数	ワークショップ	最大 50 名程度(A～E 各 10 名程度)																
	本公演	全員参加のシーン有り																
ワークショップ 実施形態 及び内容	<p>【導入 影絵の体験学習】 ○光源に対する角度によって影の形が変わったり、光源からの距離によって影が大きくなったり小さくなったりすることを実践しつつ紹介することで、影の性質や影絵で表現する面白さを伝えます。 ○昔ながらの手影絵やかかし座オリジナルの手影絵を演じてみせ、その作り方を紹介します。</p> <p>【F 全員参加シーン】 ～台詞・歌・踊りの練習～ ○「畑を耕す～エンディング」の演技や踊りを練習し、公演作品に対する期待と参加への意欲を持たせます。</p> <p>【A 玉人形チーム】 玉人形の製作とショーの構成～ ○上演児童は中～高学年 10 名程度。(4 年生以上が望ましい。) ○身近な素材(スポンジボール)でも影絵人形を作り、影絵ごっこができることを学び、劇団員の指導の下、自分オリジナルの玉人形を作ります。 そして玉人形の動かし方を習い、ショーの構成(演技)を考えます。 ○公演当日は午前中リハーサルを行ない、午後の公演で上演します。</p> <p>【B Hand Shadow Show(手影絵ショー)チーム】 ～手影絵の学習とショーの構成～ ○上演児童は高学年 10 名程度。(5 年生以上が望ましい。) ○代表的な手影絵数種類を学んだ後、その組み合わせによる音楽にのせた楽しいショーを製作し、練習します。 ○公演当日は午前中リハーサルを行ない、午後の公演で上演します。</p> <p>【C 台詞(シエト応援隊)チーム】 ～台詞の練習～ ○共演児童は中～高学年10名程度。 ○影絵劇「シエトの冒険」の中で、シエトを応援する仲間として、語る台詞を習い、練習します。 ○公演当日は午前中に簡単な確認のリハーサルを行ない、午後の公演では台詞で共演します。</p>																	

	<p>【D 合唱チーム】 ～劇中歌の練習～ ○共演児童は中～高学年 10 名程度～。(ないし音楽クラブの児童など。) ○影絵劇「シエトの冒険」の中の、「村に伝わる歌」「シエトが冒険に向かう歌」など、物語のキーとなる歌を習い練習します。(公演日まで練習を重ね、歌を覚えてもらえることを希望します。) ○公演当日は午前中に簡単な確認のリハーサルを行ない、午後の公演では合唱で共演します。</p> <p>【E 妖精チーム】 ～台詞と踊りの練習～ ○共演児童は高学年の女子 10 名程度。 ○影絵劇「シエトの冒険」の登場人物である妖精の、台詞と踊りを習い練習します。 ○公演当日は午前中にリハーサルを行ない、午後の公演で共演します。</p> <p>※それぞれの参加人数や内容については、学校の希望に合わせて検討、調整します。 D は参加人数増が可能。</p>
<p>ワークショップ 実施形態の意図</p>	<p>世界各地で親しまれている伝承遊び「手影絵」の他、身近な現象としての「影」の面白さを知り、影絵遊びの体験を通して、「工夫」することの大切さや、自分たちの「可能性」を感じます。</p> <p>また、主要曲の練習を通して、本公演を観劇することへの期待と興味をふくらませます。公演本番で共演する児童は、「アートと遊び」の繋がりを体験し、「チームワーク」によって成し遂げる大きな可能性を感じとりながら、さらに実演へ結びつける事によって「大きな達成感」を得ることができます。</p>
<p>特別支援学校での実施における工夫点</p>	<p>基本的には内容を大幅に変えることなく実施したいと考えておりますが、Part1～2 は上演内容の一部カットが可能な作品なので、上演時間の短縮は可能です。</p> <p>子どもたちの希望や先生方の意向を汲みつつ、先生方と相談のうえ、児童・生徒の実態に合わせたワークショップや共演内容をご提案します。</p>
<p>実施可能時期</p>	<p>実施可能時期スケジュール表をご確認ください。</p>

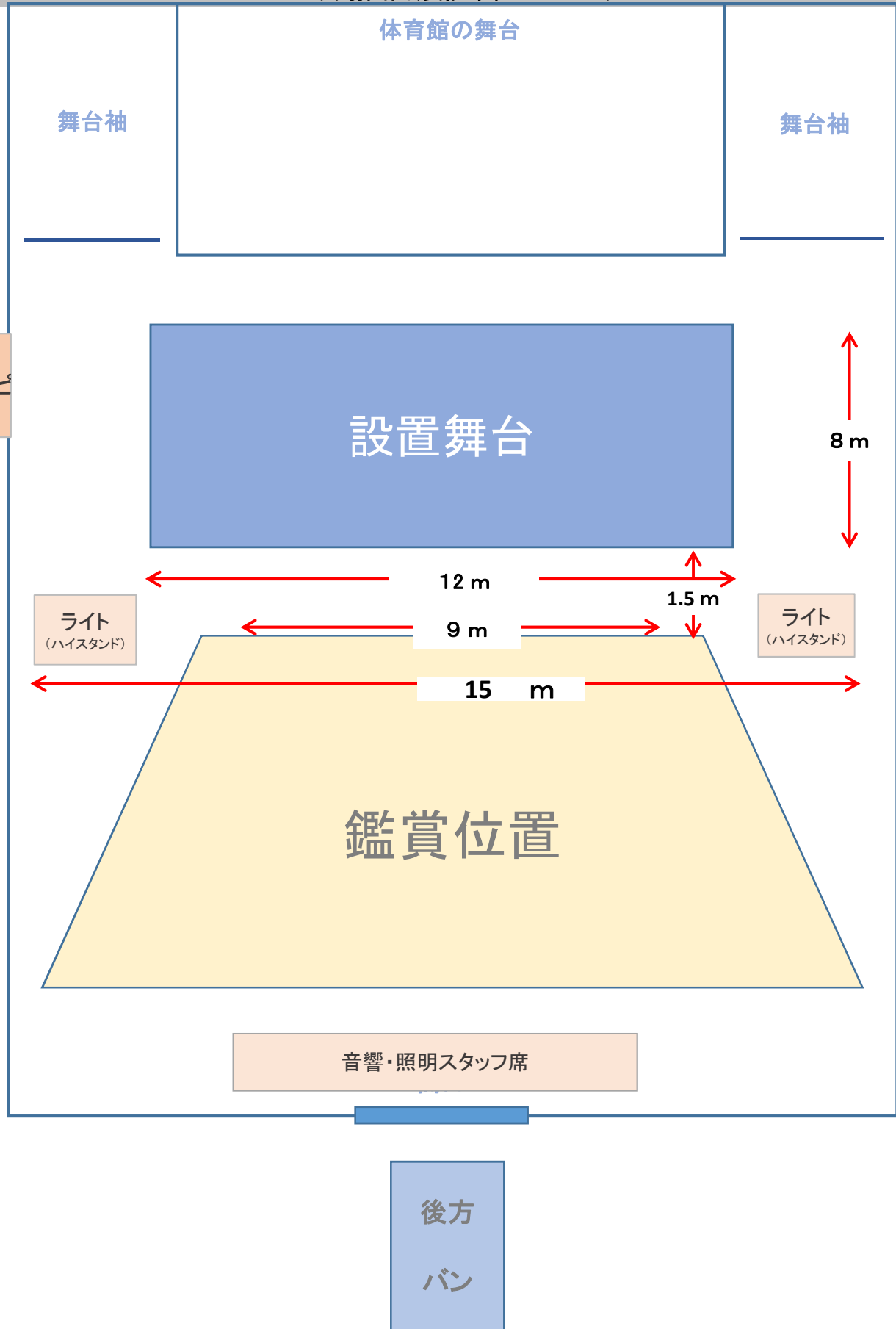
【令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	B16	分野	演劇	種目	児童劇	ブロック	B	区分	A区分
公演団体名	有限会社 劇団かかし座				制作団体名	有限会社 劇団かかし座			

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等										
控室について	可	必要数 *	1室	条件	屋食をとるための部屋を希望							
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数 *			バン 2台							
	可	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			バン2台(車長5.4m、幅1.9m、高さ2.3m)							
	可	搬入車両の横づけの要否 *			要							
	可	横づけができない場合の搬入可能距離 *			10m以内(それ以上の場合は仕込み時間が長くなります)							
	可	搬入経路の最低条件			・階段のない経路 ・屋根のある経路							
		理由			かなり重い機材や濡れたくない道具があるため							
	可	設置階の制限 *			一階が望ましい							
WSIについて	可	搬入間口について 単位:メートル			幅	2m	高さ	2m				
	可	参加可能人数			50名程度まで(それ以上の参加希望の場合、検討・調整します)							
	可	学年の指定の有無 *			なし	指定学年 *	なし					
本公演について	可	所要時間の目安 単位:分			100分程度							
		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)」の目安をご参照ください。							
	可	鑑賞可能人数			フロアの広さによるが450名程度まで							
	不可	舞台設置場所 *			フロア							
	可	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル			幅	15m	奥行	9m	高さ	6m		
	可	体育館の舞台を使用する場合の条件			舞台袖スペースの確保 *			要				
	可				舞台袖スペースの条件 *			着替えられる空間があれば良い				
	可				緞帳 *	不要		バトン *	不要			
	可	遮光(暗幕等)の要否 *			要	理由	影絵劇のため完全遮光が望ましい					
	可	ピアノの調律・移動の要否			指定位置へのピアノの移動 *		要	ステージ上にある場合は移動不要				
	可				ピアノの事前調律 *			不要				
	可	フロアを使用する場合の条件			バスケットゴールの設置状況 *		格納されていれば可					
	可	公演に必要な電源容量			75A	※主幹電源の必要容量60Aなら可だが照明を一部カットします。						
その他特記事項												
可	文化ホール上演の場合、舞台間口11m×奥行8m×プロセニウム高5.5m以上											

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	2m	高さ	2m
搬入車両の横づけの要否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		10m		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。



【作品仕様】

上演時間 1時間20分(休憩なし)
 会場条件 体育館などのフリースペース
 通常の舞台機構を有する会場(中ホール程度)
 仕込時間 3時間程度(会場条件による)
 撤収時間 1時間30分程度
 ※配役は予告なく変更することがございます。



演出家プロフィール
後藤 圭

劇団かかし座代表、玉川大学芸術学部講師。
 影絵劇という日本の伝統的イリュージョンを現代の総合エンターテインメントとして確立し、全国に発信し続けている。
 TV放送用影絵映画、影絵劇などの作品は多数。
 劇団活動のほか、各地市民活動の指導者育成に携わり、本拠地・横浜市内においても舞台芸術の普及活動を積極的にしている。
 近著に「子どもに伝えたい伝承遊び 影絵」(文芸堂)など。

STAFF

脚本・構成・演出：後藤 圭
 「シェトの冒険」台本：若林一郎
 音楽：石川洋光
 舞台美術：齋藤浩樹
 衣装：中矢志子
 振付：橋原竜也
 舞台監督：杉村向陽 高橋信濃 (Mars A Sol)
 音響：山北史郎 (山北舞台音響)
 照明：坂本義美 (扇前舞台照明研究所)
 舞台装置：イトウ舞台工房

影絵
 影絵美術監督：後藤 圭
 影絵美術・映像：
 劇団かかし座美術部
 小田純治 (design Bee)
 小原直子
 とうたいよう
 影絵美術人形製作：劇団かかし座
 制作：劇団かかし座企画営業部

受賞歴
 児童福祉文化賞・推薦作品
 「宝島」(2013)、「魔法つかいのおとぎばなし」(2012) 他
 厚生労働省社会福祉審議会 特別推薦児童福祉文化財
 「宝島」(2012)、「魔法つかいのおとぎばなし」(2011)
 厚生労働省社会福祉審議会 推薦児童福祉文化財
 「宝島のあつた」(2009)、「長靴をはいた猫」(2006)をはじめ、作品多数
 日本児童教育学会 推薦・奨励賞
 「ジャングルブック」(2001)

これまでの映像作品 (TVシリーズ等)
 劇団かかし座 NHK 児童劇団として活躍。連続シルエット番組等を次々放映。
 「おとぎの森の「みんなのうた」」「おがきさんといっしょ」シリーズ等多数出演。
 「まかんじゃやえもん」、「ピンをふんだね」等は現在も再放送されている。
 その他
 -「影絵かかし座」シリーズ他 TBS (1977~80)
 -「やまなし」光村、アポロライブラリー (1969)

書籍・DVD (かかし座オリジナル)
 ベストフィニッシュ「かげ絵 イソップ物語」HDマスター版(2017)
 文庫版「子どもに伝えたい伝承遊び 影絵」(2012)
 PHP 研究所「子どもに伝えたい「手ぐみ」ももぢ」(2011)
 日本コロムビア「かかし座の手ぐみ ひろみちおんぼろとやっぴやう」
 DVD(2010)
 PHP 研究所「手ぐみ おもしろ影絵ブック」(2005)

主な出演・指導
 TV
 NHK「おがきさんといっしょ」冬の特集(2017/12/21-29)
 テレビ東京「ボクモの森のあつた」(2017/7/30)
 テレビ朝日「羽鳥モモンゴウ」(2016/2/5)
 テレビ東京「モヤモヤさまぁ〜ず」(2016/1/31)
 日本テレビ「ネフモイモの世界旅行」(2014/1/17, 2016/1/29)
 NHK「デザインあ」(2014/4/5, 4/19)
 NHK「あんなのうた」(2012/6-7)
 テレビ朝日「鶴城天守閣」天守閣特撮(2012/5/25)
 日本テレビ「24時間テレビ32」(2009/8/30) 他、出演多数

ミュージックビデオ
 MILLEA「星の詩」(2015)
 サ・クロマニオンズ「成びぬれ!!ホニー!!」(2011)
 コブクロ「恋(つばめ)」(2007)
 RIP SLYME「GALAXY」(2004)

その他
 花王スマイルチャレンジ Webコンテンツ特別動画 (2015-2016)
 SEKAI NO OWARI ライブ「炎と夜のフェスティバル」
 「花鳥風月」有景映画 (2013)
 高橋麻「2010 Takashimaya Christmas」プロモーション (2010)
 GDP10 (2008) 国際地球生きたる会 開会式
 オープニング映像 (2010/10/18)
 YUKI concert tour 2010「それくらべて好きさうよ」
 オープニング映像 (2010/7-2010/9)

特別公演
 みのうらんど「光と影のアートマッピング2 ランタン夜精たのクリスマス物語」(2017)
 よみうらんど「光と影のアートマッピング Shadow Halloween Night」(2017)
 NHK 名古屋放送局イベント「音楽と音楽で彩る〜新米南西の世界
 「音楽で語る お話している」(2013・愛知県)
 下呂温泉合衆村・しらさぎ座 委託定期公演 (2008-2017・岐阜県下呂市)

海外招聘公演
 ウニオ世界大会・国際人形劇フェスティバル (2016・スペイン)
 シンガポール・Asian Culture Center, ACC Children (2015・韓国)
 第25回 マカオ芸術祭 (2014・マカオ)
 SEI Bonacos 国際人形劇フェスティバル (2012-2014, 2016・ブラジル)
 クラス国際児童劇フェスティバル (2011・フィンランド)
 シュベビッシュ・グミュント国際影絵劇フェスティバル (2009・ドイツ)
 その他、ドイツ、オランダ、チェコ、韓国、中国の国際フェスティバルに招聘・出演

Wonder Shadow Labo

ワンダー シャドウ ラボ
 脚本・構成・演出：後藤圭
 「シェトの冒険」台本：若林一郎
 音楽：石川洋光

なにして遊ぼう！
 光で遊ぼう！

“影のスペシャリスト” 劇団かかし座がおくる、
 ふしぎな シャドウ・エンターテインメント!!



「シェトの冒険」
 ~ドラゴンの山へ

なにして遊ぼう！
 影で遊ぼう！



劇団かかし座は、日本初の現代影絵専門劇団として、1952年に創立。人々の心を無限の想像へ取り立てる影絵の世界の魅力をも、他に類のない総合エンターテインメントとして発信中。舞台はもちろん、TV・映像・出版・イベント等、多岐に渡り活動しています。

〒224-0026 神奈川県横浜市都筑区南山田町4820-1
フリーダイヤル 0120-088-111
 Tel: 045-592-8111 / Fax: 045-592-8458

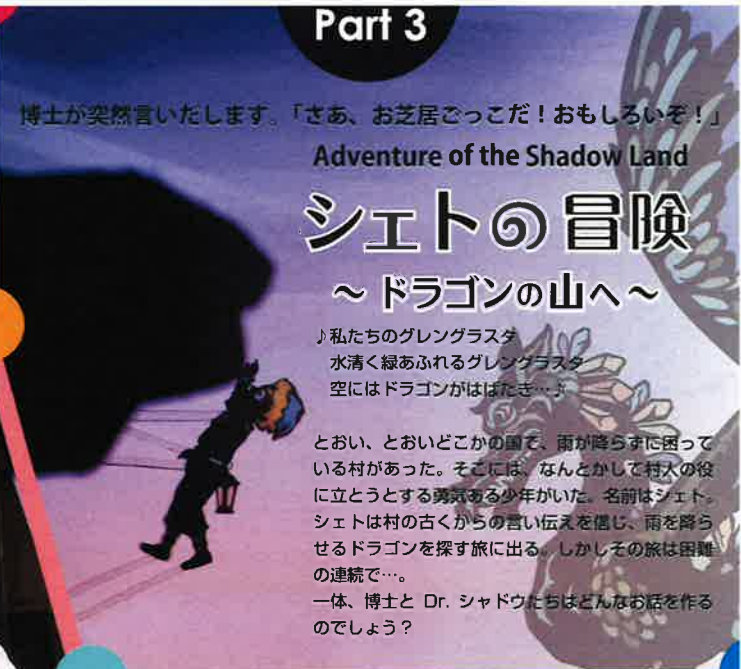
E-mail info@kakashiza.co.jp
 劇団かかし座チャンネル
 HP www.kakashiza.co.jp
 Twitter @KAKASHIZA_jp
 Facebook facebook.com/KAKASHIZA

YouTube
 動画がご覧いただけます





Wonder Shadow Labo



Part 1

Dr. シャドウの影絵ラボ

ちょっとたよりない博士とDr. シャドウたちが、
秘密の実験室で繰り広げる、楽しい影絵実験ショー！
ボールやハンカチ、積み木からふしぎな影がつぎからつぎに現れる！
みんながやってみたくなるワクワクドキドキの実験ショーです。



Part 3

Adventure of the Shadow Land シエトの冒険 ～ドラゴンの山へ～

♪ 私たちのグレングラスタ
水清く緑あふれるグレングラスタ
空にはドラゴンがはばたき…♪

とおい、とおいどこかの国で、雨が降らずに困って
いる村があった。そこには、なんとかして村人の役
に立とうとする勇気ある少年がいた。名前はシエト。
シエトは村の古くからの言い伝えを信じ、雨を降ら
せるドラゴンを探し旅に出る。しかしその旅は困難
の連続で…。
一体、博士と Dr. シャドウたちはどんなお話を作る
のでしょうか？



Part 2

Hand Shadow Show とワークショップ

手と体だけでいろいろな動物の影を紡ぎ出してみせる、
劇団かし座得意の Hand Shadow Show !
世界中のフェスティバルや TV 番組でも大人気のパフォーマンスです。
手影絵ショーでびっくりした後は、
みんなにチャレンジしてもらった参加型ワークショップ。
その時の観客年齢層に合わせたワークショップをご用意します。

Program

- Part 1 Dr. シャドウの影絵ラボ
- Part 2 Hand Shadow Show とワークショップ
- Part 3 Adventure of the Shadow Land
シエトの冒険 ～ドラゴンの山へ～

影に驚き、影に親しみ、共に楽しむ！

「驚き、親しみ、楽しむ！」これが「Wonder Shadow Labo」です。
かし座が培ってきた影絵の技術をさらに発展させて、
遊び心もふんだんに盛り込んだ作品です。
このステージさながらに毎日実験を繰り返し、
影の不思議さや面白さを再確認しながら作りました。
Part 1 から Part 3 まで、私たちの創意と工夫がいっぱいです。
この作品が、子どもたちの心の中で夢の種を大きく育てる雨のような存在になれるよう、
私たちは努力を続けてまいります。



VI 令和2年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野, 種目 (該当する種目に○を付してください。)

分野	種目
【音楽】	合唱, オーケストラ等, 音楽劇
【演劇】	児童劇 <input checked="" type="checkbox"/> 演劇, ミュージカル <input type="checkbox"/> ミュージカル仕立ての演劇公演です
【舞踊】	バレエ, 現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸

申請する区分に, ○を付してください。

A区分のみ A区分とB区分の両方 C区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)

 あり なし

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

- (1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能
 (2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能
 (3) 提案したいいずれか1企画のみ実施可能
 (4) その他()

芸術文化団体の概要

ふりがな	とくていひえいりかつどうほうじん げきじょうそうぞうねっとわーく		
制作団体名	特定非営利活動法人 劇場創造ネットワーク		
代表者職・氏名	理事長・牧野 望		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒166-0002 東京都杉並区高円寺北 2-1-2 (最寄り駅:JR 中央線 徒歩 5分)		
電話番号	03-3223-7500	F A X 番号	03-3223-7501
ふりがな	とくていひえいりかつどうほうじん げきじょうそうぞうねっとわーく		
公演団体名	特定非営利活動法人 劇場創造ネットワーク		
代表者職・氏名	理事長・牧野 望		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒166-0002 東京都杉並区高円寺北 2-1-2 (最寄り駅:JR 中央線 徒歩 5分)		
制作団体 設立年月	平成 17 年 7 月		
制作団体 組織	役 職 員		団体構成員及び加入条件等
	理事長:牧野望(マキノノゾミ) 副理事長:鈴木聡 副理事長:西山水木 理事:平丸久美子、桑谷哲男 坂手洋二 監事:長谷基弘、平山鉄郎		主な構成員:永井愛/渡辺えり/渡辺美佐子/吉本光宏/横内謙介 [会員総数 12名] 加入条件:理事長が別に定める入会申込書により、理事長宛に申し込むものとする。会員の入会については特に条件を定めない。
事務体制の担当	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 <input type="checkbox"/> 他の業務と兼任	本事業担当者名	和泉将朗、徳永夏奈
経理処理等の 監査担当の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	経理責任者名	酒井道子

制作団体沿革	<p>舞台芸術の専門家によるグループが、平成 17 年 7 月に NPO 法人として正式に活動を開始。平成 18 年 10 月には、杉並区立杉並芸術会館「座・高円寺」の指定管理者に選出され、同劇場の運営を開始。</p> <p>劇場を拠点とし、子どもを対象とした演劇公演の企画制作や、毎週土曜に幼児から参加できる絵本のイベント、毎週日曜に小中学生に向けたワークショップなどを数多く実施している。</p> <p>また、付設の演劇学校「劇場創造アカデミー」では、大学や各地域の公共劇場とネットワークを築き、舞台芸術のノウハウを文化・芸術の分野だけでなく、地域のコミュニティで活かしていくための人材を育成。</p> <p>地域の4大祭りと呼ばれる「高円寺びっくり大道芸」「東京高円寺阿波おどり」「高円寺フェス」「高円寺演芸まつり」を積極的に応援協力し、地域の活性化事業を行っている。</p>		
学校等における公演実績	<p>【演劇鑑賞教室】</p> <p>平成 21 年より平成 30 年まで、杉並区内外の小中高等学校の演劇鑑賞教室を、延べ 439 校で実施、34,000 名以上が鑑賞。演劇鑑賞教室並びに学校公演用に制作した舞台作品は、平成 23 年度児童福祉文化賞受賞作品『旅とあいつとお姫さま』、平成 24 年度児童福祉文化賞推薦作品『ピン・ポン』、平成 30 年度児童福祉文化賞推薦作品『ピノッキオ』、平成 30 年度厚生労働省社会保障審議会推薦作品『フランドン農学校の豚～注文の多いオマケ付き～』等、受賞作品多数。</p> <p>他、えぞこホール(宮城)、あさひサンライズホール(北海道)、美深町文化ホール(北海道)、桐蔭学園シンフォニーホール(神奈川)、茅野市民会館(長野)、宮崎県立芸術劇場における小中学生の団体鑑賞や全国の親子劇場・子ども劇場の会員も多数鑑賞。</p> <p>令和元年度も演劇鑑賞教室を実施予定。</p>		
特別支援学校における公演実績	<p>平成 24 年度からの当該事業で『ピン・ポン』の上演及びワークショップの実績あり。特別支援学校は 15 校、2,220 人以上が鑑賞。</p> <p>当該事業以外では、平成 27 年に茨城県の特別支援学校から直接依頼を受け『ピン・ポン』学校公演を実施。</p>		
参考資料の有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	○有 ・ 無
申請する演目の DVD または WEB 公開資料		○有 ・ 無	
※公開資料有の場合 URL		https://za-koenji.jp/detail/index.php?id=2161	
※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード		ID: PW:	
A の提出が困難な場合	A の提出が困難な場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料	有 ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 特定非営利活動法人 劇場創造ネットワーク】

対 象	小学生(低学年・中学年・高学年) ・ 中学生		
企画名	座・高円寺レパトリー『フランドン農学校の豚 ～注文の多いオマケ付き～』		
本公演演目	『フランドン農学校の豚 ～注文の多いオマケ付き～』		
原作 / 作曲	原作 宮沢 賢治		
脚 本	上演台本 佃 典彦		
演出 / 振付	演出 西沢 栄治		
	美術 長田 佳代子		
	振付 神在 ひろみ		
	音楽 園田 容子		
	照明プラン 横原 由祐		
	音響プラン 島 猛		
	衣裳 仲村 祐妃子		
	公演時間(60分)		
著作権	<input type="radio"/>	制作団体が 所有	制作団体以外が所有する事 項が含まれる (制作団体以外が所有す る事項が含まれる場合) 許諾の有無
演 目 概 要	<p>宮沢賢治の2つの童話『フランドン農学校の豚』と『注文の多い料理店』をベースにつくった演劇作品です。「食べる/食べられる」という低学年の児童から大人まで身近に感じてもらえるシンプルなテーマで、“命の大切さ”や“食べることの意味”を伝えます。音楽の要素と分かりやすいストーリーで、学校の教職員からも「食育に関わる内容で、学校の教育内容につながるストーリーでよかった」と好評をいただきました。</p> <p>【あらすじ】</p> <p>ある国の王様が新しい法律を発令しました。それは家畜の命を取るにも、その家畜自身からの承諾が必要というもの。どうにかして豚から承諾を得ないといけなくなったフランドン農学校の校長に、それを急かす教師や早く食べたい生徒達。しかし自分が食べられることを知ってしまった豚は当然承諾書に判を押そうとはしない。そこで豚の気持ちを紛らわせようと聞かせるお話の内容は、森で迷った2人の猟師が入った料理店でヘンテコな注文をつけられ、やがて食べられそうになるもので…。</p>		
	  		

	<p>【見どころ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原作のもつ命の大切さや、食べることの意味をしっかりと受け止めてもらえる内容となっています。先生方からは 1 回の観劇の楽しみだけに終わらず、学校教育につながる演目であると評価を受けています。 ・誰もが知っている『注文の多い料理店』を劇中に盛り込むことで、2 つの物語を楽しめます。また食べることがテーマの類似した 2 作品を重ねることで、『フランドン農学校の豚』の伝えたい内容がより心に残る構成になっています。 ・オリジナル曲や躍動感あふれる振付で、明るくポップな舞台になっています。 <p>【上演歴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 29 年度 8 月、7 ステージ。(中学生以下無料で上演) ・平成 30 年度 9 月～10 月、13 ステージ。 <p>(内 8 ステージは東京都杉並区の小学校 4 年生が授業の一環で観劇)</p> <p>【上演予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度 9 月～10 月、16 ステージ。 <p>(内 12 ステージは東京都杉並区の小学校 4 年生が授業の一環で観劇。一般の方も中学生以下無料で観劇できる回を 4 ステージ)。</p>
<p>演目選択理由</p>	<p>低学年の児童から大人までが身近に感じられる「食べる/食べられる」にまつわる 2 つの童話の一つにしました。一つにまとめるにあたり台本構成を、読売演劇大賞優秀作品賞、〃演劇界の芥川賞〃、ともいわれる岸田國士戯曲賞の受賞歴があり、なおかつ児童劇の経験豊かな佃典彦に委託することで、児童劇の枠に収まらない大人も子どもも楽しめる演劇作品となりました。</p> <p>【教職員の声】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハラハラしたり、ビックリしたり、考えさせられたりと、面白くて小学生にもピッタリ。 ・ミュージカルのような構成で楽しい。 ・料理長役が死んだ豚の料理を先生や生徒が食べている様子を見て、「僕の命も報われます」と代弁した(あるいは豚自身が言った)のは感動的だった。命の教育にもなる。 <p>【児童より】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぶたはしんじやったけど、みんなぶたにくをおいしくたべられてよかったです。(7 歳) ・ちゅうもんもの多いりょうりてんもくつついていてとてもおもしろかったです。歌もとてもいい歌でよかったです。(9 歳女子) ・いしょうがかわったふくでおもしろかったです。それに、やくが一人一人こせいがよくあらわれており分かりやすく、とても楽しかったです。(9 歳女子) ・食べ物をだいにしなければならぬとおもいます。(11 歳男子) <p>【大人の方々より】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子供達に大変よい教育となりました。展開がユニークで大人も楽しめました。 ・最後のシーンは自然と涙が出た。「いただきます」の意味、子供達に伝わりますように。 ・お芝居って観た後の心の変化だと思います。このお芝居をみるのとみないのとではとんでもない違いがあると思います。それぐらい心に響きました。 ・難しい内容かな? と思いましたが、コミカルな前半、ミュージカル仕立ての部分や、劇中劇の「注文の多い料理店」など、ギョッと中身のつまんだ楽しい劇でした。客席芝居で話しかけてもらえて子供(7 歳と 9 歳)も喜んでいました。 ・ブタ役が入れ替わるところが予想外でそれぞれの登場人物が少しずつブタの気持ちを体験することで、つい私も感情移入し、楽しいのになんだかせつなく、いのちをいただいて生きるという普段はほとんど考えないことに思いをめぐらし、大事に頂きたいと思うと同時に主婦としておいしくお料理できるよう腕を磨かなければと思いました。

<p>児童・生徒の共演，参加又は体験の形態</p>	<p>・ブタ役の俳優が客席に逃げる場面では、皆に探すのを手伝ってもらいます。</p> <p>・ブタ鼻を付けられるとブタになってしまう設定で、出演者全員がブタ役に成り代わって演じます。劇中に代表児童1人がブタ鼻(役)のリレーに参加。</p> <p>・お芝居の最後にオリジナルの劇中歌「豚肉料理の歌」(作詞:佃典彦、作曲:園田容子)の一節をキャストと一緒にみんなで歌います。そして、この芝居のテーマでもある「いただきます」のセリフを全員で声を合わせていってもらいます。</p>		
<p>出演者</p>	<p>校長・山猫 A: 宮島岳史(劇団昴) 教師・山猫 B: 柴田美波(文学座) 生徒 A・紳士 B: 塚本淳也 助手・猟師: 山田宗一郎 生徒 B・紳士 B: 小玉雄大 一年生・料理長: 安川里奈(劇団 SET)</p> <p>計6名が出演予定者です。</p>		
<p>公演出演予定者数 (1公演あたり)</p>	<p>出演者: 6名 スタッフ: 11名 合計: 17名</p>	<p>機材等 運搬方法</p>	<p>積載量 4t 車長 9m 台数 2台</p>



【公演団体名 特定非営利活動法人 劇場創造ネットワーク】

公演に当たっての 会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。					
会場設営の所要 時間(タイムスケ ジュール)の目 安	前日仕込み(有・ 無) 会場設営の所要時間(5 時間程度)					
	到着 時	仕込み 8 時～13 時	本公演 13 時半～14 時半	内休憩 適宜	撤去 15 時～18 時	退出 18 時半
	※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時 30 分からの概ね2時限分程度です。 ※学校条件によっては前日仕込が必要になる場合があります。					
児童・生徒 の参加可能人数	ワークショップ	80 名程度まで(45 分毎に入替可)				
	本公演	450 名程度まで ※それ以上でも会場条件によって可能になることも あります。				
ワークショップ 実施形態 及び内容	<ul style="list-style-type: none"> ・前半に出演者と創作に必要な技術が体験できるゲームを行い、子どもたちの表現することに対する興味をかきたてつつ、ワークショップやお芝居の世界観を共有します。 ・後半はチームを分けて「狩猟する/食べる」をテーマに俳優とともに芝居を創作し発表。 ・オリジナルの劇中歌「豚肉料理の歌」の一節を練習します。 <p>※人数によっては複数の学年と一緒にいきます。 ※前半と後半の内容をミックスさせた 45 分構成のものを、学年クラスを分けて行うことも可。</p>					
ワークショップ 実施形態の意図	<p>①俳優のリードと一緒に人前で表現する達成感を持ってもらいます。またスタッフワークに興味がある児童には音出し等スタッフの仕事を手伝ってもらい、皆の協力のもとひとつの舞台ができていくことを体験します。</p> <p>②自身が発表するだけでなく、クラスメイトの発表を観劇することでミニ鑑賞体験をし、他者の表現手法やアイデアを学ぶ機会を得ます。</p>					
特別支援学校で の実施における 工夫点	<ul style="list-style-type: none"> ・マイクを使う事でハッキリとセリフや音楽を届けます。視覚的にも明るく、音楽やダンスもふんだんに盛り込み楽しめますので、特別支援学校においても内容を変えずに実施することができますが、学校の要望を聞き出来る範囲で反映させます。 ・俳優が舞台から客席に行く場面では、移動が難しい児童の近くまで行ってお芝居に参加できる工夫を行います。 					
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。					

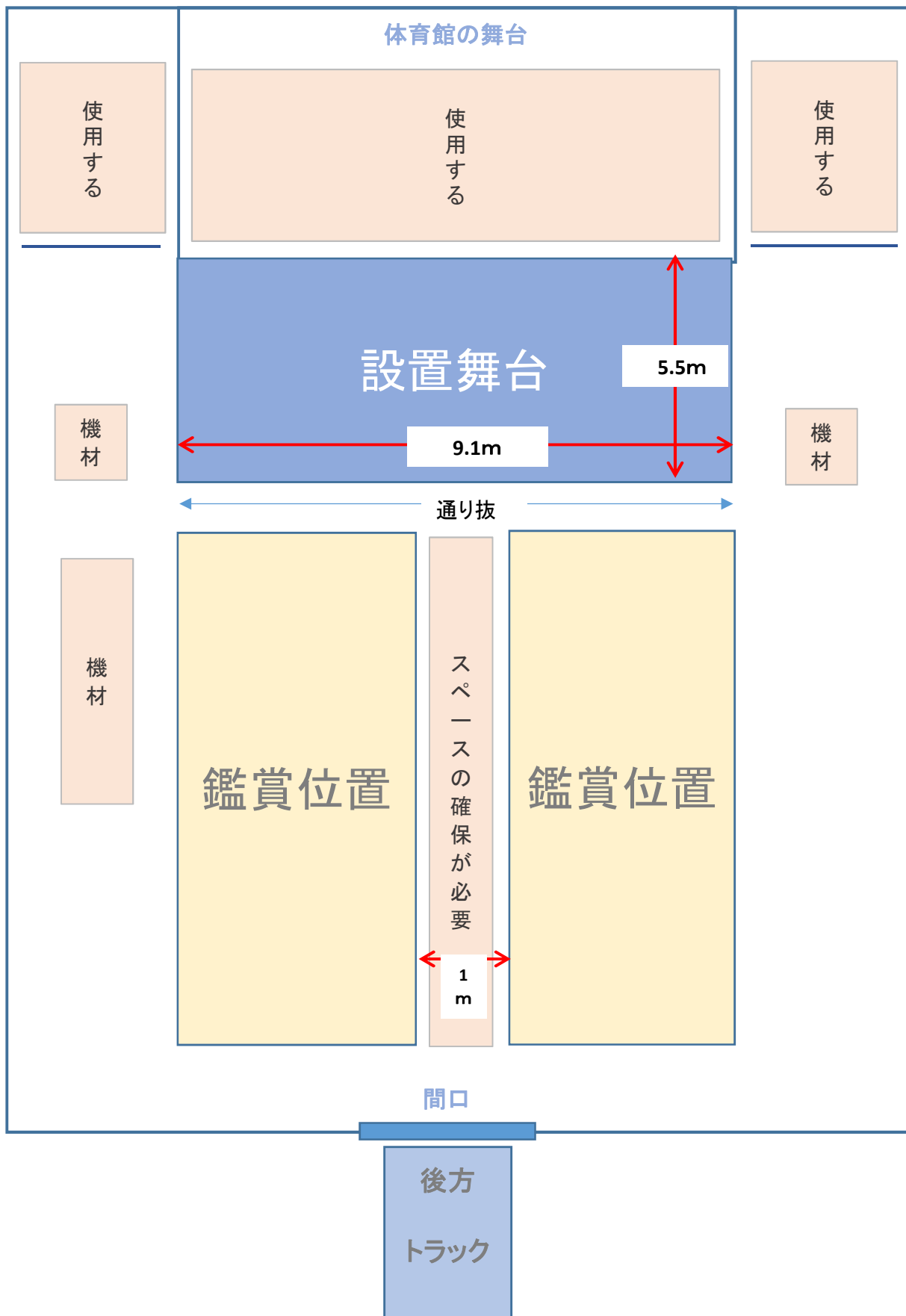
【令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	B17	分野	演劇	種目	演劇	ブロック	B	区分	A区分
公演団体名	特定非営利活動法人劇場創造ネットワーク			制作団体名	特定非営利活動法人 劇場創造ネットワーク				

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等								
控室について	可	必要数 *	1室	条件	スタッフキャストが昼食をとることが出来る、体育館に近い教室を希望。(体育館内の部屋は不可)					
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数 *			4tトラック	2台	小型バス			
	不可	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			4tトラック					
	可	搬入車両の横づけの要否 *			要					
	可	横づけができない場合の搬入可能距離 *			5m以内					
	可	搬入経路の最低条件			・できる限り階段のない経路が望ましい。					
		理由			舞台大道具搬入の為					
	不可	設置階の制限 *			2階以上不可					
	不可	搬入間口について 単位:メートル		幅	1.8	高さ	1.8			
WSについて	可	参加可能人数			60名程度まで					
	可	学年の指定の有無 *			なし	指定学年 *	なし			
	可	所要時間の目安 単位:分			45分、もしくは90分					
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安をご参照ください。					
	可	鑑賞可能人数			300名程度 ※体育館の大きさによる					
	可	舞台設置場所 *			フロア					
	可	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル		幅	9.1	奥行	5.5	高さ	指定なし	
	可	体育館の舞台を使用する場合の条件			舞台袖スペースの確保 *		要			
	可				舞台袖スペースの条件 *		長テーブルが置ける状態			
	可				緞帳 *	不要	バトン *	要		
	可	遮光(暗幕等)の要否 *			要	理由	劇中で暗転の場面があるため			
	可	ピアノの調律・移動の要否		指定位置へのピアノの移動 *	要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。				
	—			ピアノの事前調律 *		不要				
	可	フロアを使用する場合の条件		バスケットゴールの設置状況 *		格納されていれば可				
	可	公演に必要な電源容量			100A	※主幹電源の必要容量				
	その他特記事項									
	可	鑑賞の際に客席に椅子を用意してもらう場合があります。								
可	会場の分電状況により教室等から別系統の電源を頂くことがあります									

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	1.8m	高さ	1.8m
搬入車両の横づけの要否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		5m程度		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

[お芝居をみる前に]

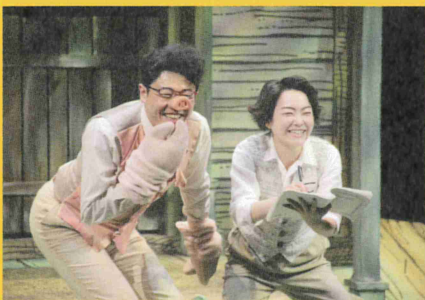
どんなお話かな？

◆あらすじ

雪深いフランドン王国にある農業学校。今日は、校長先生も参加して、晩さん会が開かれます。おいしいような料理に、みんなわくわく。でも、「待って!」それを見ていた1年生が声を上げます。だって、その料理に使われている「豚」は……。

1年生が観察しているのは、学校で育てている豚。なんでも食べる食いしんぼうの豚。生徒たちから、「糞や水から、肉や脂肪をつくる」不思議な力を持っている生きもの、なんていわれて、豚はちょっと自慢気だ。けれどある日、えさの中に自分と同じ短い毛が使われている歯磨楊枝をみつけた。なんだか変だ……。それから何べんもねたり起きたりするうちに、ずんずん太った豚は、今度は、畜産学の先生のふるまいに、首をかしげる。身体をあちこち測られたり、特別のえさを食べさせてもらったり、いままでとはちがう待遇だぞ、どうしてだろう?……。

そしてある日、フランドン王国の王さまから、「食肉にする時には、その家畜の許可が必要だ」という法律が発令されて……。



このお芝居は、詩人・童話作家



として知られる宮沢賢治さんが書いた、『フランドン農学校の豚』と『注文の多い料理店』の二つのお話からできています。どちらも大正時代後期に書かれた「食べる」ことにこだわったお話です。

[お芝居に隠された大切な問い]

賢治さんはなぜ “食べる”に こだわったのでしょうか

宮沢賢治さん(1896年～1933年)は、「いのちを生かす、大切にする」という考えから、肉や魚を食べない時期がありました。自分が生きるため、ほかの生きものの命をうばう自然界のしくみについて、ずっと疑問を持ち、なやんでいたのです。賢治さんの「食べる」ことへのこだわりは、ほかの童話の中にもあらわれています。『雨ニモマケズ』『ビジテリアン大祭』『よだかの星』……。

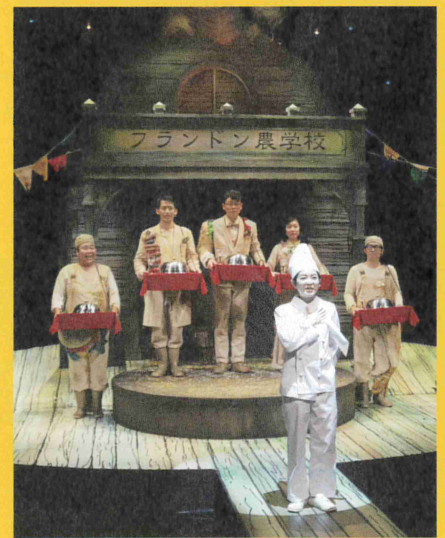
今回のお芝居のもとになった二つのお話のうち『フランドン農学校の豚』は、賢治さんが農学校の学生だったり、教師だったりしたときに、育てていた豚を食肉にするようすをみて感じたことをお話にしたと言われています。飼育されている豚は、食べられる自分の運命をどのように感じているのだろうか?

『注文の多い料理店』は、逆に、狩猟を楽しむ東京から来た二人の紳

士が、動物たちに食べられる立場になってしまうお話です。自然や動物のいのちを大切にしないごうまんな二人は、レストランの案内板の言葉をつごうよく受け取って、最後に自分たちが食べられてしまうという危機に直面します。

賢治さんは、友人にあてた手紙の中でこんなことも書いています。

……食べられるさかながもしわたしのうしろにいて見ていたら、何と申すでしょうか? 「この人は、わたしの唯一のいのちをすてたそのからだを、まずそうに食っている」「怒りながら食っている」「やけくそで食っている」。……さかなや鳥の心づくしの犠牲があつてこそその料理を前に、不平や、これをいのちとも思わずにまずいのどのという人たちを、食われるものが見ていたら、何というのでしょうか。

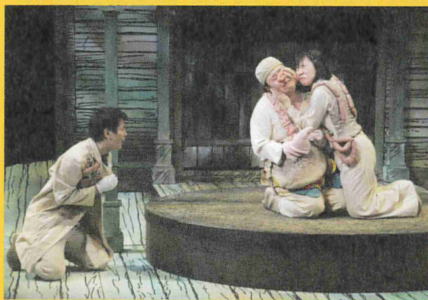


いのちを生かす、 大切にする

いのちには形がありません。いのちがあるとわかっている、いのちそのものを見ることはできません。でも、いのちはずっとずっとつながってきました。

最初にいのちが生まれたのは、38億年前。たった一つの細胞として誕生し、そのいのちをつなげるために、さまざまな種や形に進化していきました。生きものは生きものからしか生まれません。環境や天候の変化や、たくさんの危機を乗り越えて、生まれては死に、生まれては死に、まるでバトンリレーをするかのように、いのちをつなげてきたのです。そうして、およそ700万年前に人類が誕生しました。

今、私たちがここにいるために、どれだけ多くのいのちがつながってきたのでしょうか。みなさんは、お父さんとお母さん二人からいのちをさずかりました。お父さんとお母さんは、そのまたお父さんとお母さんから生まれました。そのまたお父さんのお父さんとお母さんと……そうやって、どんどんどんどんさかのぼってみると、だいたい500年くらいの間に、みなさんのいのちのために2000人をこえる人のいのちがつながっていることがわかります。つまりその2000人をこえる人の一人がいなくても、みなさんは生まれなかったのです。逆を考えてみましょう。みなさんのいのち、たった一人のいのちは、この先500年に何人のいのちにつながることになりそうですか？



それだけではありません。朝食、給食、おべんとう……、食卓にらんだ、ごはんやおかず。あたりまえに、

食べていませんか？ だから、口に入れるそのまえに、ちょっとだけ想像してみてください。肉や魚、野菜や果物……、料理される元のすがた。世界中の食べ物が手に入る理由。それから、どんな人が育てたのかな、とか、どこで、どんなふうに、育てたのかな、とか。



わたしたちは、生きるために、いろいろなものを食べています。私たちは生きものしか食べられません。つまり、たくさんのいのちをいただいている。そうしたいのちに、生かされている。そのことを忘れないように、ごはんを食べる。大切に食べる。おいしく食べる。のこさず食べる。絶対、あしたの元気の素にする！

童話からお芝居を作る時に、どんな工夫をしましたか？

◆脚本について

——佃 典彦

宮沢賢治の作品のとても大きな特徴は、その独特の言葉がもつニュアンスにあると思って、原作の言葉を大事にしました。そう語るの、このお芝居を書いた佃典彦さん。

そうなんです。賢治さんのお話には、現実のようでいて夢のよう、日常のようでいて自分が考えたこともな

い世界に連れていってくれる、とても不思議な力があります。

灰色の気分……灰色にしてややつめたく、透明になるところの気分

自分の身体中の毛が風に吹かれた草のよう、ザラザラッと鳴ったのだ

この教師は時々まるで北極の、空の様な目をして豚の体をジッと見る

風がどうと吹いてきて、草はざわざわ、木の葉はかさかさ、木はごとんごとんと鳴りました

音、におい、気温やさわった感じ、まるで身体全体でお話を体験しているような気がしませんか？



お芝居では、俳優たちが話すことした賢治さんのことばのほかに、歌や音、ダンスや動き、衣装や美術を加えて、みなさんが、お話の世界を旅する助けをしています。俳優たちがかわるがわる豚になるのもその工夫のひとつです。どうぞ、みなさんも豚の鼻を受け取ったつもりで、賢治さんがみなさんに伝えたかったことを一緒に考えてみてください。

VI 令和2年度「文化芸術による子供育成総合事業」出演希望調書(実演芸術)

種 目 (いずれかに○をつけて下さい。)

B区分(令和元年度採択 延長)

【音 楽】	合唱, オーケストラ等, 音楽劇
【演 劇】	児童劇, 演劇, <u>ミュージカル</u>
【舞 踊】	バレエ, 現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸

申請する区分に, ○を付してください。

A区分のみ ・ A区分とB区分の両方 ・ C区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)

あり なし

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

- (1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能
 (2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能
 (3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能
 (4) その他()




芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	かぶしがいいしや とうきょうえんげきしゅうだん かぜ 株式会社 東京演劇集団 風		
代表者職・氏名	代表取締役 浅野佳成		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒164-0003 東京都中野区東中野 1-2-4 (JR 総武線 東中野駅/地下鉄 中野坂上駅)		
電 話 番 号	03-3363-3261	F A X 番 号	03-3363-3265
ふりがな 公演団体名	とうきょうえんげきしゅうだん かぜ 東京演劇集団 風		
代表者職・氏名	劇団代表 辻由美子 / 芸術監督 浅野佳成		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒 同 上		
制 作 団 体 設 立 年 月	1987年11月		
制 作 団 体 組 織	役 職 員 代表取締役(芸術監督): 浅野佳成 取締役: 柳瀬太一/佐藤春江 緒方一則/西垣耕造 監査役: 柴崎美納	団体構成員及び加入条件等 ■劇団員 32名(俳優 26名/スタッフ 6名) ■実習生としての一定の養成期間を経て入団が認められ、その後3年間の研究生期間を経て劇団員となる ■入団者は専属の俳優・スタッフとして契約を結ぶ	
事務体制の担当	<u>専任</u> ・ 他の業務と兼任	本事業担当者名	江原早哉香
経理処理等の 監査担当の有無	<u>有</u> ・ 無	経理責任者名	佐藤春江

制作団体沿革	<p>1987年、東京演劇集団風創立。チェーホフ、ブレヒト作品を核に上演活動を行い、1999年、東京・東中野に劇団専属の劇場〈レパトリーシアターKAZE〉を建設する。</p> <p>2003年から〈ビエンナーレ KAZE 国際演劇祭〉を開催。この演劇祭を通じた海外アーティストとの国際的な交流は、国際協働作業へと発展。現代劇作家マテイ・ヴィスニユック(ルーマニア出身、フランス在住)による書き下ろし作品の上演、ワシントン〈ジョン・F・ケネディ・センター〉などで海外公演を実施。</p> <p>2017年には劇団創立30周年を迎え、記念公演としてブレヒト作『バールの賛歌』(浅野佳成 構成・演出)、マテイ・ヴィスニユック作『母が口にした「進歩」』(江原早哉香 演出)のほか、10作品を上演。</p> <p>〈言葉〉と〈動き〉の原点に迫る『詩劇』への挑戦など、現代劇の可能性を探究し続けている。</p>		
学校等における公演実績	<p>劇団創立以来、全国の小・中・高校、支援学校における公演を、劇団の主要活動のひとつとして実践している。</p> <p>【近年の公演実績】 平成29年:146校／平成30年:166校／平成31年:190校</p> <p>『星の王子さま』(1989年から巡回公演開始／延べ1400公演) 劇団創立翌年の1988年に初演。作者サン＝テグジュペリ遺族・著作権者の協力のもと上演を繰り返している。</p> <p>『ジャンヌ・ダルク』(2014年から巡回公演開始／延べ280公演) マテイ・ヴィスニユックの書き下ろしによる、日本・フランス・モルドバ3カ国共同制作。</p> <p>『肝っ玉おっ母とその子供たち』(2006年から巡回公演開始／延べ500公演) 2011年には東日本大震災被災地の学校において巡回公演を行う。</p> <p>他、『ヘレン・ケラー』(延べ1500公演)『ハムレット』(延べ230公演)『Touch』(延べ1000公演)</p> <p>また、2018年から学校等における新たな公演として、子供たちひとりひとりが〈詩のことば〉を持ってアーティストとなる活動『エクリチュール・バガボンド』をフランスのスフルールと協働し展開している。</p>		
特別支援学校における公演実績	<p>劇団独自の巡回公演、文化庁の巡回公演事業において、1993年から全国の特別支援学校〔視覚障害、聴覚障害、肢体不自由(病弱児・者)すべてを含む〕の小学部・中学部・高等部で公演を行っている。</p> <p>宮崎県立都城さくら聴覚支援学校／社会福祉法人岩崎学園 北海道教育大学附属特別支援学校／栃木県立那須特別支援学校 盛岡青松支援学校(旧松園養護学校)／群馬大学教育学部附属特別支援学校 児湯るびなす支援学校／柏特別支援学校流山分教室／広島中央特別支援学校／岡山盲学校 下関総合支援学校／柳河特別支援学校／天草高等学校倉岳校／琴の浦特別支援学校</p> <p>特別支援学校での公演により、「演劇によるバリアフリー」研究会、近隣の福祉作業施設との交流などの活動が始まっています。</p>		
参考資料の有無	A	<p>申請する演目のチラシパンフレット等</p> <p>申請する演目のDVDまたはWEB公開資料</p> <p>※公開資料有の場合 URL</p> <p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>有 ・ 無</p> <p>有 ・ 無</p> <p>DVDを提出します</p> <p>ID: PW:</p>
	Aの提出が困難な場合	<p>今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容のDVDまたはWEB公開資料</p> <p>※公開資料有の場合 URL</p> <p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>有 ・ 無</p> <p>ID: PW:</p>

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 東京演劇集団 風】

対 象	小学生(低学年・中学年・高学年) ・ 中学生		
企画名	全校児童・生徒参加によるミュージカル『星の王子さま』		
本公演演目	<h2>星の王子さま</h2> <p>原作：サン＝テグジュペリ 翻訳：内藤濯 構成・演出：浅野佳成／作曲：八幡茂</p> <p style="text-align: right;">公演時間(100分)</p>		
著作権	<input checked="" type="checkbox"/> 制作団体が所有	<input type="checkbox"/> 制作団体以外が所有する事項が含まれる	<input type="checkbox"/> (制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾の有無
演目概要	<div style="display: flex;"> <div style="flex: 1;">    </div> <div style="flex: 2; padding-left: 10px;"> <p>遠いほらかな星に、たったひとつの花と暮らしている小さな王子さま。彼は星から星をめぐる旅を続けて、地球にやってきました。王子さまは地球で、飛行士や一匹のキツネと出会い、〈友だち〉とは何か、〈かけがえのないもの〉とは何かを学び、成長していきます。そして一年がたったある日、王子さまは地球や友だちに別れを告げて、大切な花のために星に帰ることを決意するのです。</p> <p>人や物事との出会いを温かく見つめ、美しく力強く生きる少年の姿を通して、『星の王子さま』は地球の美しさと、そこに生きている私たちが失くしてはならないものを問いかけています。「大切なものは目には見えない——」と。</p> <p>『星の王子さま』は第二次世界大戦のさなか、1943年にサン＝テグジュペリによって描かれました。以後、世界54カ国で翻訳・出版され、世界中の人々に愛され、読み継がれてきました。この作品は初演以来、全国巡回公演の中で練り上げてきた劇団の代表作です。</p> </div> </div>		
演目選択理由	<p>『星の王子さま』には、戦争の時代を生きたサン＝テグジュペリの〈ものごとの真実を心で見たい〉〈生きることを見つめ直してほしい〉という、あとから生まれてくる世代へのメッセージがあります。人やものごとに深い思いやりを持ちながら、出会いの中でかけがえのないものを見つけ、歩み出していく少年。その勇氣と成長の物語を通して、子供たちが世界を愛し、人を思いやり、生きる力を大切にほしい。さらに彼らの成長を願い、見守る先生方と一緒に舞台に親しんでほしいと考え、この作品を選択しました。</p>		

児童・生徒の共演，参加又は体験の形態

子供たちが演劇を身近に感じ、人との関わりの中で演劇をつくる楽しさを体感できるよう、参加・共演場面を用意しました。

◆ 全校児童・生徒が共演する『星の王子さま』のクライマックス

王子さまが、一輪の花のために自分の星に帰っていくラストシーンに、全校児童・生徒が参加します。児童・生徒がその場に立ち上がり、王子さまとかけ合いで歌い、台詞を呼びかけ、クライマックスの場面をつくります。



子供たちが、俳優と一緒に作るクライマックスシーン

誰もが共演者となり、表現する楽しさ、人ともものをつくる喜びや達成感を共有してほしいと考えています。

◆ 最上級生が舞台上で歌う「旅立ちの歌」

卒業前の思い出のひとつとなるよう、最上級生全員が舞台上に立ち、地球へ旅立つ王子と共に「旅立ちの歌」を歌います。



俳優と最上級生がつくる旅立ちの場面

◆ 先生方の共演シーン

子供たちが「先生も一緒につくっている舞台だ」と喜びを感じられるために、王子がさまざまな星をめぐる場面で先生方に「呑み助」役、「地理学者」役での出演をお願いしています。



「呑み助」役を演じる先生



「地理学者」役を演じる校長先生

◆ 演奏による参加

王子さまが歌う劇中の歌「光と影」では吹奏楽部や音楽クラブが、演奏で参加することも可能です。

演劇への興味・関心を育み、舞台づくりのプロセスに多面的に触れられる交流・体験プログラムをつくりました。

◇ バックステージ・ツアー(舞台裏見学)

俳優とスタッフが、体育館に設営された舞台を案内します。本番で使用する道具や衣装に自由に触れる、表からは見えない舞台づくりの仕組みと工夫を体験します。



◇ 音響・照明のオペレート体験

舞台を支えているスタッフの仕事を体験します。音響や照明の専門スタッフによる、音の出る仕組みやスポットライトの仕組みなどの説明を受け、子供たちが実際に操作してみます。



◇ 共演者・スタッフを身近に感じる様々な交流

俳優・スタッフと「将来の夢」や「職業」について話し合う座談会。終演後に俳優と触れあい、感想を伝え合うなどの機会をつくれます。



このような参加・体験を通して「みんなと、先生と、一緒に舞台をつくった！」という感動が、子供たちの心の経験、学校のかけがえのない思い出となることを願い、プログラムをつくりました。

出会いと触れあいの中で、子供たち同士、また子供たちと先生の間に新しい「発見」や「対話」が生まれることを期待しています。



終演後の先生と子供たちの様子

<p>出演者</p>	<p>白根有子／緒方一則／工藤順子／渋谷愛 田中賢一／酒井宗親／栗山友彦／坂牧明／蒲原智城</p>		
<p>公演出演予定者数 (1公演あたり)</p>	<p>出演者: 9名 スタッフ: 15名 合計: 24名</p>	<p>機材等 運搬方法</p>	<p>積載量 11 t / 4 t 車長 11.4m / 8.4m 台数 2台</p>

<p>公演に当たっての 会場条件</p>	<p>実施条件等確認書①をご確認ください。</p>																	
<p>会場設営の所要 時間(タイムスケ ジュール)の目 安</p>	<p>会場条件によって舞台設営の所要時間は異なりますが、目安として以下のようなスケジュールで公演を行っています。</p> <p>前日仕込み(有・無) 会場設営の所要時間 ([前日]~2時間/[当日]2時間半)</p> <table border="1" data-bbox="391 1646 1428 1765"> <thead> <tr> <th>到着</th> <th>仕込み</th> <th>本公演</th> <th>内休憩</th> <th>撤去</th> <th>退出</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8時半</td> <td>8時半~12時 (リハーサルを含む)</td> <td>13時~ 14時40分</td> <td>10分</td> <td>15時~17時半</td> <td>17時半</td> </tr> </tbody> </table> <p>※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。</p> <p>前日仕込みの内容や舞台裏見学・オペレート体験などの公演当日のプログラムは、先生方と話し合い、一校一校作成していきます。</p>						到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出	8時半	8時半~12時 (リハーサルを含む)	13時~ 14時40分	10分	15時~17時半	17時半
到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出													
8時半	8時半~12時 (リハーサルを含む)	13時~ 14時40分	10分	15時~17時半	17時半													
<p>児童・生徒 の参加可能人数</p>	<p>ワークショップ</p>	<p>~1000人</p>																
	<p>本公演</p>	<p>~1000人</p>																

<p>ワークショップ 実施形態 及び内容</p>	<p>ワークショップは共演のための練習です。全校児童・生徒を対象に行い、本番で共演する『星の王子さま』のクライマックスシーンを俳優と一緒につくります。</p> <p>① 出演シーンの説明 はじめに演出家が、『星の王子さま』のあらすじ、児童・生徒の共演シーン(王子が飛行士に別れを告げて自分の星に帰るクライマックスの場面)を説明し、実演練習に入ります。</p> <p>② 王子を支える〈動き〉の実演 俳優たちとの実演の中で、「やってみよう」とその場に立ち、王子と別れを告げて座るまでの参加場面の一連の〈動き〉を体験します。 まずは王子とひとりひとりが向き合い、互いに気持ちを交感することから始めていきます。</p> <p>③ ソング「ぼくは行く」を俳優と練習 王子を励まし歌うソング「ぼくは行く」に王子役・へび役の俳優と取り組みます。 はじめは歌詞を言葉でやり取りしながら、少しずつ王子への想いを高め、メロディーにしています。</p> <p>④ 王子と別れを告げる台詞の練習 飛行士役の俳優と一緒に、「おーい、おーい、どこへ行ってしまったんだよ」という台詞を全員で呼びかけます。自分の心に感じたものを大切に、それぞれの声とタイミングで表現できるように指導していきます。</p> <p>⑤ 本番と同じように演じてみる通し稽古 練習した〈動き〉〈歌〉〈台詞〉をもとに、全員でひとつの場面をつくります。</p>    
<p>ワークショップ 実施形態の意図</p>	<p>ワークショップは、子供たちが共演する俳優と身体で向き合い、全員で演じることの達成感を得ることを意図しています。</p> <p>子供は大人が思いもよらないほど、繊細かつ敏感な感覚で人や物事と向き合い、周りの環境からたくさんものを身体で受けとめています。ワークショップでは、その子供たちひとりひとりが「心の中の想いを伝える」「他の人の気持ちを想像する」という表現の楽しさを感じながら、「見て、聞いて、感じ、自分の心に生まれたものを大切に演技する」ことを重視しています。</p> <p>この一連のワークショップを通して、子供たちが本番への期待をふくらませ、互いの違いを理解し合いながら全員でひとつのものをつくれるという豊かさを共有して欲しいと考えています。</p>

<p>特別支援学校での実施における工夫点</p>	<p>基本的には他校と同様のワークショップ・本番を行い、先生方の意向を汲み、以下のような工夫をします。</p> <p>◇先生方の意向を伺い、それらを具体化するための打合せ 先生方も安心と期待を持てるワークショップ・公演になるよう、先生の要望や疑問点を聞いていきます。そのうえで当日のスケジュールや上演時間、舞台設営の方法など、個々の学校に対応すべくプログラムを作成・提案し、実施に臨みます。</p> <p>◇個々の子供たちに対応した、観劇・参加のための環境づくり 舞台設営においては、子供たちが通る通路の配線や道具の設置位置など、ひとつひとつ細かい点に気を配ります。 会場内の明るさや音の調整、パンフレット作成の工夫、鑑賞を補助する機材の導入、参加のためのスロープの設置など、よりよい環境で子供たちが観劇・参加できるよう工夫します。</p> <p>◇子供たちがいきいきと演劇に親しむための工夫 子供たちが、先生方と一緒に親しみを持って共演者や舞台に触れ、「自分たちの舞台だ！」と感じられるよう、俳優との交流、音や光の操作体験、先生と一緒に舞台の道具や仕組みに触れる機会を多く設けます。</p>
<p>実施可能時期</p>	<p>実施可能時期スケジュール表をご確認ください。</p>

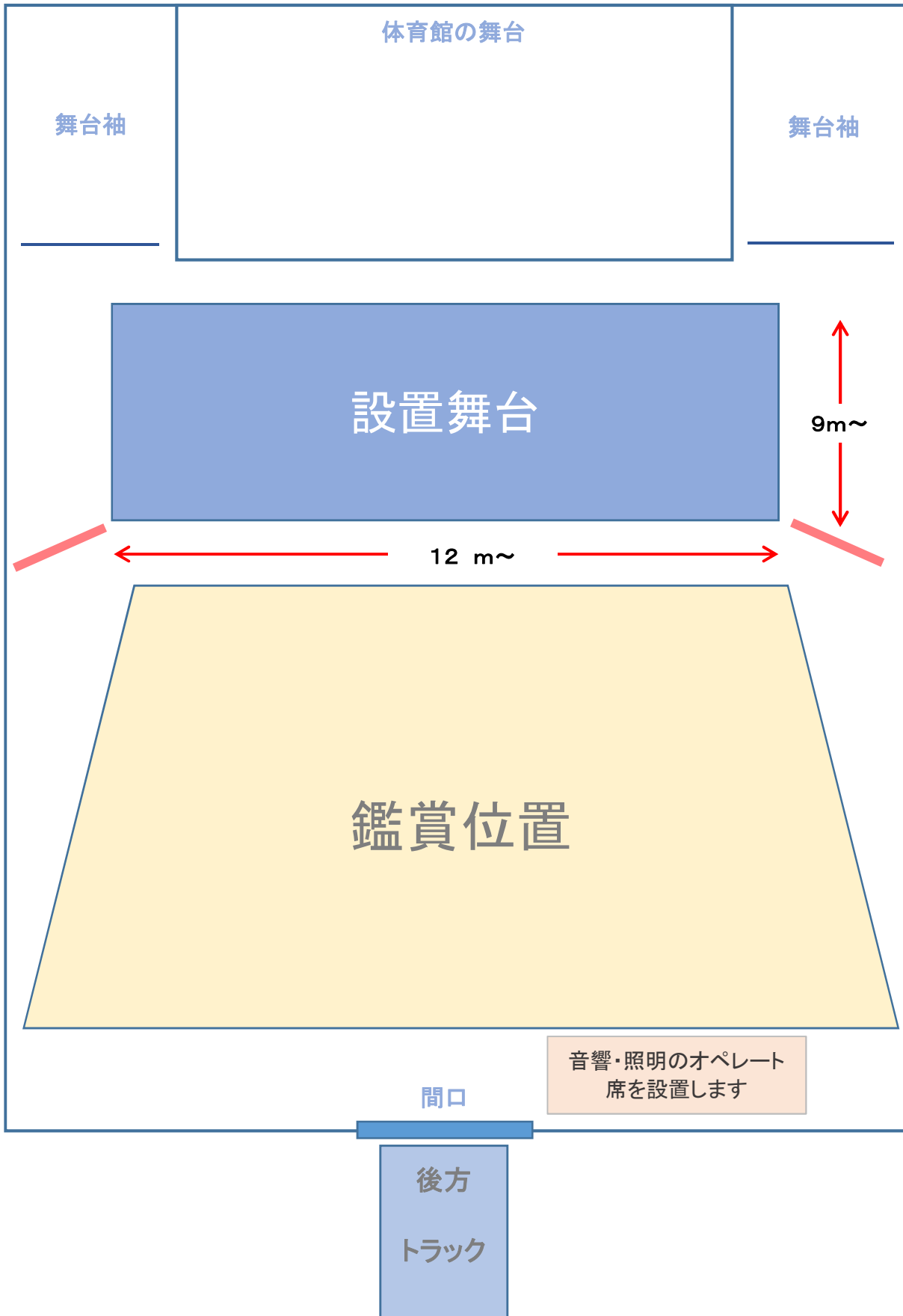
【令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	B18	分野	演劇	種目	ミュージカル	ブロック	B	区分	B区分
公演団体名	東京演劇集団 風				制作団体名	株式会社 東京演劇集団 風			

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等								
控室について	可	必要数 *	1室	条件	特にありません					
搬入について	可	来校する車両の大きさと台数 *			10tトラック 1台	中型バス 1台				
					4tトラック 1台					
	可	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			10tトラック・4tトラック					
	可	搬入車両の横づけの要否 *			不要					
	可	横づけができない場合の搬入可能距離 *			問わない					
	可	搬入経路の最低条件			特にありません					
		理由			学校の状況に応じてスタッフが搬入します					
	可	設置階の制限 *			問わない					
	—	搬入間口について 単位:メートル		幅	問いません		高さ	問いません		
WSIについて	可	参加可能人数			全校児童・生徒の参加をお願いしています					
	—	学年の指定の有無 *			なし	指定学年 *	なし			
	可	所要時間の目安 単位:分			90分程度					
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安をご参照ください。					
	可	鑑賞可能人数			最大1000人程度					
	不可	舞台設置場所 *			フロア					
	可	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル		幅	12m	奥行	9m	高さ	指定なし	
	—				舞台袖スペースの確保 *		不要			
	—	体育館の舞台を使用する場合の条件			舞台袖スペースの条件 *		ありません			
	—				緞帳 *	不要	バトン *	不要		
	可	遮光(暗幕等)の要否 *			不要	理由	暗幕がない場合は劇団が対応			
	—	ピアノの調律・移動の要否		指定位置へのピアノの移動 *	不要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。				
	—			ピアノの事前調律 *	不要					
	可	フロアを使用する場合の条件		バスケットゴールの設置状況 *	どんな状況でも問題ありません					
	可	公演に必要な電源容量			150A	※主幹電源の必要容量 満たない場合でも電源車を用い公演が可能				
	その他特記事項									
	可	電源容量が満たない場合でも公演が可能です(劇団で発電機を用意します)								
—	本公演当日は、11tトラック・4tトラック・中型バス(必要な場合は電源車)を使用します									
—	ここに記載した条件は一例です。体育館の条件を問わず、本格的な舞台設営を行えるよう工夫します									

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	問いません	高さ	問いません
搬入車両の横づけの可否		不要		
横づけができない場合の搬入可能距離		問いません		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

Le Petit Prince

とうきょう えんげきしゅうだん かぜ
東京演劇集団風の

ミュージカル

星の王子さま



ちっぽけな星にひとりで住んで
いる王子さま。ある日、その星にきれい
な一輪の花が咲きます。王子さまは喜んで、花と仲良く暮らします
が、ある時ちょっとしたことでけんかになってしまいます。
そして王子さまは、自分の星を飛び出して、星を巡る旅に
出かけます。王子さまは、さまざまな大人たちと出会
いますが、なかなか自分が住みたいと思う星が見つかりま
せん。最後に地球にやってきた王子さまは、砂漠で飛行
士と出会い、一緒に旅を続けます。飛行士や一匹のキツネ
と友だちになることを通して、誰にでも“かけがえのないもの”
があることを知った王子さまは、花が自分にとって大切な、守らなけ
ればならない存在だと気がつきます。そして成長した王子さまは、飛行士と
地球に別れを告げて、花のために自分の星に帰ろうと決心するのです。



ひとつあるからなんだよ

星があんなに美しいのも、目に見えない花が

フランスで生まれた作者サン＝テグジュペリは、
1943年、第二次世界大戦のさなかに、この小さな少年
の物語『星の王子さま』を書きました。大きな戦争の時代を経験したサン＝テグジュペ
リは、この作品に、“物事の奥深くにある真実を心で見たい”“思い出や美しいもの
を感じる心を大切にしたい”という想いを込めています。懸命に生きる小さな王子
さまの勇気と、美しさや、はかなさが描かれているこの物語の世界を大切に、『星の王子
さま』を上演しています。

フランスで生まれた作者サン＝テグジュペリは、
1943年、第二次世界大戦のさなかに、この小さな少年

“日本のすべての子どもたちへ”

とうきょうえんげきしゅうだんかぜ ほし おうじ じょうえんかつどう きょうかん
東京演劇集団風の『星の王子さま』の上演活動に共感した
サン＝テグジュペリの遺族から日本の観客に届けられたメッセージ



日本の小さな子どもたちよ、あなたがたの勇気は、
この星ぜんたいにとってのお手本です。太陽がまた輝きだすという希望を失わないでく
ださい。あなたがたはわたしたちからはあまりに遠く離れているので、この目であなたが
たを見ることはできません。でも心の目で見ることができるとのことです。そして言わせてくだ
さい。星の王子さまはあなたがたとともにいて、あなたがたを助けてくれます。彼は世界
のすべての子どもたちの友だちです。彼はあなたがたの友だちなのです。

——心からの友情を込めて

フランソワ・ダゲイ François d'Agey

(サン＝テグジュペリ財団理事長 Succession Antoine de Saint-Exupéry)

キャスト

王子……………白根有子
飛行士……………緒方一則
キツネ……………工藤順子
花……………渋谷愛
星の住人 など…栗山友彦
蒲原智城
酒井宗親
坂牧明 ほか

スタッフ

音楽……………八幡茂
演出助手…江原早哉香／西垣耕造
舞台美術…松井るみ
照明……………坂野貢也
音響……………渡辺雄亮
衣裳……………出川淳子
振り付け…ぐんじゆきお
振付……………郡司行雄
舞台監督…前田浩和
制作……………佐藤春江



実施日程	実施校名	地元主催者
2019年 11/18(月)	行田市立太田西小学校	埼玉県教育委員会
11/19(火)	古殿町立古殿中学校	福島県・古殿町教育委員会
11/20(水)	いわき市立草野中学校	福島県・いわき市
11/21(木)	会津若松市立城北小学校	福島県・会津若松市教育委員会
11/22(金)	羽生市立須影小学校	埼玉県教育委員会
11/25(月)	神川町立青柳小学校	埼玉県教育委員会/ 神川町教育委員会
11/26(火)	狭山市立富士見小学校	埼玉県教育委員会/ 狭山市教育委員会
11/27(水)	福島市立立子山中学校	福島県・福島市
11/28(木)	喜多方市立熱塩小学校	福島県・喜多方市教育委員会
11/29(金)	喜多方市立第一小学校	福島県・喜多方市教育委員会
12/ 2(月)	福島市立杉妻小学校	福島県・福島市
12/ 3(火)	福島市立蓬萊東小学校	福島県・福島市
12/ 4(水)	郡山市立行健第二小学校	福島県・郡山市
12/ 5(木)	久喜市立鷲宮西中学校	埼玉県教育委員会
12/ 6(金)	越谷市立東中学校	埼玉県教育委員会
12/ 9(月)	羽生市立羽生北小学校	埼玉県教育委員会
12/10(火)	羽生市立新郷第一小学校	埼玉県教育委員会
12/11(水)	行田市立南河原中学校	埼玉県教育委員会
12/12(木)	三芳町立上富小学校	埼玉県教育委員会、 三芳町
12/13(金)	ときがわ町立明覚小学校	埼玉県教育委員会
12/16(月)	羽生市立手子林小学校	埼玉県教育委員会
12/17(火)	館林市立第八小学校	群馬県・群馬県教育委員会
12/18(水)	高崎市立塚沢小学校	群馬県・群馬県教育委員会
12/19(木)	みなかみ町立桃野小学校	群馬県・群馬県教育委員会・ みなかみ町教育委員会
12/20(金)	富岡市立額部小学校	群馬県・群馬県教育委員会

し
知っていますか？
がつ ついたち こくさいおんがく ひ
10月1日は「国際音楽の日」です
ねん ようせい せつりつ こくさいおんがくひようぎ
1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議
かい かいぎ よくとし ねん まいとし がつついたち
会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、
せかい ひとびと おんがく つう たが なかよ こうりゅう
世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流
ふか こくさいおんがく ひ
を深めていくために「国際音楽の日」とすることにし
ました。日本では、1994年から毎年10月1日を「国際
おんがく ひ さだ
音楽の日」と定めています。

東京演劇集団風

いま かたち と ゆた もと
—未だ形を採らない豊かさを求めて

ねん そりつ
1987年に創立。
この名前には“自由に風
のようにものをつくる”
という思いが込められ
ています。1999年には、
とうきょう ひがしなかの せんぞく きよ
東京・東中野に専属の拠
てんげきじょう
点劇場〈レパトリーシ
アター-KAZE〉を建設。



げきさつか
劇作家ベルトルト・プレヒトや現代劇作家マテイ・ヴィス
ニユックなどの作品を中心に、現代劇を上演しています。
2003年からは、国際演劇祭を開催し、海外アーティスト
との交流や共同制作も行なっています。
また、中学生・高校生を対象とした巡回公演にも力を注ぎ、
プレヒト作『肝っ玉おっ母とその子供たち』、ヴィスニユッ
ク作『ジャンヌ・ダルク—ジャンヌと炎』をはじめ、6作品
が各地での上演活動を行っています。特に創立以来、
上演を続けている『星の王子さま』は劇団の代表
作です。2017年には創立30周年を迎え、記
念企画として、レパトリー作品と新作の
上演を2年間にわたり行いました。

東京演劇集団風

Tokyo Theatre Company KAZE

〒164-0003 東京都中野区東中野1-2-4
Tel.03-336 3-3261 [代]
Fax.03-3363-3265
E-mail: info@kaze-net.org
URL: http://www.kaze-net.org/



作 **サン＝テグジュペリ Saint-Exupéry**
訳 **内藤濯(岩波書店刊)**
構成・演出 **浅野佳成**

星の王子さま

ミュージカル ほしのおうじさま

東京演劇集団風

ふんかげいじゆつ こどもいくせいそうごうじぎょう じゆんかいこうえんじぎょう
文化芸術による子供育成総合事業—巡回公演事業—

わくにいちりゅう ふんかげいじゆつだんたい しょうがっこうちゅうがっこうなど
我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等に
こうえん こども すく ふたいげいじゆつ かんしょう
において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する
きかい え こども ほっそうりよく
機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケー
のうりよく いくせいしょうらい げいじゆつか いくせい こくみん げいじゆつかん
ション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑
しょうのうりよくこうじょう もくてき じぜん
賞能力の向上につなげることを目的としています。事前
のワークショップでは、子供たちに実演指導または鑑賞
しどう おこな じつえん こども
指導を行います。また、実演では、できるだけ子供
さんか
たちにも参加してもらいます。

VI 令和2年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野, 種目(該当する種目に○を付してください。)

分野	種目
【音楽】	合唱, オーケストラ等, 音楽劇
【演劇】	児童劇, 演劇, ミュージカル
【舞踊】	<input checked="" type="checkbox"/> バレエ 現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸

申請する区分に, ○を付してください。

A区分のみ・A区分とB区分の両方・C区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)

あり・なし

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

- (1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能
 (2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能
 (3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能
 (4) その他()

芸術文化団体の概要

ふりがな	こうえきざいだんほうじん すたーだんさーず・ばれえだん		
制作団体名	公益財団法人スターダンサーズ・バレエ団		
代表者職・氏名	理事長 法眼健作		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒107-0062 東京都港区南青山 2-22-4 (東京メトロ銀座線外苑前駅)		
電話番号	03-3401-2293	FAX番号	03-3401-2252
ふりがな	すたーだんさーず・ばれえだん		
公演団体名	スターダンサーズ・バレエ団		
代表者職・氏名	総監督 小山久美		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒107-0062 東京都港区南青山 2-22-4 (東京メトロ銀座線外苑前駅)		
制作団体 設立年月	昭和 56(1965)年 3月		

制作団体 組織	役職員 理事長 法眼健作 常務理事 小山久美 その他理事 :4名 監事 :1名 評議員 :7名 事務職員 :3名	団体構成員及び加入条件等 1)団体構成員 50名 2)主な構成員 【総監督】小山久美 【バレエ・ミストレス】小山恵美 【バレエ・マスター／常任振付家】鈴木稔 【団員】渡辺恭子、佐藤万里絵、友杉洋之、大野大輔 他 加入条件:総監督、バレエ・ミストレスらの審査による。	
事務体制の担当	専任 ・ 他 の業務と兼任	本事業担当者名	小山久美、平野綾那
経理処理等の 監査担当の有無	有 ・ 無	経理責任者名	須藤陽子
制作団体沿革	<p>太刀川瑠璃子を代表として昭和40年に創立。昭和56年には日本のバレエ団初の財団法人化を果たし、平成24年に公益財団法人となった。</p> <p>邦人振付家の作品の上演に力を注ぐ一方、アントニー・チュウダーをはじめとする海外の優れた近代バレエ作品を日本に紹介し、常に日本のバレエ界の発展を念頭に歩みを進めてきた。これまで年2～3回の自主公演、文化庁の移動芸術祭・青少年芸術劇場を実施し、近年では戦略的芸術文化創造推進事業やその他のワークショップやアウトリーチ等、普及活動にも積極的に取り組んでいる。海外公演は昭和61年北京での日中合同公演、平成5年ソウル国際舞踊祭、平成14年ドイツ・ハイルブロン市立劇場招聘公演、平成19年上海・南京公演、平成22年上海万博公演、令和元年パリ Japan Expo 公演等の実績がある。平成27年には創立50周年を迎えた。</p>		
学校等における 公演実績	<p>芸術鑑賞教室 学校からの依頼による「芸術鑑賞教室」を実施。</p> <p><実績例> 平成17年「ジゼル」東京女学館 昭和女子大学人見記念講堂 平成18年「ジゼル」吉祥女子中学高等学校 府中の森芸術劇場 平成23年「 Coppélia 」東京女学館 ゆうほうとホール 平成29年「ジゼル」跡見学園中学校・高等学校 東京文化会館</p> <p>ワークショップ等アウトリーチ活動 子どもを対象としたアウトリーチ活動を展開。</p> <p><実績例> 平成17～26年度 東京都「子どもたちと芸術家の出あう街」のアウトリーチ活動として都内の小学校などでワークショップや小規模公演を実施。 平成26年度～継続 小田原市内小学校にて公演及びワークショップを実施。 平成27年度～継続 特定非営利活動法人子ども劇場東京都協議会が実施する「文化芸術による子供の育成事業(芸術家の派遣事業)」において小学校でのワークショップを担当。</p>		

<p>特別支援学校における公演実績</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 平成 22 年度「子どものための優れた舞台芸術体験事業」において 1 校実施。 実施校:北海道余市養護学校しりべし学園分校 ■ 平成 24 年度「次代を担う子どもの文化芸術体験事業(巡回公演)」において 1 校実施。 実施校:兵庫県篠山市立篠山養護学校 ■ 平成 26 年度「文化芸術による子供の育成事業(巡回公演事業)」において 1 校実施。 実施校:福井県立奥越特別支援学校 ■ 平成 27 年度「文化芸術による子供の育成事業(巡回公演事業)」において 1 校実施。 実施校:福井県立南越特別支援学校 ■ 平成 28 年度「文化芸術による子供の育成事業(巡回公演事業)」において 2 校実施。 実施校:金沢大学人間社会学域学校教育学類附属特別支援学校、富山県立にいかわ総合支援学校 ■ 平成 29 年度「文化芸術による子供の育成事業(巡回公演事業)」において 2 校実施。 実施校:北海道鷹栖養護学校、岩手県立宮古恵風支援学校 <p>このほか、特別支援学校教員や理学療法士の協力のもと障がいのある子どもたちを対象とするダンスプログラム「We Ballet!(ウィー・バレエ)」を開発し、平成 28 年より実施している。</p>		
<p>参考資料の有無</p>	<p>A</p>	<p>申請する演目のチラシパンフレット等</p> <p>申請する演目の DVD または WEB 公開資料</p> <p>※公開資料有の場合 URL</p> <p>※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード</p>	<p>有 ・ 無</p> <p>有 ・ 無</p> <p>第 1 部 https://www.youtube.com/watch?v=QWTTOjZ-NSI</p> <p>第 2 部 https://www.youtube.com/watch?v=AUwg8In6fRM</p> <p>ID: PW:</p> <p>有 ・ 無</p> <p>ID: PW:</p>
	<p>A の提出が困難な場合</p>	<p>今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料</p> <p>※公開資料有の場合 URL</p> <p>※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード</p>	<p>有 ・ 無</p> <p>ID: PW:</p>

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 公益財団法人スターダンサーズ・バレエ団】

対象	小学生(低学年・中学年・高学年) ・ 中学生			
企画名	シンデレラ			
本公演演目	第1部「バレエって何だろう」 構成・演出 小山久美			
原作/作曲	第2部「舞台をみてみよう」 『シンデレラ』 原作: シャルル・ペロー 作曲: セルゲイ・プロコフィエフ			
脚本	演出・振付: 鈴木稔			
演出/振付	公演時間(80~100分)			
著作権	制作団体が 所有	<input type="radio"/>	制作団体以外が所有する事 項が含まれる	<input type="radio"/> (制作団体以外が所有す る事項が含まれる場合) 許諾の有無
演目概要	<p>体育館の舞台を前方に張り出して広げ、劇場のように照明機材を設置し、本格的な舞台空間のなかでバレエをお楽しみいただきます。舞台を拡張することで、フロアに座る全ての児童・生徒たちにとって鑑賞しやすい環境を作ります。</p> <p>第1部「バレエってなんだろう」では、バレエについて実演を織り交ぜながらやさしく説明し、次に続く第2部の作品が細部までよく理解できるよう導きます。児童・生徒による体験コーナーもあります。</p> <p>第2部では、「シンデレラ」を上演します。美しいプロコフィエフの音楽や見どころはそのままに、ダイジェスト版として約45分にまとめました。途中にはあらすじ解説も組み込まれるので、どなたでも安心してお楽しみいただけます。意地悪なお姉さんたちの愉快的シーンや、涙がほろっとするような心に響くラストシーンなど、起伏に富んだ演出で児童・生徒を飽きさせることなく、常に大きな満足感を与えています。</p>			
演目選択理由	<p>バレエは言葉を用いませんが、「シンデレラ」は誰でもストーリーを知っているため非常にわかりやすい演目です。身体の動きと表現によって喜怒哀楽を心で感じ、夢のある美しいひとときを楽しんでいただけます。</p> <p>子どもたちのコミュニケーション能力の低下が指摘されているなか、メールなどの道具を介して伝え合うのではなく、人と人が心を通い合わせることの素晴らしさを子どもたちに伝えたいと思っています。言葉がないバレエだからこそ、頭で理解するのではなく心で感じる事ができます。舞踊という芸術を通して魂が揺さぶられるような体験をし、豊かな心を育む一助となることを願っています。</p>			
児童・生徒の共演, 参加又は体験の形態	<p>【小学生との共演】 「シンデレラ」の一場面、十数名の児童がダンサーたちと一緒に舞台上上がり、演技に参加します。12時の鐘とともに魔法がとけて逃げ出したシンデレラを、王子が残された靴を片手に探すシーンで、王子が児童の皆さんにもシンデレラの行方を聞いて回る、という設定です。事前のワークショップではこのシーンに取り組み、それぞれの個性や能力が発揮できるよう振付家が指導します。児童の皆さんが身体表現を体験し、ダンサーたちと共演して学校オリジナルの『シンデレラ』を創り上げたいと考えています。 また、ワークショップで学んだ踊りを舞台上で選抜メンバーが発表する機会もあります。</p> <p>【中学生との共演】 公演の一部として、生徒たちによるダンスを舞台上で発表していただきます。事前のワークショップにおいてダンスの基礎を学びながらひとつの踊りとして完成させ、それをバレエ団とともに観客の前で上演します。ダンスの特性やリズムの特徴をとらえ、スペースの使い方な</p>			

	<p>ど互いに気を配りながら、皆で踊る楽しさを味わってもらよう導いていきます。</p> <p>【その他の参加・体験】 バレーの動きを紹介する公演の第1部では、数名の児童・生徒による体験コーナーを設けています。小学生は男性に高く持ち上げられるリフト、中学生は男性が女性をエスコートして支えるパートナーリングに挑戦してみます。</p>		
出 演 者	スターダンサーズ・バレエ団員（別紙参照）		
公演出演予定者数 (1公演あたり)	出 演 者: 30名 ス タ ッ フ: 25名 合 計: 55名	機 材 等 運 搬 方 法	積 載 量 4t 車 長 10m / 車 高 3.80m 台 数 2 台

【公演団体名 公益財団法人スターダンサーズ・バレエ団】

公演に当たっての 会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。																									
会場設営の所要 時間(タイムスケ ジュール)の目 安	<p>前日仕込み(有)・無) 会場設営の所要時間(8 時間程度)</p> <table border="1" data-bbox="389 1010 1431 1093"> <thead> <tr> <th>到着</th> <th>仕込み</th> <th>本公演</th> <th>内休憩</th> <th>撤去</th> <th>退出</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8 時</td> <td>8:00～12:30</td> <td>13:30～15:10</td> <td>10 分</td> <td>15:30～18:00</td> <td>18:00</td> </tr> </tbody> </table> <p>※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。</p> <p>いかなる搬入条件においても滞りなく実施するためには、前日に仕込みをすることを希望します。</p> <p><u>13:30 開演の場合のスケジュール<例></u></p> <table border="0" data-bbox="389 1285 1431 1435"> <tr> <td>前日 装置搬入・仕込み(時刻は移動日程による)</td> <td>所要時間:約 3 時間</td> </tr> <tr> <td>当日 8:00～ 仕込み、リハーサル(公演団体)、公演準備</td> <td>所要時間:約 5 時間</td> </tr> <tr> <td>12:30～13:00 リハーサル(児童との共演)</td> <td>所要時間:約 30 分</td> </tr> <tr> <td>13:30 開演</td> <td></td> </tr> </table>						到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出	8 時	8:00～12:30	13:30～15:10	10 分	15:30～18:00	18:00	前日 装置搬入・仕込み(時刻は移動日程による)	所要時間:約 3 時間	当日 8:00～ 仕込み、リハーサル(公演団体)、公演準備	所要時間:約 5 時間	12:30～13:00 リハーサル(児童との共演)	所要時間:約 30 分	13:30 開演	
到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出																					
8 時	8:00～12:30	13:30～15:10	10 分	15:30～18:00	18:00																					
前日 装置搬入・仕込み(時刻は移動日程による)	所要時間:約 3 時間																									
当日 8:00～ 仕込み、リハーサル(公演団体)、公演準備	所要時間:約 5 時間																									
12:30～13:00 リハーサル(児童との共演)	所要時間:約 30 分																									
13:30 開演																										
児童・生徒 の参加可能人数	ワークショップ	約 50 名(100 名程度でも実施可能です)																								
	本公演	上限なし(収容できる範囲)																								
ワークショップ 実施形態 及び内容	<ul style="list-style-type: none"> 講師は振付師、指導者、指導助手、計 6 名。 対象生徒数は上限約 50 名を基本としますが、クラス単位、学年単位など選別方法は学校側にお任せし、50 名以上での参加をご希望される場合は可能な限り対応します。 まずはダンサーの実演を間近で見ると身体による表現を理解していただき、次は一緒に楽しく身体を動かしていきます。そして、その動きを取り入れながら、公演で共演する部分を創り上げていきます。 																									
ワークショップ 実施形態の意図	<ul style="list-style-type: none"> バレエにおける知識を活用して、児童・生徒の皆さんがのびのびと自由に表現できるように指導します。「言葉で伝えること」と「身体の動きで伝えること」、その伝わり方の違いを感じることによって、コミュニケーション能力を刺激することを狙います。 また、本公演で出演する児童・生徒にとっては、照明や装置が入った大きな舞台上でダンサーたちと共演し、さらに観客の前で自分を表現することは貴重な体験になるでしょう。「自分の表現が人にわかってもらえるように」工夫し、見る側にとっては「人の表現をわかってあげようとする」ことがポイントです。人と人が気持ちを伝えて分かり合える喜びを共有したいと思っています。 																									

<p>特別支援学校での実施における工夫点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第 2 部の「シンデレラ」は十分にわかりやすく誰でも楽しめる内容に創られているため、過去の実施校においても同様に上演しています。状況に応じて共演部分を挿入することも可能です。 ・ 第 1 部はご相談の上、時間を短縮し、着席したまま腕や手を使ってできる身体表現を全員で体験して、第 2 部の鑑賞へとつなげます。 ・ ワークショップでは、ダンサーの実演を間近で見て、音楽に合わせて一緒に身体を楽しく動かします。研修・経験を重ねた指導者が担当しますのでご安心ください。その他、指導者(ダンサー)と触れ合う時間をとるなど、学校側のご希望に柔軟に応じて適切なプログラムを構成することが可能です。
<p>実施可能時期 ◇はB区分申請 団体のみ</p>	<p>実施可能時期スケジュール表をご確認ください。</p>

No.2 別紙メンバー表 (A・B区分)

解説	1	小山久美
ダンサー <内29名> (一部交替出演)	2	秋山和沙
	3	荒蒔礼子
	4	池田武志
	5	井後麻友美
	6	石川聖人
	7	石山沙央理
	8	岩崎醇花
	9	榎本文
	10	大野大輔
	11	大森美香
	12	加地暢文
	13	柏知里
	14	角屋みづき
	15	金子紗也
	16	喜入依里
	17	鴻巣明史
	18	佐藤万里絵
	19	塩谷綾菜
	20	鈴木優
	21	鈴木就子
	22	関口啓
	23	高谷遼
	24	田中絵美
	25	谷川実奈美
	26	友杉洋之
	27	仲田直樹
	28	西原友衣菜
	29	橋本まゆり
	30	林田翔平
	31	フルフォード佳林
	32	前田望友紀
	33	松本実湖
	34	南亜紗子
	35	宮司知英
	36	森田理紗
	37	八幡恵介
	38	和田瞬
	39	渡辺恭子
	40	渡辺大地

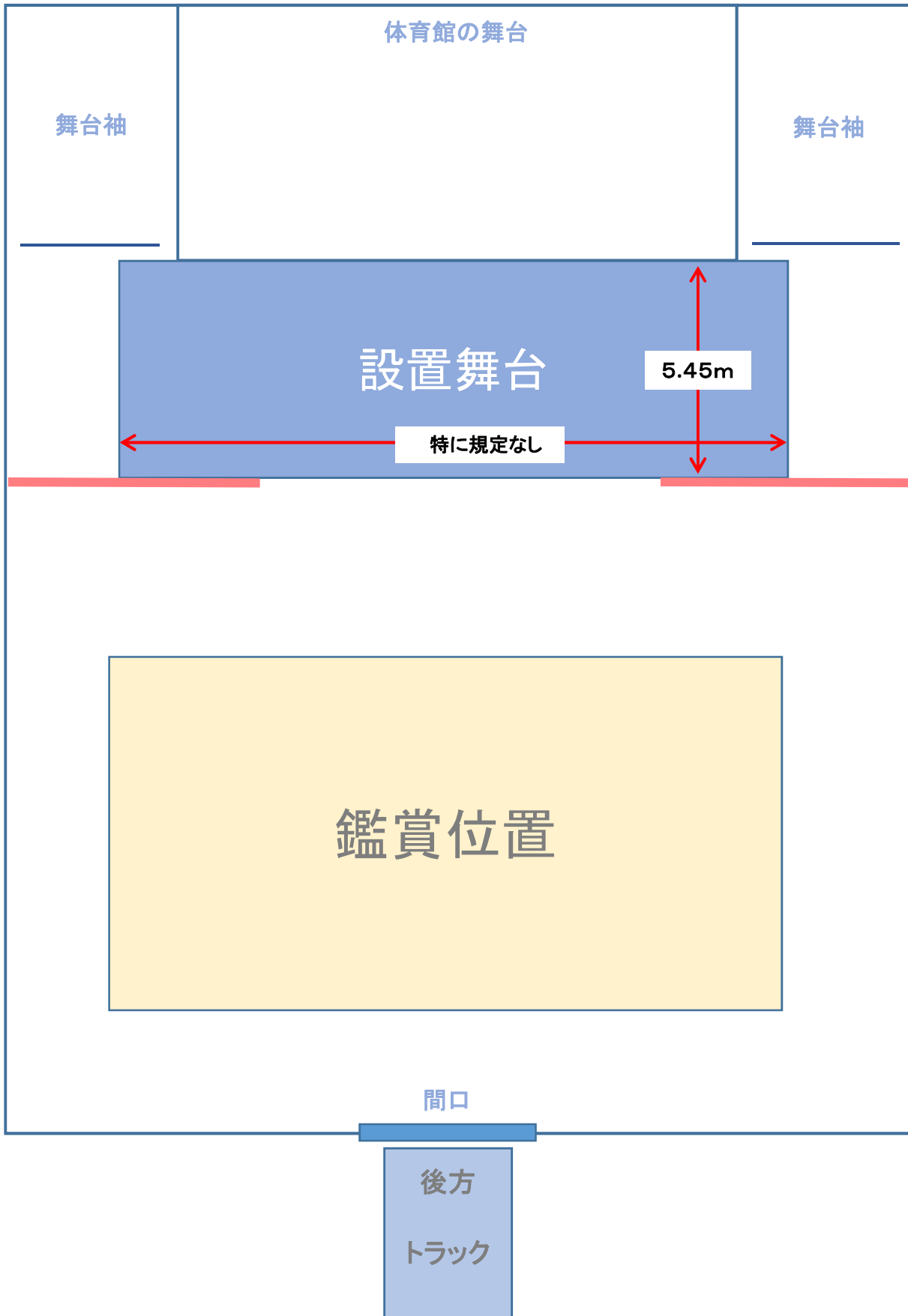
【令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	B19	分野	舞踊	種目	バレエ	ブロック	B	区分	A区分
公演団体名	スターダンサーズ・バレエ団			制作団体名	公益財団法人 スターダンサーズ・バレエ団				

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等							
控室について	可	必要数 *	2室	条件	カーテンなどがあること、児童・生徒との接点が少ないことが希望です。				
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数 *			4トラック 2台	電源車 1台			
	可	来校する車両の大きさと台数 *			大型バス 2台				
	可	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			車長 10m／車高 3.80m				
	可	搬入車両の横づけの要否 *			要				
	可	横づけができない場合の搬入可能距離 *			10m以内				
	可	搬入経路の最低条件			出来る限り階段のない通路が望ましい。				
		理由			機材、大道具等の搬入をするため。				
	可	設置階の制限 *			基本的に2階以上不可だがエレベーターの設置有無や大きさ等により2階以上も可				
	可	搬入間口について 単位:メートル		幅	1.8m	高さ	1.8m		
WSについて	可	参加可能人数			基本は50名ほど。柔軟な対応は可能。				
	可	学年の指定の有無 *		あり	指定学年 *	低学年のみは不可			
	可	所要時間の目安 単位:分		90分程度					
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間		※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)」の目安をご参照ください。					
	可	鑑賞可能人数			舞台設営後に収容できる人数				
	不可	舞台設置場所 *			体育館のステージ上				
	可	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル		幅	指定なし	奥行	5.45以上	高さ	指定なし
	—	体育館の舞台を使用する場合の条件			舞台袖スペースの確保 *		不要		
	—				舞台袖スペースの条件 *				
	—				緞帳 *	不要	バトン *	不要	
	可	遮光(暗幕等)の要否 *			要	理由	演出上の理由による		
	—	ピアノの調律・移動の要否		指定位置へのピアノの移動 *	不要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。			
	—			ピアノの事前調律 *	不要				
	—	フロアを使用する場合の条件		バスケットゴールの設置状況 *	問わない				
	—	公演に必要な電源容量			不要	※主幹電源の必要容量			
	その他特記事項								
可	設置舞台は体育館の舞台からせり出す形となるため、舞台自体の奥行は「体育館の舞台+5.45メートル」となります。体育館の舞台がなくても対応は可能です。従って参加可能人数も体育館の広さによって異なりますが、可能な限りお応えしますのでお気軽にご相談ください。								

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	1.8m	高さ	1.8m
搬入車両の横づけの要否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		状況による		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。



スターダンサーズ・バレエ団

1965年、太刀川瑠璃子により創立。当時のスターダンサーを集めた公演をプロデュースしたことがきっかけで誕生したことから命名されました。

数多くの日本初演作品を含む意欲的な公演活動に対し、ニムラ舞踊賞、舞踊批評家協会賞などを受賞しています。古典から現代バレエの世界的名作の数々を上演する一方、日本人振付家による新しい作品も発表し続け、それらの日本の作品を海外へも紹介しています。1996年には英国よりサー・ピーター・ライトを芸術顧問に迎え、現在は代表小山久美以下、団員は約50名のほります。海外公演は、数回に及ぶ中国公演のほか、韓国、ドイツなどで行いました。また2003年より、国連難民高等弁務官事務所・国連UNHCR協会を通じて難民教育支援のためのチャリティ公演を行い、そのほかにも施設の慰問など、社会活動にも積極的に取り組んでいます。

公演スケジュール

実施日程	実施校名	地元主催者
10月10日(木)	千葉市立星久喜小学校	千葉市教育委員会
10月11日(金)	富里市立日吉台小学校	千葉県教育委員会
10月15日(火)	桜川市立大国小学校	茨城県教育委員会
10月17日(木)	甲斐市立敷島北小学校	山梨県
10月18日(金)	甲府市立北新小学校	山梨県
10月24日(木)	稲敷市立あずま西小学校	茨城県教育委員会・稲敷市教育委員会
10月25日(金)	土浦市立土浦第二小学校	茨城県教育委員会・土浦市教育委員会
10月28日(月)	船橋市立豊富小学校	千葉県教育委員会
11月 6日(水)	松戸市立中部小学校	千葉県教育委員会・松戸市教育委員会
11月 7日(木)	市原市立市原小学校	千葉県教育委員会・市原市教育委員会
11月12日(火)	船橋市立三咲小学校	千葉県教育委員会
11月13日(水)	流山市立おおたかの森小学校	千葉県教育委員会
12月12日(木)	市原市立水の江小学校	千葉県教育委員会・市原市教育委員会

令和元年度 文化芸術による子供育成総合事業

巡回公演事業

〈スターダンサーズ・バレエ団〉

〈バレエ公演〉



文化芸術による子供育成総合事業 巡回公演事業

我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。

事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。



★知ってますか？

～10月1日は「国際音楽の日」です～

1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることとしました。

日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。

第1部 バレエってなんだろう
第2部 舞台をみてみよう『シンデレラ』



演出・振付：鈴木 稔

スタッフ

解説とお話●小山久美

演出●小山久美（第1部）

演出・振付●鈴木 稔（第2部）

演出補●小山恵美

大道具●東宝舞台株式会社

衣裳●大山美民

照明●山本英明

音響●Art Studio Y's

舞台監督●廣瀬次郎

制作

公益財団法人スターダンサーズ・バレエ団

第1部 バレエってなんだろう？

バレエって何でしょう？
バレエは、音楽、美術、演劇とならぶ舞踊という芸術のひとつです。そして舞踊は言葉と同じように、人間の喜びや悲しみ、愛や力を表現する手段なのです。皆さんの周りのもっと小さな子供たちを見てみてください。飛び上がって喜んだり、足をバタバタさせて怒ったりしていませんか。身振りが感情を表しているでしょう、それがつまり舞踊なのです。日本で生まれた舞踊は、能や歌舞伎や日本舞踊になり、西洋ではバレエとなったのです。

このように西洋の舞踊であるバレエは、今から400年以上前にイタリアで生まれ、バレエが大好きなイタリアのお姫様がフランスの王様にお嫁入りしたことがきっかけで、フランスに移ります。フランスでは特にルイ14世が熱心にバレエに取り組み、バレエ学校が作られ、またトウシューズやチュチュという軽やかな衣裳も生まれました。その後バレエの中心はロシアへ移り、ロシアの作曲家チャイコフスキーの音楽で「白鳥の湖」「眠れる森の美女」「くるみ割り人形」という3大バレエができたのです。

今ではバレエは世界中に広まり、フランスやロシアで生まれた古典作品とともに、時代を反映した新しい作品もどんどん作られ、多くの人々に楽しまれています。

キャスト

- シンデレラ★ 荒蒔礼子 森田理紗 渡辺恭子（交替出演）
王子★ 池田武志 加地暢文 林田翔平（交替出演）
姉妹★ 喜入依里 佐藤万里絵 西原友衣菜 松本実湖（交替出演）
仙女★ 角屋みづき フルフォード佳林（交替出演）
妖精たち★ 井後麻友美 岩崎醇花 大森美香 鈴木優 鈴木就子 塩谷綾菜 田中絵美（交替出演）
臣下★ 鴻巣明史 関口啓 和田瞬（交替出演）
貴族たち★ 秋山和沙 荒蒔礼子 石山沙央理 榎本文 柏知里 角屋みづき 金子紗也 谷川実奈美 橋本まゆり フルフォード佳林 前田望友紀 南亜紗子 森田理紗 石川聖人 加地暢文 関口啓 友杉洋之 仲田直樹 宮司知英 八幡恵介 和田瞬 渡辺大地（交替出演）

第2部 舞台をみてみよう『シンデレラ』

Cinderella
シンデレラ

音楽：プロコフィエフ



あらすじ

のやさしい美しい娘シンデレラは、いじわるな姉たちに召使のようにこき使われ毎日忙しく働いていました。ある日姉たちはお城の舞踏会に招かれ、その準備に胸をときめかせています。やがて姉たちがシンデレラを一人残し舞踏会に出かけてしまうと、寂しそうなシンデレラのもとに仙女があらわれます。そしてシンデレラのみずぼらしい服をドレスに変えろと言いました。「魔法は真夜中の12時にとけてしまいます。忘れないで……」

2人の姉が到着したお城では王子を囲み舞踏会が始まっています。そこへシンデレラが入ってくると、あまりの美しさに王子はひと目で恋に落ちてしまいます。姉たちもまさかこの美しい娘がシンデレラとは思いつきません。幸せにつつまれて王子との踊りに夢中になってしまったシンデレラ、そこへ12時を打つ時計の音が響きます。シンデレラは慌ててお城を飛び出し、その途中靴を片方落としてしまいました。後を追った王子は残された靴を片手に、愛するシンデレラを探すことを決意します。

街中を訪ね歩き探し回った末、ついに王子はシンデレラの家に行きます。何とか靴を履いてみようとして競ってケンカを始めた姉たちを、思わず止めに入ったシンデレラが落としたものは……



VI 令和2年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野, 種目 (該当する種目に○を付してください。)

分野	種目
【音楽】	合唱, オーケストラ等, 音楽劇
【演劇】	児童劇, 演劇, ミュージカル
【舞踊】	バレエ, 現代舞踊
【伝統芸能】	<input checked="" type="checkbox"/> 歌舞伎・能楽 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸

申請する区分に, ○を付してください。

A区分のみ A区分とB区分の両方 C区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)

あり なし

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

(1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能

 (2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能

(3) 提案したいいずれか1企画のみ実施可能

(4) その他()

芸術文化団体の概要

ふりがな	こうえきざいだんほうじん うめわかけんのうかい		
制作団体名	公益財団法人 梅若研能会		
代表者職・氏名	理事長 梅若万紀夫(万三郎)		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒151-0066 東京都渋谷区西原1丁目4番2号 小田急線(千代田線)代々木上原駅 徒歩7分		
電話番号	03-3466-3041	FAX番号	03-3466-3823
ふりがな	こうえきざいだんほうじん うめわかけんのうかい		
公演団体名	公益財団法人 梅若研能会		
代表者職・氏名	理事長 梅若万紀夫(万三郎)		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒151-0066 東京都渋谷区西原1丁目4番2号 小田急線(千代田線)代々木上原駅 徒歩7分		
制作団体 設立年月	昭和49年10月11日財団法人 平成24年4月1日公益財団法人認定		
制作団体 組織	役員 理事長 梅若万紀夫 常務理事 塚本忠男 理事 8名(除執行理事) 監事 瀧本頼明 矢野好彦 評議員 10名 事務局 常勤職員 2名	団体構成員及び加入条件等 梅若万三郎門下能楽師 職分 2名 準職分 12名 研修生 2名 師範 2名	
事務体制の担当	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 <input type="checkbox"/> 他の業務と兼任	本事業担当者名	塚本 忠男
経理処理等の 監査担当の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	経理責任者名	塚本 忠男

制作団体沿革	<p>梅若研能会の前身である梅若万三郎家の歴史は長く、およそ600年に遡る。発祥については諸説あるが、左大臣橘諸兄を祖とする。初世梅若万三郎は五十三世実の長男だが、弟の六郎に本家を譲り、現在の万三郎家を起こす。昭和3年1月研能会を設立し、以降昭和19年戦争激化のため休会するまで研能会の演能回数は155回を数えた。昭和21年染井松平家能舞台で再開し、以後今日まで毎月公演を継続している。昭和49年10月に財団法人に改組し、平成24年4月内閣府の公益財団法人の認定を受ける。</p> <p>●海外公演もベルギー、フランス、ドイツ、ラトビア、イギリス、ロシア等、多くの国々で催行してきた。</p> <p>現理事長は、梅若万紀夫(三世万三郎)</p>		
学校等における公演実績	<p>●平成28・29・30年度文化庁の「文化芸術による子供の育成事業」に出演団体として参加(令和元年度も巡回公演中)</p> <p>●平成21年から30年 幼児・小学生を対象に「事前講座付 親と子の能楽教室」を開催して来た。今年も8月に催行予定。演目は「鞍馬天狗」として、花見の場面の稚児役に小学生を当てる。</p> <p>(注)この事業は、一般財団法人伝統芸術振興会から承継 通算39回。</p> <p>●青山学院初等部 3年ごとにワークショップ、能公演を開催。前回は平成30年11月に能「土蜘蛛」、狂言「盆山」を国立能楽堂で催行した。</p>		
特別支援学校における公演実績	<p>●平成22年 埼玉県立本庄特別支援学校</p> <p>●平成23年 京都市立鳴滝総合支援学校</p> <p>●令和元年6月 青森県立八戸第一養護学校 (令和元年6月26日(水)実施)</p> <p>*これまでの特別支援学校は、鑑賞がメインの公演であったため、実施上で特別な苦労はなかった。</p> <p>本校は小中高の一貫校で、車椅子の生徒が多い学校。車椅子の生徒に舞台体験させたい校長先生の意向を踏まえて、源頼光役は車椅子、胡蝶役は歩行に杖を使う生徒を選び実技指導をした。両名とも不安を抱えながらも立派に舞台を勤めた喜びと充実感を持ったようである。</p>		
参考資料の有無	A	<p>申請する演目のチラシパンフレット等</p> <p>申請する演目のDVDまたはWEB公開資料</p> <p>※公開資料有の場合 URL</p> <p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>○有 ・ 無</p> <p>○有 ・ 無</p> <p>ID:</p> <p>PW:</p>
	Aの提出が困難な場合	<p>今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容のDVDまたはWEB公開資料</p> <p>※公開資料有の場合 URL</p> <p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>有 ・ 無</p> <p>ID:</p> <p>PW:</p>

公演・ワークショップの内容



【公演団体名 公益財団法人梅若研能会】

対象	小学生(低学年・中学年・高学年) ・ 中学生		
企画名	たいけんから学ぶはじめての能		
本公演演目 原作/作曲 脚 本 演出/振付	<ul style="list-style-type: none"> ● 能「船弁慶」観世信光作 5番目物 猛将物 太鼓物 典拠(よりどころ) 義経記 平家物語 源平盛衰記 ● 狂言「雷(かみなり)」和泉流 神鳴(かみなり) 大蔵流 <p style="text-align: right;">公演時間(100分)</p>		
著作権	制作団体が 所有	制作団体以外が所有する事 項が含まれる	(制作団体以外が所有す る事項が含まれる場合) 許諾の有無
演目概要	<p>能「船弁慶」のあらすじ (前場) 頼朝、義経の御仲不和により、義経はひとまず都を離れ、西国へ下ろすと淀川から船に乗り、津の国大物(だいもつ)の浦に着く(現尼崎(あまがさき)市西南の浜)。弁慶は、義経に同行してきた静御前に都に返るよう説得し、別離の宴を催す。</p> <p>(後場) 弁慶は、静との名残を惜しみ出発を延ばそうとする義経を説き伏せ船出する。しばらくすると、風が変わり荒海となり、壇ノ浦で義経に滅ぼされた平家一門の亡霊たちが波間に現れる。なかでも平知盛の怨霊は、義経を海底に沈めようと長刀を振りかざし義経に襲い掛かる。弁慶は打物技では敵わないと怨霊と義経の間に入り、数珠を揉み五大明王に必死に祈ると、夜が明ける頃漸く怨霊たちは調伏され、沖の彼方に消え失せる。</p> <p>「船弁慶」は、弁慶、義経(牛若丸)、静御前等多くの人が知っている人物が登場するので、生徒たちに受け入れ易い演目と考えている。 (公演では後場の場面を上演します)</p> <p>狂言「雷・神鳴(かみなり)」のあらすじ 都に住む藪医者(やぶいしゃ)がひと稼ぎしようと東国へ旅する途中、広い野原にでた。すると急に空が暗くなり、雷がガラガラと落ちて来た。雲の切れ目を見損なって地上に落ち、腰の骨を強く打った。治療を命じられた藪医者が、針を雷の腰に打ち込むと痛みが騒ぐ。やがて痛みが治り帰ろうとするので、藪医者はあわてて治療代を請求するが、雷は持ち合わせがないため、八百年にわたって雨風をコントロールして日照りや水害から守ることを約束して天に帰っていった。</p>		
演目選択理由	<ul style="list-style-type: none"> ● 義経の西国落ちを題材にした「義経記・平家物語」。平知盛は、「壇ノ浦」(現山口県下関市)の戦いで義経に滅ぼされた平家一門の恨みを晴らすために、大物の浦に怨霊となって現れる。「能 船弁慶」を通じて源平両家の盛衰の歴史を学ぶ。 ● 能の世界では大人の義経役を「子方」として子供が勤める決まりがあり、生徒の体験・参加に適した演目である。義経(子方)役の生徒は、能装束を付けて能楽師と共演する。(小学校は高学年)。 ● みどころ ① 義経主従が船出のあと、穏やかな海が一転して荒天になり、船頭が棹(さお)を使って押し寄せてくる大波を鎮める棹捌(さおさば)き。「えい、えい、えい。・・・波よ、波よ、静かにせよ・・・」のセリフ。 囃子も、「波頭(なみがしら)」の急テンポの鼓を打つ緊迫した雰囲気。 		

	<p>② 義経と怨霊知盛の修羅場、弁慶の五大明王への祈り、囃子の舞働(まいばたらき)のリズム等、場面展開のわかりやすさと演劇的なおもしろさ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 所作・セリフは、ワークショップ、公演当日も含めて能楽師が指導します。また、本番では、後見役をつけ安心して共演できるよう全面的にサポートします。 		
<p>児童・生徒の共演，参加又は体験の形態</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 狂言 独特の所作、笑い等の体験をします。(本公演時 全校生徒) ● 能面を付けて歩いてみよう。視野の狭さと、摺(すり)り足を体験します。(ワークショップで 3名ずつ2回に分けて) ● 太鼓を打ってみよう。(代表2名)太鼓方の能楽師が指導します。 ● ワークショップと本公演には「船弁慶」の詞章の一部を太鼓にあわせて謡う稽古をします。(全校生徒) ● 義経役(子方)を共演・体験します。 		
<p>出演者</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● シテ方 <u>梅若万三郎</u>・<u>梅若万佐晴</u>・<u>梅若 紀長</u>・<u>梅若 久紀</u>・<u>中村 裕</u> <u>青木 一郎</u>・<u>遠田 修</u>・<u>伊藤 嘉章</u>・<u>加藤 眞悟</u>・<u>八田 達弥</u> <u>長谷川晴彦</u>・<u>梅若 泰志</u>・<u>古室 知也</u>・<u>青木 健一</u>・<u>梅若 雅一</u> 根岸 晃一・塚本 忠男 梅若 紀佳 以上18名 (この中から公演期間によりシテ方11名を選定する。) ● ワキ方 野口 能弘・野口 琢弘・梅村 昌功・村瀬 提・村瀬 慧 囃方 成田 寛人・栗林 祐輔・<u>槻宅 聡</u>・田邊 恭資・飯富 孔明 鳥山 直也 住駒 充彦・岡本 はる奈・船戸昭弘・大倉慶之助・大倉栄太郎 亀井 洋佑・大川 典良 <u>徳田 宗久</u>・林 雄一郎 以上20名 (この中から公演期間により6名を選定する。) ● 狂言 高野 和憲・深田 博治・竹山 悠樹・内藤 連・飯田 豪 中村 修一・<u>山本 則重</u>・<u>山本 則孝</u>・山本 則秀 奥津健太郎 奥津健一郎 善竹大二郎 善竹富太郎 以上 13名 (この中から公演期間により3名を選定する) <p>* 下線は無形文化財総合指定保持者</p>		
<p>公演出演予定者数 (1公演あたり)</p>	<p>出演者: 20名 スタッフ: 1名 <u>舞台・運搬:</u> 2名 合計: 23名</p>	<p>機材等 運搬方法</p>	<p>積載量 1.2t 車長 4.6m 台数 1台</p>

【公演団体名 公益財団法人梅若研能会】

公演に当たっての 会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。																	
会場設営の所要 時間(タイムスケ ジュール)の目 安	前日仕込み(有・ 無) 会場設営の所要時間(30 分 程度) <table border="1" data-bbox="392 707 1433 824"> <tr> <th>到着</th> <th>仕込み</th> <th>本公演</th> <th>内休憩</th> <th>撤去</th> <th>退出</th> </tr> <tr> <td>時</td> <td>11 時～ 11 時 30 分</td> <td>13 時 30 分～ 15 時 10 分</td> <td>10 分</td> <td>15 時 30 分～ 16 時 00 分</td> <td>16 時 10 分</td> </tr> </table> ※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時 30 分から 100 分程度です。 *到着時間: WS 開演時間の 1 時間前 本公演 開演時間の 2 時間前						到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出	時	11 時～ 11 時 30 分	13 時 30 分～ 15 時 10 分	10 分	15 時 30 分～ 16 時 00 分	16 時 10 分
到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出													
時	11 時～ 11 時 30 分	13 時 30 分～ 15 時 10 分	10 分	15 時 30 分～ 16 時 00 分	16 時 10 分													
3	ワークショップ	10 人から 200 人																
	本公演	10 人から 600 人																
ワークショップ 実施形態 及び内容	<p>(能のワークショップ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶(よろしくお願ひします。ありがとうございました。) ・能楽について(お能の歴史、シテ、ワキ、お囃子(はやし)、狂言の役割) <ul style="list-style-type: none"> ● 演目の説明 能「船弁慶(ふなべんけい)」 ● 装束付けの体験 (モデルは先生) ● 能面を付けて歩いてみよう(すり足・視野の狭さの体験) 代表生徒6名 ● 「船弁慶」の詞章の一部を、能楽師とともに謡います。 義経役(子方)の稽古(けいこ) 義経が知盛の怨霊と戦う場面の稽古をします。太刀の扱い、乗船、下船等の所作を能楽師が実技指導します。 ● 船弁慶の「義経(よしつね)」役の選考 学校側に候補者6人の選抜を依頼。声の大きさ、所作の習得状態等を参考にして義経役の生徒を先生と相談して選定する 他の 5 名は太鼓の練習及び楽屋働き(揚幕等の手伝い)に起用する <p>(狂言のワークショップ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 公演の狂言終了後、狂言方による所作、動物の泣き声、笑い、セリフの練習等のワークショップを行う。 <p>(本公演前の能の最終稽古)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 義経役の生徒が装束(大口袴)を付けて稽古する ワークショップと公演までの期間にDVDにより練習するよう依頼している。初めての体験なので練度を高めることと、不安を取り除くために設けている。 ● 謡(うた)ってみよう 「船弁慶」の詞章を、謡出しのタイミングを含めて太鼓のリズム乗って合唱する。(全校生徒) ● 太鼓の稽古 代表生徒 2 名は、太鼓方の能楽師の指導で太鼓を打つ。他の生徒もバチ捌きの所作をする。 																	

<p>ワークショップ 実施形態の意図</p>	<p>始めて能を見る生徒たちに、ワークショップ 2 回の稽古で本公演での成功を目指しています。生徒たちの吸収力の早さを信じて、能の理解を深めようと参加・体験に重点を置いたプログラムとしました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶の大切さ 能楽師は始めと終わりには、必ず(「よろしくお願ひします。」「ありがとうございました。)」の挨拶をします。挨拶が基本です。 ・能の歴史、能楽堂の構造、演目(能・狂言)のあらましを、テキストにより説明します。 ・演者の役割 シテ、地謡(コーラス)、ワキ、囃子方(笛、小鼓、大鼓、太鼓)、後見、働キ等の役割の説明をします。 <p>● 装束付けの体験 「唐織」という女性用の装束を、男性の教師をモデルとして女性に変身していく過程を生徒の目の前で実演します。 (ワークショップでの装束付) (装束付けから能面を)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <ul style="list-style-type: none"> ● 能面を付けて「摺り足」の体験 「見え難い」、「バランスが取り難い」等を体験します。 ● 「船弁慶」の詞章を、囃子に合わせて能楽師とともに謡います。 ● 義経役の稽古(けいこ) 舞台上に登場する場面のセリフ及び所定の位置までの歩行(すり足)。セリフ・所作は能楽師がサポートします。 ● 始めて能を見る生徒たちが関心と興味を持つには、「観る」・「聴く」の他に「参加・共演・体験」が効果的と考えています。 <p>【具体的な参加・共演・体験】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「義経」の役に生徒を起用 ・ 「太鼓」2名 「謡」3名 この3名は、後見、幕上等の「楽屋働キ」も体験する <p>装束付けのモデルに男性教師 通常装束付けは、楽屋内でするので観客の目に触れることはない。当人にとっても貴重な体験です。</p>
<p>特別支援学校での実施における工夫点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 特別支援学校である認識に立ち、学校側から個別(視覚・聴覚)事情の聴取等、入念な打ち合わせをしたうえで対応します。 ● 令和の本年、車椅子から重度の障害者も含め 100 名ほどの生徒がいる養護学校の公演をした。車椅子の生徒への能装束の付け方、頼光と土蜘蛛の切り組み場面での車椅子の移動方等に工夫を凝らし、参加・体験の軸を維持して公演が出来たことは自信になりました。
<p>実施可能時期</p>	<p>実施可能時期スケジュール表をご確認ください。</p>

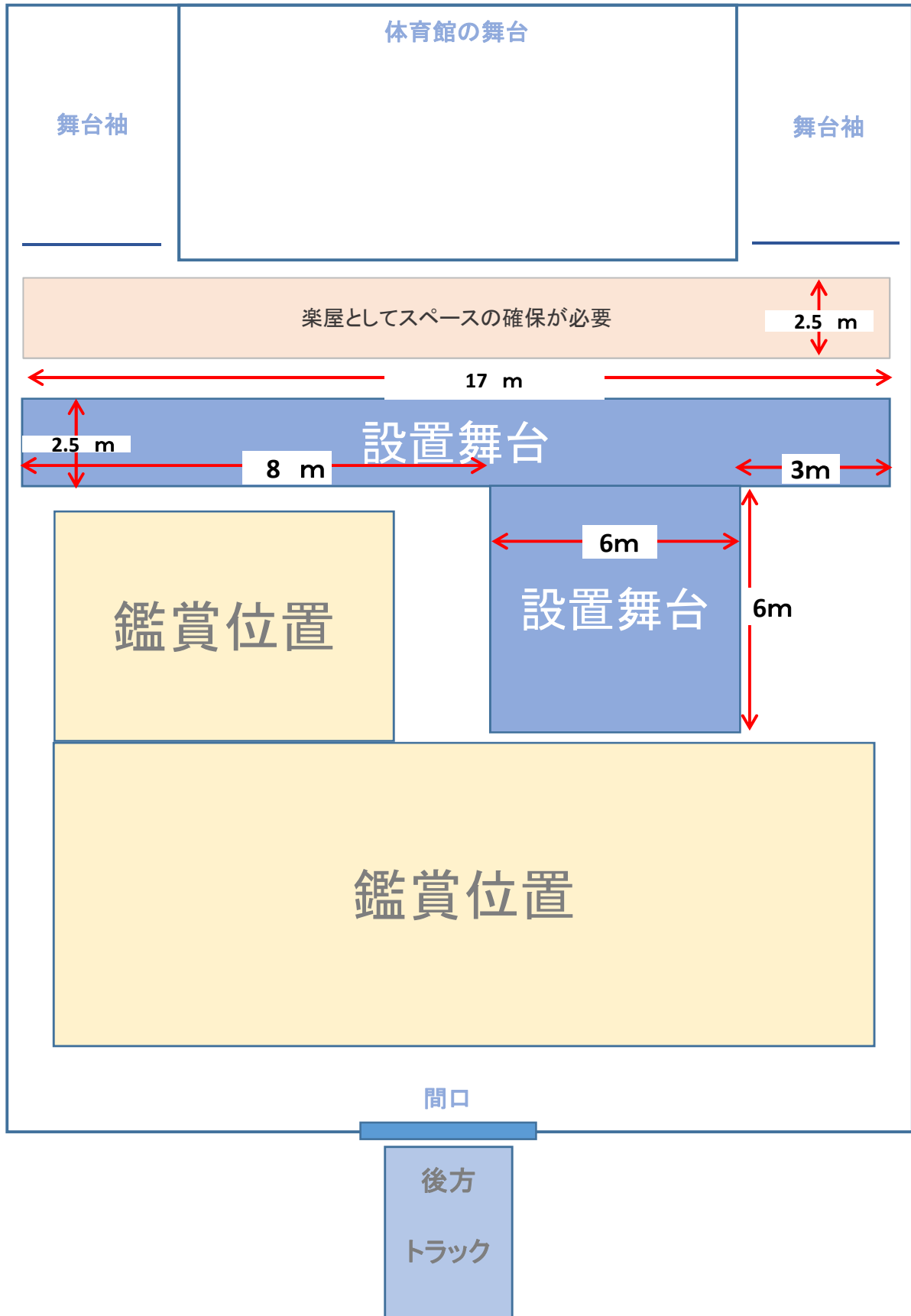
【令和2年度文化芸術による子供育成総合事業—巡回公演事業—実施条件等確認書①】

ID	B20	分野	伝統芸能	種目	歌舞伎・能楽	ブロック	B	区分	A区分
公演団体名	公益財団法人 梅若研能会				制作団体名	公益財団法人 梅若研能会			

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等							
控室について	可	必要数*	1室	条件	昼食用の部屋23名(舞台裏の楽屋スペースとは別に必要となります)				
搬入について	可	来校する車両の大きさと台数*			バン	1台	大型バス	1台	
	可	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			舞台資材搬入 バン(1t)1台				
	可	搬入車両の横づけの要否*			不要(雨天のみ、雨に濡れないような経路が必要)				
	可	横づけができない場合の搬入可能距離*			30m以内				
	可	搬入経路の最低条件			雨天の場合、校舎内を経路として使わせていただきたい。				
		理由			資材が濡れると舞台設営が不可となるため				
	—	設置階の制限*			問わない				
	可	搬入間口について 単位:メートル		幅	2M	高さ	2M		
WSIについて	可	参加可能人数			原則として500名程度まで(相談可能)				
	可	学年の指定の有無*			なし	指定学年*	なし		
	可	所要時間の目安 単位:分			100分				
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安をご参照ください。				
	可	鑑賞可能人数			500名程度とするが、学校の生徒数に応じて対応可能				
	可	舞台設置場所*			フロア				
	可	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル		幅	17M	奥行	11M	高さ	指定なし
	可	体育館の舞台を使用する場合の条件			舞台袖スペースの確保*		要(空きスペースがなくても実施可能)		
	可				舞台袖スペースの条件*		右袖部分に多少あれば良い		
	—				緞帳*	不要	バトン*	不要	
	—	遮光(暗幕等)の要否*			不要	理由			
	—	ピアノの調律・移動の要否		指定位置へのピアノの移動*	不要	※指定位置は会場設置図面に御確認ください。			
	—			ピアノの事前調律*	不要				
	可	フロアを使用する場合の条件		バスケットゴールの設置状況*	格納されていれば可				
	—	公演に必要な電源容量			特に必要なし		※主幹電源の必要容量		
	その他特記事項								
	舞台設置の広さは会場に応じて柔軟に対応する。								

会場図面(表記単位:メートル)

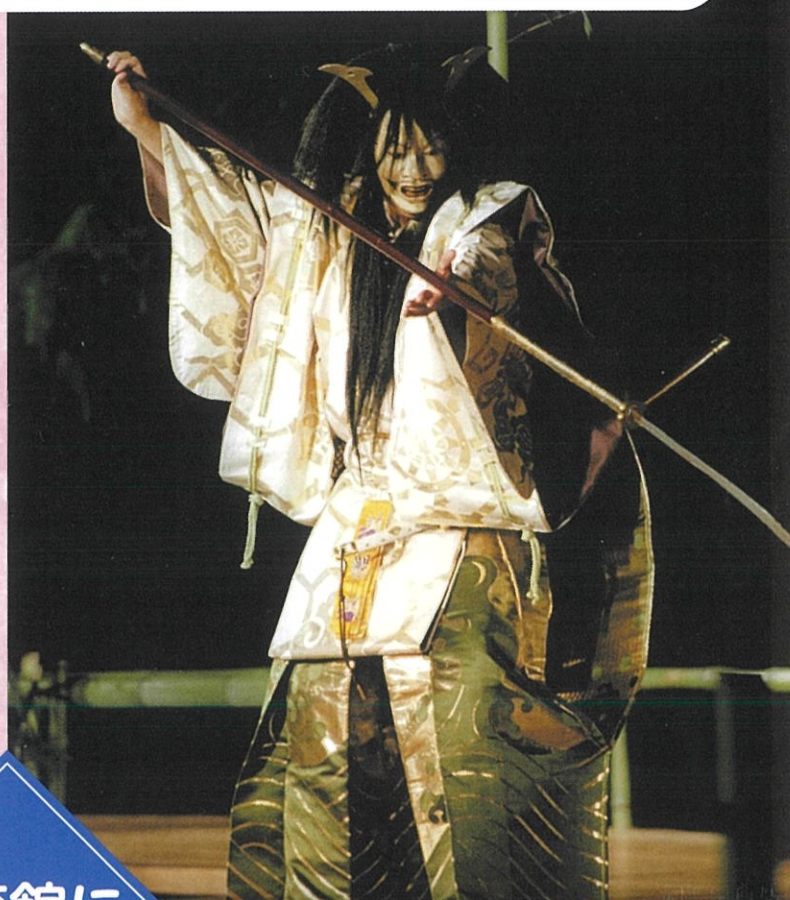


搬入間口について	幅	2M	高さ	2M
搬入車両の横づけの要否	不要(雨天のみ、雨に濡れないような経路が必要)			
横づけができない場合の搬入可能距離	30m以内			

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

体験から学ぶ
はじめての能

体育館に
能舞台が
出現!



「船弁慶 前後之替」シテ 梅若万三郎 撮影 前島 吉裕

のう ふな べん けい きょうげん かみなり
能「船弁慶」狂言「雷」・「神鳴」
かみなり

- 小学校・中学校を対象に本物の舞台に触れる機会を提供し、子供たちの豊かな発想力やコミュニケーション能力の育成と鑑賞能力の向上につなげるための事業です。
- 開催校を巡回して体験を主体とした「ワークショップ」と「能・狂言」公演を二日間に行います。
- 狂言の演目 和泉流は「雷」大蔵流は「神鳴」と表記されます。



「雷」シテ 野口 隆行 アド 奥津健一郎 撮影 渡辺 国茂

【能楽ワークショップと能・狂言公演】

小学校・中学校等で一流の文化芸術団体による能楽巡回公演を行うことにより、子供たちの豊かな発想力やコミュニケーション能力の育成と鑑賞能力の向上につなげることを目的とし、開催校を巡回して体験を主体とした「ワークショップ」と「能・狂言公演」を二日間にわたって行います。今回の公演は、狂言「雷」・「神鳴」と能「船弁慶」です。

能楽とは

能楽とは、「能」と「狂言」を合わせて能楽といい、600年以上前から続いている日本の伝統芸能で、2001年にユネスコの無形文化遺産に指定されました。能は能面を付けた主役の「シテ」、脇役の「ワキ」、狂言の役者が担当する「アイ」などの登場人物と、楽器演奏(笛 小鼓 大鼓 太鼓)を担当する「囃子」、合唱(コーラス)を担当する「地謡」とで繰り広げる独特の歌舞演劇です。

◆ワークショップ

<公演の前に学校に伺い、参加体験型の事前の講座です。>

- 能はいつごろ、だれが作ったのか？
- 能の役者の役割 シテ、ワキ、囃子、アイ、地謡など
- 摺り足、能面を付けての摺り足(視野の狭さ)、謡(船弁慶の一部)の体験
- 能「船弁慶」の義経の練習(生徒にお願いする予定です)

◆演目のあらまし

●狂言「雷・神鳴(かみなり)」のあらすじ

都に住む藪医者(やくい)がひと稼(ひとと)ぎしようと東国へ旅する途中、広い野原にでた。すると急に空が暗くなり、雷がガラガラと落ちて来た。雲の切れ目を見損(みと)なって地上に落ち、腰の骨を強く打った。治療を命じられた藪医者が、針を雷の腰に打ち込むと痛みが騒(さわ)ぐ。やがて痛みが治り帰ろうとするので、藪医者はあわてて治療代を請求するが、雷は持ち合わせがないため、八百年にわたって雨風をコントロールして日照りや水害から守ることを約束して天に帰っていった。

●能「船弁慶」のあらすじ

源氏と平家の争いの物語で、多くの人が知っている義経や弁慶が登場するわかりやすい能です。西国へ行くために、船を海上に出すと最初は晴れていた空に黒い雲が・・・間もなく恐ろしい暴風が吹き、海が荒れて船は大波に漂う木の葉のよう。船頭(アイ)が荒れ狂う海で波風と格闘する場面が見ものです。壇ノ浦(山口県下関)で義経に滅ぼされた平家一族の平知盛の怨霊(うらみ)が現れて義経(子方)に襲(おそ)い掛(か)かります。怨霊は、弁慶の必死の祈りによって、夜が明けるころ沖の彼方へと姿を消すのでした。



ワークショップ(豊川市東部小学校)

VI 令和2年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野, 種目 (該当する種目に○を付してください。)

分野	種目
【音楽】	合唱, オーケストラ等, 音楽劇
【演劇】	児童劇, 演劇, ミュージカル
【舞踊】	バレエ, 現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, <input checked="" type="checkbox"/> 邦楽, 邦舞, 演芸

申請する区分に, ○を付してください。 A区分のみ・ A区分とB区分の両方・ C区分複数申請の有無(該当する方に○を付してください。) あり・なし

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

- (1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能
 (2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能
 (3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能
 (4) その他()

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	ゆうげんがいしゃ あーとういる ----- 有限会社アートウィル		
代表者職・氏名	代表取締役 平沼仁一		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒158-0082 東京都世田谷区等々力 5-15-3 (最寄り駅/東急大井町線「尾山台」駅)		
電話番号	03-5707-1711	FAX番号	03-5707-1712
ふりがな 公演団体名	とうきょうだけきだん ----- 東京打撃団 (和太鼓)		
代表者職・氏名	団長 平沼仁一		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒158-0082 東京都世田谷区等々力 5-15-3 (最寄り駅/東急大井町線「尾山台」駅)		
制作団体 設立年月	1993年 3月		
制作団体 組織	役職員		団体構成員及び加入条件等
	代表取締役社長 平沼仁一 取締役 村岡 (平沼) 尚子		代表兼構成演出 1名 / 制作&経理 2名 篠笛奏者兼音楽監督 1名 / 太鼓奏者 6名
事務体制の担当	<input checked="" type="checkbox"/> 専任・他の業務と兼任	本事業担当者名	村岡 尚子
経理処理等の 監査担当の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無	経理責任者名	服部 大次郎

<p>制作団体沿革</p>	<p>1992年に代表の平沼仁一がフリーのプロデューサーとして独立。友人からの依頼により浦和のギャラリー『楽風』の開設プロデュース&イベント企画を始め、同時に前職（和太鼓集団『鼓童』制作）を見込まれて、篠笛奏者や和太鼓奏者にマネージメントを頼まれるようになる。</p> <p>翌1993年に法人格を取得。 制作に村岡尚子（ホールのオープニング・コンサートなど多ジャンルコンサートの企画制作を前職とする）が加わり、有限会社アートウィルとして登記。</p> <p>和太鼓を中心としたコンサートやイベントの企画制作・舞台協力及び和太鼓奏者や篠笛奏者、尺八奏者、三味線奏者など、純邦楽分野の個人の実演家への制作面での支援・リサイタルの企画制作等を行うほか、必要に応じて和太鼓関連の楽器レンタル（=イベント等での和太鼓調達など）、実演家派遣も開始。</p> <p>1995年には和太鼓集団『東京打撃団』を結成し、現在に至るまでマネージメント事務所として公演活動を展開中。</p> <p>2002年から10年間、和太鼓の啓蒙・普及・育成活動の一環として「東京国際和太鼓コンテスト&ワークショップ」の統括プロデュース業務に携わる。審査員に、石井眞木氏（その後他界）、麿赤兒・山本寛齋・高田みどり氏、講師に齋藤孝氏他を迎えるなど、広い視野で和太鼓界全般のグレードアップを牽引すべく尽力するほか、川崎市内小学校等にて継続的に小学生に太鼓指導も行っている。</p> <p>2014年、法人登記簿謄本の「目的」項目を実務内容に合わせて修正。 和太鼓集団『東京打撃団』のマネージメントを中心に、平沼代表の、太鼓界における幅広い人脈を活かして、多角的に和太鼓の演奏活動の継承、新境地開拓、および後進の育成に貢献している。</p>
<p>学校等における 公演実績</p>	<p>国立劇場 第二回伝統音楽鑑賞教室 石川県高文連文化教室（H29/4 公演・H28/2 公演・H27/2 公演・それ以前 5 公演） 長野県北信地区&中信地区高等学校芸術鑑賞会（14 公演） ひたちなか市芸術鑑賞会（中学校/7 公演） 横浜かなっくホール事業「神奈川区中学校音楽講座」（4 公演）</p> <p>桐蔭学園中学校・高等学校、和洋九段女子中学校・高等学校、 錦城学園高等学校、立教新座中学校、東京家政大学附属女子中学校 日本大学附属第二中学校・日本大学附属第三中学校・日本学園中学校・高等学校 他の単独の私立中学校・高等学校</p> <p>神奈川県立横須賀工業高等学校、都立つばさ総合高等学校 栃木県立大田原女子高等学校、愛知県立小坂井高等学校 埼玉県立吉川高等学校、四日市立四郷高等学校、静岡県立静岡南高等学校 世田谷区立玉川中学校、江東区立第三大島中学校、平塚市立山城中学校 京都府園部町立園部中学校、平塚市立江陽中学校、師勝町立訓原中学校、 江東区立越中島小学校、川崎市立宮崎小学校 他の単独の公立小学校・中学校・高等学校 他</p> <p>※ 小学校では、打撃団メンバーで構成された小編成の別ユニット名でも活動。</p>

特別支援学校における公演実績	大田区矢口養護学校/福島県立相馬養護学校 他 その他、合同の芸術鑑賞会では養護学校、ろう学校、盲学校等と一緒に参加している。		
参考資料の有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無
		申請する演目の DVD または WEB 公開資料	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	DVD を提出 Web 第 1 部(休憩まで) https://youtu.be/4j63zqWlhB0 Web 第 2 部(休憩後) https://youtu.be/eFgcRqtgc88
	※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID:無し PW:無し	
	A の提出が困難な場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料	<input type="checkbox"/> 有 ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	
※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード		ID: PW:	

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 東京打撃団】

対象	小学生 <u>低学年・中学年・高学年</u> ・ <u>中学生</u>		
企画名	和太鼓 東京打撃団公演		
本公演演目 原作／作曲 脚本 演出／振付	<p>1) 萬来〔富田和明／作曲〕 2) 焔迅〔横山亮介／作曲〕</p> <p>3) 輪〔露木一博／作曲〕</p> <p>※4) 空透彩〔内藤哲郎／作曲〕……小学校の場合は「お馴染みの曲のコーナー」</p> <p>5) X〔高田淳／作曲〕</p> <p>6) 《日本の伝統的な祭りの太鼓打法の紹介》 【休憩】 《太鼓体験/発表コーナー》</p> <p>7) 碧空〔村山二郎／作曲〕 8) 大太鼓〔加藤拓哉／作曲〕</p> <p>9) 篠笛独奏〔村山二郎／作曲〕～華疾風〔加藤拓哉／作曲〕</p> <p style="text-align: center;">公演時間（90分）</p> <p>※提出したDVDは本事業の令和元年度版です。 生徒さんの状況を見た感じにより、トイレ休憩は少し後半にずらしたいと思えます。</p>		
著作権	—	制作団体が所有	<input type="radio"/> 制作団体以外が所有する事項が含まれる <input checked="" type="radio"/> 有 <small>(制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾の有無</small>
演目概要	<p>◆楽器や伝統的な太鼓打法を紹介しながら、舞台公演で演奏をしている東京打撃団のオリジナル曲を鑑賞していただきます。又、「口唱歌」という昔より慣例の方法にて太鼓のリズムを参加生徒さん全員にその場で覚えて唱えていただきながら（状況に依っては、合いの手参加）、会場にいる生徒さんの中から代表で十数名に舞台上で実際に太鼓演奏を体験していただきます。体験より発表演奏を希望される場合には、事前ワークショップで行なった太鼓曲を舞台上で発表します。</p> <p>いずれの場合も、東京打撃団のメンバーが生徒さんの間に入り各種楽器で演奏参加しますので、楽しく賑やかな舞台演奏が出来ます。</p> <p>衣装は、中学校では和の要素を取り入れた現代的オリジナル衣装ですが、まだあまり法被&股引きスタイルに馴染みの薄い小学生に対しては和衣装着用にて演奏します。また、小学校では、子供達が理解し易いお話の仕方でのコミュニケーションを取りながら公演を進めます。</p> <p>【演目】</p> <p>1) 萬来（ばんらい）…かつぎ桶太鼓の動きのある曲で会場後方から登場します。かつぎ桶太鼓は桶太鼓に帯（ストラップ）を付けて肩から提げて動きながらリズムを刻む打法で現在とても人気がありますが、青森県のねぶた囃子等がその源流にあります。そのスタイルにて新たな曲を創りました。</p>		



- 2) 焔迅 (えんじん) … 桶太鼓や締太鼓を組んだセット太鼓を3~4名で、スピード感ある演奏を行います。「セット太鼓」は最近の和太鼓の舞台では盛んに用いられる太鼓演奏のスタイルですが、「焔迅」ではバチの動きがピストンのようにドンドン加速して行き、低学年の生徒さんも釘付けとなる一曲です。現代的な演奏を楽しめます。



- 3) 輪 (りん) … 1台の長胴太鼓を両面から二人で打つ、八丈島の太鼓等で有名な打法をアレンジした横打ち曲です。高めの×台に乗せて演奏します。二人の打者の持ち味を生かした掛け合いが見所です。



- ※4-1) 空透彩 (くうとうさい) … 締太鼓、宮太鼓、桶太鼓、チャップパによる座奏アンサンブル曲で、それぞれの楽器の音を大切にしながら複雑なリズムを組み合わせた、太鼓の新しい可能性を追い求めた曲です。

(中学校公演のみ)

- ※4-2) お馴染みの曲のコーナー…アニメ『もののけ姫』のテーマ曲をお話しを交えながら篠笛で演奏します。日本古来の楽器で奏でる、お馴染み曲の音色体験に加え、途中から舞台袖にて太鼓打ちが鳴り物をならし、楽器が加わる事で奥行きと情緒感のある演奏となることを実感してもらいます。

(小学校公演のみ)

- 5) X (くろす) … ガーデニング用の鉢他を使用した創作太鼓の、軽妙なタッチの楽しい演目です。ショートコント的な動きを入れて会場の雰囲気のを和やかにしながら(低学年の子供達の笑い声を場に合わせて受けながら)、早技のバチ捌きも楽しめる曲です。自分達で創った楽器でも舞台上げの事が出来る事にも気付いてもらえたら嬉しいです。



6) 《日本の伝統的な祭りの太鼓打法の紹介》

東京都三宅島に伝わる『神着の木遣り太鼓（通称『三宅太鼓』）と青森県の『登山囃子』『下山囃子』、そして埼玉県の『秩父屋台囃子』の三つのお祭りの太鼓打法の簡単な解説を、実演と楽器の紹介を行ないながら進行します。和太鼓の公演で使用される主な楽器は、ここでご紹介出来ます。

【休憩6～7分】

《生徒による太鼓体験 or 発表コーナー》

色々な太鼓打法をご紹介した後で、トイレ休憩を挟み、生徒さんに実際に太鼓を叩いていただきます。

「口唱歌」で太鼓のリズムを生徒さん全員にその場で覚えて唱えていただきながら（状況により、合いの手応援参加の場合も有）、その全員の合唱の応援の中で12名～18名程度の生徒さんに舞台に出て実際に太鼓を叩いていただきます。

事前ワークショップに参加した生徒さんの中から代表者を選ぶ場合には発表会形式にて、より多くの生徒さんに太鼓に触れて貰う事を主にする場合には体験形式にしますので、学校側の希望に応じて行ないます。

尚、楽器数などが可能な範囲で発表の生徒さん数を多めにする事も可能です。また、和太鼓部がある学校では、日頃生徒さんが練習している演奏内容を取り入れながら発表出来るようにしますので、自信を持って楽しく出来、今後の練習にもプラスの発表体験になると思います。

（※体験者への準備運動を兼ねた、生徒全員でのストレッチコーナー有）

- 7) 碧空（へきくう）…篠笛のメロディーに乗せて、タイゴング、トーラと太鼓で奏でる叙情豊かな美しい曲です。この曲で使用する「タイゴング」と「トーラ」も、各音階を持つサイズの違う単体の打楽器を組み合わせるとメロディーを奏でられるように我々が創意工夫した楽器です。和太鼓奏者がアジアの金属打楽器で日本の情緒を表現します。



- 8) 大太鼓…迫力ある大太鼓（平胴）の演奏です。直径1m近い大太鼓を、表打ちと裏打ち（=地のリズムを刻む）の2名で演奏します。和太鼓の特徴である「身体で体験出来る音」を一番感じる事が出来る演目です。

9) 笛独奏～華疾風 (はなはやて) …日本の繊細な情感を表現する篠笛の演奏に続き、和太鼓奏者全員による大編成の組太鼓アンサンブルをご披露します。演奏をしながらフォーメーションを変えて行き、最後では舞台前面横一列に太鼓を並べて連打する、とても躍動感ある華やかなフィナーレ曲です。



演目選択理由

大小様々な太鼓を使用し、大音響から繊細な演奏まで、日本の伝統楽器である和太鼓というものが、比較的単純なリズム楽器であるにもかかわらず、多彩な表現ができることを感じてもらえるよう、横打ち/伏せ打ち/座奏(中学のみ)/セット太鼓等色々な打法と編成(=楽器の組み合わせ)の演目を散りばめました。又、日本全国に代々伝わってきた伝統的な打法から特徴も人気もある代表的なもの(秩父屋台囃子/神着の木遣り太鼓/登山囃子他)を選択して紹介し、改めて私たちの根源にある日本的なリズムとその味わいや魅力に振れて温故の大切さを、又、それらを元に発展して来た現代的な打法やリズム等が加わる事により、日本の伝統楽器やそれらを使用した演奏が過去だけのものではなく、過去から現代に繋がり、いつの時代にも新たな要素や工夫が加わったりすることにより、各時代に活着していること(知新)も伝えたい演目となっています。

児童・生徒の共演、参加又は体験の形態

児童・生徒さんの本公演への参加は2種類の方法から選択できます。いずれも本公演中盤の《伝統的な太鼓打法の紹介》の後に、生徒さんの代表12~18名にステージに上がっていただき、和太鼓を叩いて東京打撃団のメンバーと一緒に演奏をしていただきます。

1) 発表会形式

事前ワークショップでは、福井&石川県に伝わる「三つ打ち」のリズムを元にした曲で太鼓の演奏を体験していただきますが、その太鼓演奏の練習の成果を、生徒さんに本公演で発表していただきます。

公演当日も生徒さん全員による口唱歌練習時にリズムの復習が出来るようにいたしますし、東京打撃団メンバーも生徒さんの間に入って、生徒さんが自信を持って演奏出来るよう誘導、共演いたします。

事前ワークショップを、より進展させたい学校に向けています。


(※本公演当日に予めリハーサルを希望される場合には調整いたします。)

2) 体験形式

より多くの生徒さんに太鼓を体験してもらいたいと考えている学校に向けています。事前ワークショップに参加した生徒さんでも構いませんが当日初めて太鼓に触れる生徒さんも参加可能で、秋田県の「西馬音内盆踊り」の太鼓リズムを口唱歌で覚えながら舞台に出て実際に太鼓を体験していただきます。東京打撃団メンバーがバチの持ち方や構え方なども指導しながら一緒に叩きます。また生徒さん全員による口唱歌も同じように行ないます。

どちらの形式でも、舞台上がれない生徒さんには、口唱歌 or 手拍子にて一緒にリズムを刻むか合いの手応援かで参加していただき、会場全体が一体感を持てるようにしたいです。

<p>出 演 者</p>	<p>笛 & 和太鼓 ……村山二郎 和太鼓……田川智文・加藤拓哉・横山亮介・露木一博・佐藤晃弘</p>		
<p>公演出演予定者数 (1公演あたり)</p>	<p>出 演 者 : 6 名 ス タ ッ フ : 2 名 合 計 : 8 名</p>	<p>機 材 等 運搬方法</p>	<p>積載量 2 t ~ 2 t ロング 車 長 5 ~ 6 m 台 数 1 台</p>

公演に当たっての会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。																	
会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安	前日仕込み(有・ 無) 会場設営の所要時間(4 時間程度) <table border="1" data-bbox="391 936 1433 1019"> <thead> <tr> <th>到着</th> <th>仕込み</th> <th>本公演</th> <th>内休憩</th> <th>撤去</th> <th>退出</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9時</td> <td>9時~12時30分</td> <td>13時30分~15時</td> <td>6~7分</td> <td>15時~16時30分</td> <td>16時30分</td> </tr> </tbody> </table> ※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。						到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出	9時	9時~12時30分	13時30分~15時	6~7分	15時~16時30分	16時30分
到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出													
9時	9時~12時30分	13時30分~15時	6~7分	15時~16時30分	16時30分													
児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	120名(1学年)程度まで。																
	本公演	850名程度まで。会場(体育館)の広さによる。																
ワークショップ実施形態及び内容	<p>事前のワークショップでは、太鼓演奏のデモンストレーションを交えながら、楽器の紹介やバチの持ち方などの説明をいたします。 (生徒さんは床に直座り。)</p> <p>その後、身体をほぐすためのストレッチ等を行ってから中くらいの大きさの宮太鼓の伏せ打ち(床に置いた太鼓台の上に、太鼓の打面を上にしてセットし、上から打ち降ろして演奏する形態)をメインとしたシンプルな打法にて、多くの生徒さんに実際に太鼓を叩いていただきます。 (参加生徒数は1クラス~1学年まで応相談。)</p>  <p>参加者全員立って太鼓毎に列をつくり、一区切りのリズム毎に、ドンドン交代して何度も順番が巡ってくるようにしながら、太鼓という楽器になるべく多く親しんでいただけるように実際に叩ける時間を多く取ります。 バチは生徒さん間で次々バトンして行き、コミュニケーションを取りながら楽しく体験できるようにします。</p>																	

色々な一区切りのリズムを何種類も体験しながら繋いでいくと、いつの間にかひとつの曲（「三つ打ち」を元にした曲）となっており、最後には交代で舞台発表者と観賞者の立場で今まで叩いて来たものを発表し合います。
（※参加生徒数に応じてグループ分けします。）

発表する生徒さんには、舞台人になったつもりで最初の礼から形式的な動きを大切にしたバチ構えまでの流れ～演奏～演奏後のバチ納めと最後の礼まで気持ちを引き締めて演奏するように指導し、鑑賞する生徒さんには拍手で演奏者を迎え、演奏を盛り上げ、演奏した友達の頑張りを称えることにより演奏に参加して貰いつつ、今まで自分も叩いていた演奏内容を客観的に観てもらいます。

※本公演の生徒さん参加コーナーにて、事前ワークショップに参加した生徒さんの発表（東京打撃団メンバー助演）を希望される学校においては、この段階で12～18名の生徒さんを、自主性を重んじながら選び、その生徒さんだけで1回演奏を披露する時間を設ける事も出来ます。（但し、ワークショップの時間が少ない場合を除く。尚、本番までの練習のために映像をご希望でしたら、この部分のみビデオ収録可能です。）

最後に再び全員でストレッチを行ない、その後に生徒さんの感想を聞いたり、質問に答えたりします。

- 上記の流れを進行する中で、生徒さんの演奏休憩を兼ね、「モンゴルの草原で太鼓の音がどの位遠くまで聞こえるか実験してみた話し」などの太鼓に纏わる体験話を挟んだり、太鼓打ちによるミニ演奏披露を挟んだりいたします。

ワークショップ
実施形態の意図

和太鼓の基本的なことを押さえながら、太鼓演奏の高揚感や楽しさの体感を通して、伝統楽器としての「和太鼓」をより身近に感じていただきたいです。和太鼓に興味を持ち好きになって貰うことが、将来の芸術家の育成や芸術鑑賞能力の向上にとって、とても大切だと考えております。

そして、ワークショップを通して、和太鼓の曲は色々なリズムの組み合わせにより成り立っていることに改めて気づき、今後のリズム遊び（遊びの中での上達）や打楽器演奏のほか、将来の創作意欲に繋がれば嬉しく思います。

また、説明を聞いているだけでなく実際に沢山叩くことにより、太鼓演奏が身体全体を使って演奏すること、バチで打った反動が大きいこと、張られた皮の伸びが大きな振動を起こし大きな音が出ること等楽器への理解も深まり、演奏鑑賞への感度も高まります。

本公演での東京打撃団の演奏も、ワークショップで使用したのと同じ楽器を使って演奏を行ないます。演奏者も事前ワークショップで顔なじみとなっているメンバーが出て来ます。発表形式での演奏も体験済みとなりますので、本公演では、より身近な気持ちで鑑賞し、緊張し過ぎないで共演や体験が出来る事と思われれます。

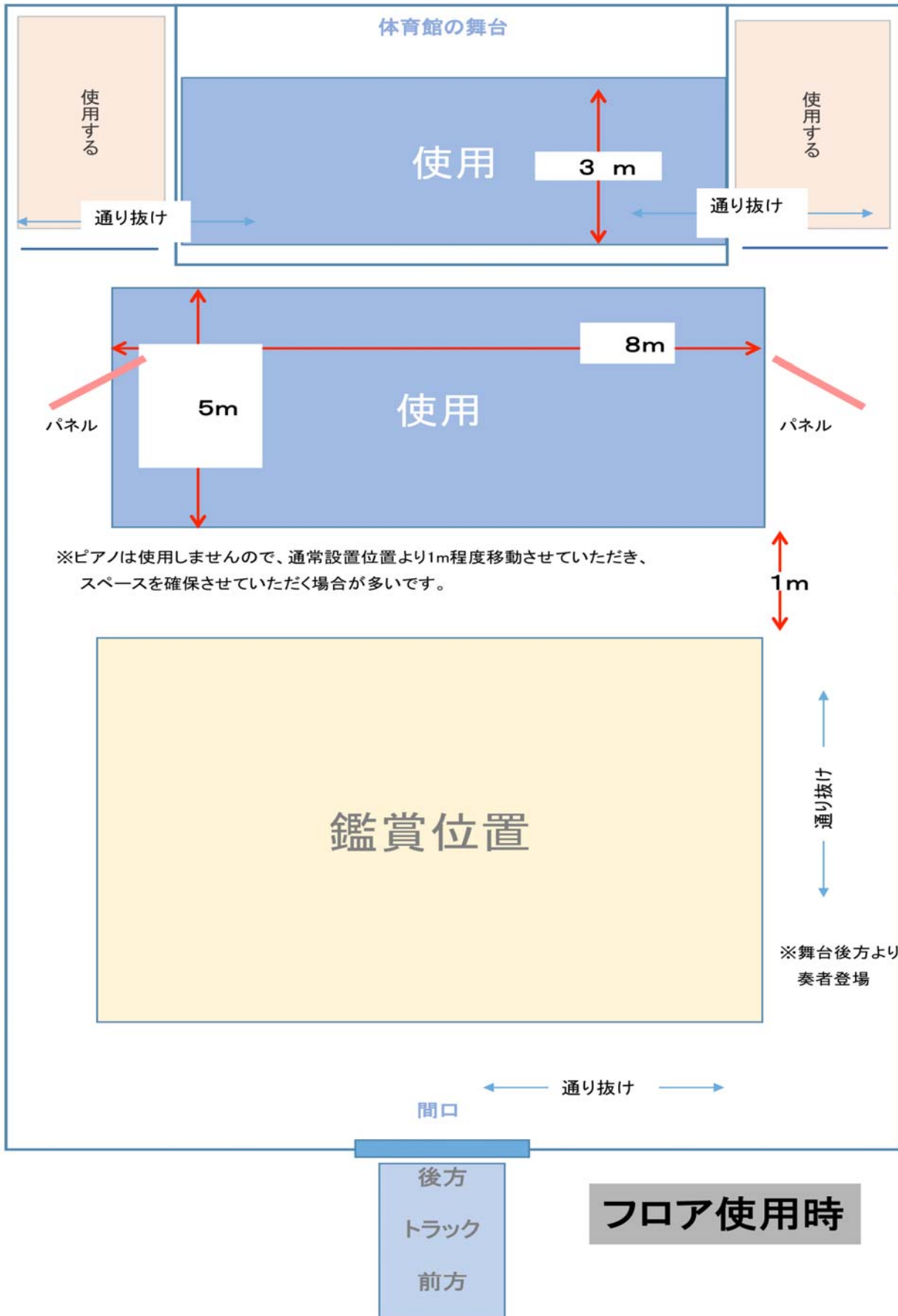
特別支援学校での実施における工夫点	和太鼓は身体で感じることの出来る音楽ですので、鑑賞やワークショップ自体は大きな変更はしなくても問題ないと思っています。ただ、事前に学校側からの要望や生徒さんの状況などをお伺いし、状況に合わせて、特定の奏法の紹介や生徒さんによっては難しそうな体験の代わりに、分かり易い太鼓の紹介や体験とし、音圧を体感していただきながら、太鼓の魅力を味わっていただけるようにアレンジを加えます。
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。

【令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	B21	分野	伝統芸能	種目	邦楽	ブロック	B	区分	A区分
公演団体名	東京打撃団(和太鼓)				制作団体名	有限会社 アートウィル			

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等							
控室について	可	必要数*	1室	条件	体育館に近く、カーテンのある部屋が希望です。				
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数*			2tトラック	1台	バン	2台	
	不可	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			2tトラック				
	可	搬入車両の横づけの要否*			要				
	可	横づけができない場合の搬入可能距離*			10m以内				
	可	搬入経路の最低条件			<ul style="list-style-type: none"> 出来る限り階段のない経路が望ましい。 屋根のある経路が望ましい。 				
	/	理由			<ul style="list-style-type: none"> 大きくて重い太鼓群を搬入するため。 				
	可	設置階の制限*			エレベーターの設置等があれば2階以上も可				
	可	搬入間口について 単位:メートル		幅	1m以上が望ましい	高さ	2m位		
WSについて	可	参加可能人数			120名(1学年)程度まで。				
	可	学年の指定の有無*			なし	指定学年*	なし		
	可	所要時間の目安 単位:分			90分程度				
本公演について	/	会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安をご参照ください。				
	可	鑑賞可能人数			850名程度まで。会場(体育館)の広さによる。				
	可	舞台設置場所*			ステージ上・フロアの両方				
	可	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル		幅	10m程度	奥行	8m程度	高さ	3m以上
	不可				舞台袖スペースの確保*		要		
	不可	体育館の舞台を使用する場合の条件			舞台袖スペースの条件*		袖に荷物が少ない状態(要・スペース)		
	—				緞帳*	不要		バトン*	不要
	可	遮光(暗幕等)の要否*			要	理由	太陽がまぶしい時のみ遮光		
	可	ピアノの調律・移動の要否		指定位置へのピアノの移動*	要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。			
	—			ピアノの事前調律*	不要				
	可	フロアを使用する場合の条件		バスケットゴールの設置状況*	格納されていれば可				
	—	公演に必要な電源容量			※主幹電源の必要容量				
	その他特記事項								



搬入間口について	幅	1m80cm (最低0.9m)	高さ	2m
搬入車両の横づけの要否	要			
横づけができない場合の搬入可能距離	10m以内			

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。



TOKYO DAGEKI DAN

田川智文



加藤拓哉



横山亮介



露木一博

村山二郎

佐藤見弘

懐かしくて新しい和太鼓アンサンブル、東京打撃団。
圧倒的な音圧と、繊細な演奏で楽しく舞台を駆けめぐる！

東京打撃団は、プロデューサー平沼仁(鬼太鼓座)鼓童在籍)を代表として1995年に結成された和太鼓音楽集団。
形式や慣習にとられない新しい時代の感性によって「太鼓」の持つ可能性を追求し、太鼓アンサンブルの魅力あふれるステージを展開している。
演奏活動として、国立劇場の「日本の太鼓」公演を始め、各太鼓フェスティバル、全国公立文化施設の主催事業、高等学校芸術鑑賞会、イベントへの出演のほか、東宝映画「のぼうの城」・東映映画「凶気の桜」等への映画出演、舞台の劇中音楽への参加、「EXILE」全国ツアーでの太鼓演奏参加のほか、「ザ・コンボイ・シヨウ」、「バグズアンダーグループ(ダンス)」、「劇団EXILE」、「ミュージカル刀剣乱舞」等の舞台への太鼓指導&楽曲提供をするなど、活動の場を拡げている。
海外では、1998年のフランスステフリカツアー(国際交流基金主催)、「FIFAワールドカップフランス大会閉会式」での次期開催国代表としての演奏披露、

2000年イギリスを中心としたヨーロッパツアー(ベルギー/フィンランド)及び、ハノーバー EXPO2000(ドイツ)の JAPANESE DAY 公式催事への参加
2003年「ロシアにおける日本文化フェスティバル2003」
公式オープニング催事としてのモスクワ&サンクトペテルブルク公演、
2004年カリブ諸国ツアー(バルバドス/キューバ/ドミニカ共和国)、
2007年東南アジアツアー(タイ/マレーシア/ブルネイ)、
2010年上海万博日本館ステージでの演奏、
2014年メキシコツアー(中南米最大の国際芸術祭「セルバンテス」国際芸術祭)ほか)を行なっている。
国内外で活躍の幅を拡げ、2015年5月に結成20周年記念公演を世田谷パブリックシアターで開催した。
高い演奏技術に裏打ちされた音楽感覚と視覚に訴える総合的な構成演出、「太鼓」の新たな魅力を発見出来る舞台芸術を目指している。



宣伝写真/藤田真郷・高見直樹

宣伝デザイン/野村高志+KACHIDOKI

[東京打撃団ホームページ]
<http://dagekidan.com>

演 目

1 萬来

あおもりけん ばやし つか おけ
青森県のねぶた囃子などで使われている「かつぎ桶
たいこ ねほんじゅう ひろ う じゅう うご まわ
太鼓」。日本中に広まった打ちながら自由に動き回
れるこのスタイルでオリジナル曲を創りました。
とみだかずあき/さつきよく
(富田和明/作曲)

5 X

よう はち き いた しょう じぶん
ガーデニング用の鉢と木の板を使用して自分たちで
つく がっき えんそう けいみょう たの きよく
創った楽器で演奏します。軽妙なタッチの楽しい曲
となりました。(高田淳/作曲)

9 篠笛独奏～華疾風

せんさい じょうかん ひょうげん にほん でんとうがっき「しのぶえ」 たんどくえんそう つづ たにんずう くみだいに
繊細な情感を表現する日本の伝統楽器「篠笛」の単独演奏に続き、多人数による組太鼓アンサンブルとうね
りの楽しんでもらう「華疾風」という曲を演奏します。演奏しながら太鼓の組み合わせを変化させ、たたみかけ
るように音を重ねて行きます。大編成で迫力のある、「一気呵成」の音をお楽しみ下さい。
しのぶえどくそう：むらやまじろう、はなはやて：かとうたくや/さつきよく
(篠笛独奏：村山二郎、華疾風：加藤拓哉/作曲)

「太鼓について」

にほん たいこ こてんげいのう ばんそうがっき えんそう き たいこ えんそう
日本の太鼓は、古典芸能などの伴奏楽器として演奏されて来ました。太鼓だけで演奏
される「組太鼓」はまだ誕生して約50年という新しい演奏スタイルです。
なぜ私たちは太鼓に惹かれるのでしょうか。それは太鼓の音がどこか懐かしい気持ちを起
こさせるからかも知れません。また、わくわくとする感情も湧き上がってきます。音が
心の奥深いところに響いているような気がします。
演奏スタイルも様々な組み合わせが生まれています。横打ちや伏せ打ち、座奏、観客
に背を向ける背面打ち、低い姿勢のスタイルや太鼓を足で挟んで力強く打つ、座った姿
勢など。それぞれリズムやバチ捌きに密接に結びついていて、機能的で美しい姿です。
にほん たよう えんそう ひかく わたし えんそう たの くだ
日本の多様なリズムやその演奏スタイルを比較しながら、私たちの演奏をお楽しみ下
さい。

2 焔迅

えんじん
さば かそく
バチの捌きがエンジンのピストンのように加速して
いきます。「セット太鼓」演奏と呼ばれる、音の組み合
わせとスピード感ある現代的な演奏が持ち味です。
よこやまりようすけ/さつきよく
(横山亮介/作曲)

6 日本の伝統的な祭りの太鼓打法の紹介コーナー

にほん でんとうてき まつ
日本の伝統的な祭りの
たいこ だほう しょうかい
太鼓打法の紹介コーナー
とざんばやし げざんばやし(あおもりけんいわきさん) ちちぶやたい
登山囃子と下山囃子(青森県岩木山)/ 秩父屋台
ばやし(さいたまけん) かみつき きや たいこ(とうきょうとみやげじま)
囃子(埼玉県)/ 神着の木遣り太鼓(東京都三宅島)
かいせつ まじ えんそう
の解説を交えて演奏します。
じっさい たいこ たいけん(はっぴょう)
そして実際に太鼓を体験(発表)してみましよう。

3 輪

りん
はちじょうじま たいこ ゆうめい だい ながどうだいこりょう
八丈島の太鼓などで有名な、1台の長胴太鼓を両
めん う きよく めい だしや も あじ
面から打つスタイルの曲です。2名の打者の持ち味
い か あ みどころ つゆきかずひろ/さつきよく
を生かした掛け合いが見所です。(露木一博/作曲)

7 碧空

へきくう
だがっき と い きよく
アジアの打楽器を取り入れた曲です。タイのゴング
ちゅうごく きんぞくがっき しのぶえ たいこ く あ
と中国の金属楽器「トーラ」と篠笛と太鼓を組み合
わせて、叙情あふれる曲に仕上げました。
むらやまじろう/さつきよく
(村山二郎/作曲)

4 おなじみの曲のコーナー

どうよう きよく えんそう
童謡やアニメの曲などから演奏します。
きよく と だ
さて、どんな曲が飛び出すか？
し きよく
みんなの知っている曲だといいですね。

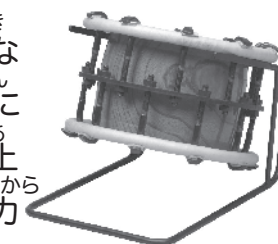
8 大太鼓

おおだいこ
ちよっけい おおだいこ おもてう うらう ふたり えん
直径1m近い大太鼓を表打ち、裏打ちの二人で演
奏します。深く響く重低音を身体全体で感じて下さ
い。(加藤拓哉/作曲)

「太鼓の種類」



ながどうだいこ
長胴太鼓
みやだいこ い けやき
宮太鼓とも言います。櫂な
どの木材を削り抜き両面に
皮を張り、釘を打って仕上
げます。太鼓の中で最も力
強い音を響かせます。



つけしめだいこ
附締太鼓
ちよっけい たいこ
直径30cm くらいの太鼓で、
みやだいこ どうよう けやき もく
宮太鼓と同様に櫂などの木
材を削り抜いた胴に、鉄の
輪で張った皮を太いロープ
やボルトで強く締め上げた
ものです。とても甲高い音
が出ます。



おけどうだいこ
桶胴太鼓
ふるおけ すぎ
風呂桶などのように、杉や
ヒノキなどの板を張り合わ
せた寄せ木で胴を作り、鉄
の輪で張った皮を細いロー
プで両側から締めています。
軽いので肩で担げ、音の高
低が調整できます。



かね
鉦・チャツパ
たいこ
太鼓ではありませんが、祭り囃子
などで太鼓と一緒に使われる金属
製の打楽器です。
たいこ ま たか おと で
太鼓に負けない高い音が出るので、
リズムのスピードをリードします。

VI 令和2年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野, 種目 (該当する種目に○を付してください。)

分野	種目
【音楽】	合唱, オーケストラ等, 音楽劇
【演劇】	児童劇, 演劇, ミュージカル
【舞踊】	バレエ, 現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, <input checked="" type="checkbox"/> 演芸

申請する区分に, ○を付してください。

 A区分のみ ・ A区分とB区分の両方 ・ C区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)

 あり ・ なし

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

- (1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能
 (2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能
 (3) 提案したいいずれか1企画のみ実施可能
 (4) その他()

芸術文化団体の概要

ふりがな	こうえきしゃだんほうじん らくごげいじゅつきょうかい		
制作団体名	公益社団法人 落語芸術協会		
代表者職・氏名	会長 田ノ下雄二		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒160-0023 東京都新宿区西新宿 6-12-30 芸能花伝舎 2F (東京メトロ丸ノ内線・西新宿駅)		
電話番号	03-5909-3080	FAX番号	03-5909-3082
ふりがな	にほんこうだんきょうかい		
公演団体名	日本講談協会		
代表者職・氏名	会長 神田紅		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒331-0047 さいたま市西区指扇 2742-2-302 神田山吹方 (JR 指扇駅)		
制作団体 設立年月	昭和5(1930)年	10月	
制作団体 組織	役員	団体構成員及び加入条件等	
	代表理事(会長)/春風亭昇太 代表理事(副会長)/春風亭柳橋 理事/三笑亭茶楽 他12名 業務執行理事兼事務局長/田澤祐一 監事/桂小文治 他2名	○団体構成員 個人 227名 ○主な構成員 春風亭昇太・三遊亭小遊三・桂米丸・三遊亭遊三・桂米助・桂歌春・柳亭楽輔・ナイツ・宮田陽・昇 ○加入の条件 落語を専門の業とするもので3年以上の経験を有する者、及び落語以外の寄席芸能実演家で法人の目的に賛同して入会した者。	
務体制の担当	専任 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 他の業務と兼任	本事業担当者名	武田史子
経理処理等の 監査担当の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無	経理責任者名	田澤祐一

制作団体沿革	昭和 5 年、会長春風亭柳橋(先々代)、副会長柳家金語楼が日本芸術協会を設立。昭和 9 年柳亭左楽が会長を務める落語睦会を合同する。その後桂小文治(先代)が副会長となる。昭和 49 年、古今亭今輔(先代)が会長に就任。昭和 51 年、桂米丸が会長に、春風亭柳昇が副会長に就任。昭和 52 年、文化庁より社団法人の認可を受け、社団法人落語芸術協会と改称する。平成 11 年、桂文治(先代)が会長、桂歌丸が副会長に就任。平成 16 年、桂歌丸が会長、三遊亭小遊三が副会長に就任。平成 23 年 4 月 1 日、公益社団法人の認定が下り、改称。平成 30 年 7 月、会長桂歌丸が死去。平成 30 年 6 月総会にて、三遊亭小遊三の会長代理の兼任が決まっていたため、代表理事として会長代行を務めた。令和元年 6 月 27 日、春風亭昇太が会長に、春風亭柳橋が副会長に就任。		
学校等における公演実績	平成 26 年度から当該事業に参加。 その他依頼公演等では講談だけで構成されたものはあまり実施例がない。落語や他の芸種に混ざっての公演実績は多数あり。		
特別支援学校における公演実績	実施なし		
参考資料の有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	有 ・ 無
		申請する演目の DVD または WEB 公開資料	有 ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	
	※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:	
	A の提出が困難な場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料	有 ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	
※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード		ID: PW:	

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 日本講談協会】

対象	小学生(低学年・ <u>中学年</u> ・ <u>高学年</u>)・ <u>中学生</u>		
企画名	「講談語りすと」		
本公演演目 原作/作曲 脚本 本演出/振付	<p>○しばられ地蔵 [原作] 古典作品のほとんどの演目は、原作者不明とされている。 [脚本] この講談の会で演じられる古典落語は江戸時代から継承される口演台本があるが、必ずしも全てが明文化されているわけではなく師匠からの口伝によるものも多い。 [演出] 師匠から教わったものを基本として、演者それぞれ自身で演出する場合がほとんどである。 <u>※必ずしもこの演目が掛かるとは限りませんが、子供達の心に残るような教訓を含んだ演目を口演いたします。</u></p> <p style="text-align: right;">公演時間(90分)</p>		
著作権	制作団体が所有	制作団体以外が所有する事項が含まれる	(制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾の有無
演目概要	<p>江戸時代、八代将軍徳川吉宗の時代に、日本橋にある呉服問屋の手代が、南蔵院というお寺の境内でうっかりうたた寝してしまい、その間に商売品である反物を荷車ごと盗まれてしまいました。調べに当たることになった南町奉行大岡越前は「寺の前で黙って泥棒の悪行を見過ごすとは、地蔵も同罪である」と縄で縛って召し捕りました。</p> <p>地蔵はぐるぐる巻きに縛られた姿で、車に乗せられ江戸市中引き回しの上南町奉行所へ！それを見ていた江戸中の市民がどんなお裁きが下されるのか奉行所になだれ込みました。その様子を見て越前守、一斉に閉門し、「天下のお白州に乱入するとは不届きである、罰として反物1反を科料とする」と発声、後日集まった反物の中から盗品が見つかることとなった。そこから盗賊も一網打尽、名奉行の名采配の物語。</p> <p>南蔵院ではそれ以来、お地蔵様をお願いするときは縛り、願い叶えば縄解きするという風習が生まれ、現在でも盗難除け、足止めなど、あらゆる願い事を聞いて下さる靈験あらたかな地蔵尊として祀られている。</p>		
演目選択理由	<p>口調が堅い講談・昔話のような講談、様々語り口調はありますが、小・中学生の興味を引くため柔らかい昔話風の講談をトリが実演します。上記は一例で必ず掛かるとは言えませんが、小・中学生に教訓になる話を含むもの、ただの昔話ではない現代との結びつきを感じるものなどを口演いたします。</p>		
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	<p>演目「一休さん」、「山内一豊出世の馬揃え」(岐阜県での実施例)、「太閤と曾呂利」、「ことわざ講談」(徳川家康のエピソードを講談にしたもの、静岡県での実施例)などから各自一席ずつ(各校代表者数に応じる)</p> <p>出演者の演目を観賞する前に、児童・生徒に講談(当会が台本を用意する5分程度の短いもの)を高座で披露してもらい共演する。この際和服・袴を着用し、高座返し・めくり返しなどをしていない出演者の一員として共演する。</p>		
出演者	<p>講談〔二ツ目〕 神田真紅(予定) 落語〔真打〕 桂米福(予定) お仲入り(休憩) 曲芸 丸一小助・小吋(予定) 講談〔真打〕 神田紅(予定) 他 前座1名 お囃子1名 合計4本の演芸</p>		
公演出演予定者数(1公演あたり)	<p>出演者:6~7名 スタッフ:3~4名 合計:9~11名</p>	機材等 運搬方法	<p>積載量 1t 車長 4m 台数 2台</p>

公演に当たっての 会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。					
会場設営の所要 時間(タイムスケ ジュール)の目 安	前日仕込み(有・ 無) 会場設営の所要時間(2時間程度)					
	到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出
	9時	9時～11時	13時30分～15時10分	10分	15時20分～16時30分	17時
<p>※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。 (仕込みと本公演の間に代表児童・生徒の和服着付け・リハーサルがあります。12時40分位～13時15分位)</p>						
児童・生徒 の参加可能人数	ワークショップ	300名程度				
	本公演	300名程度				
ワークショップ 実施形態 及び内容	<p>●講談教室 講談という芸はどんな成り立ちをしているのか、どのように語るのか等、講談のいろはを易しく解説。堅くなりがちな講談を、落語の寄席で培った笑いのエッセンスでくるんで、児童・生徒の皆さんに魅力を感じてもらえるよう指導します。 また簡単な高座を設置いたしますので、プロの講釈実演を観賞したり、児童・生徒の皆さんに高座に上がってもらって体験をしたりと、一方的な講話にならないようにいたします。</p> <p>●「張り扇」を作ろう 講談といえば枳台を叩いてリズムを作り出す独特の仕草！そのリズムの元になっている張り扇を自作してみましょう！プロの講釈師も、張り扇は自分で作ります。</p>					
ワークショップ 実施形態の意図	<p>実際に身体を使って講談を実演してみることで、語ることの楽しさ、張り扇で枳台を叩いてリズムに乗りながら喋ることに、どのような効果があるのかがわかる。 プロと自分たちの声の出し方の違いに気が付く。 張り扇を自作することによって、より講談を身近に感じてもらう。</p>					
特別支援学校で の実施における 工夫点	<p>視覚障害の児童・生徒に対してはワークショップ本公演共に高座の設えなどについての説明を多く取る。本公演においては講談・落語は問題ないかと思われるが(いくらでも言い換えが出来る)、外の演芸については見る芸(曲芸等)ではなく、耳で聞いて楽しめるもの(動物物まねなど)に差し替える等、学校の状況に応じて調整を行う。</p>					
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。					

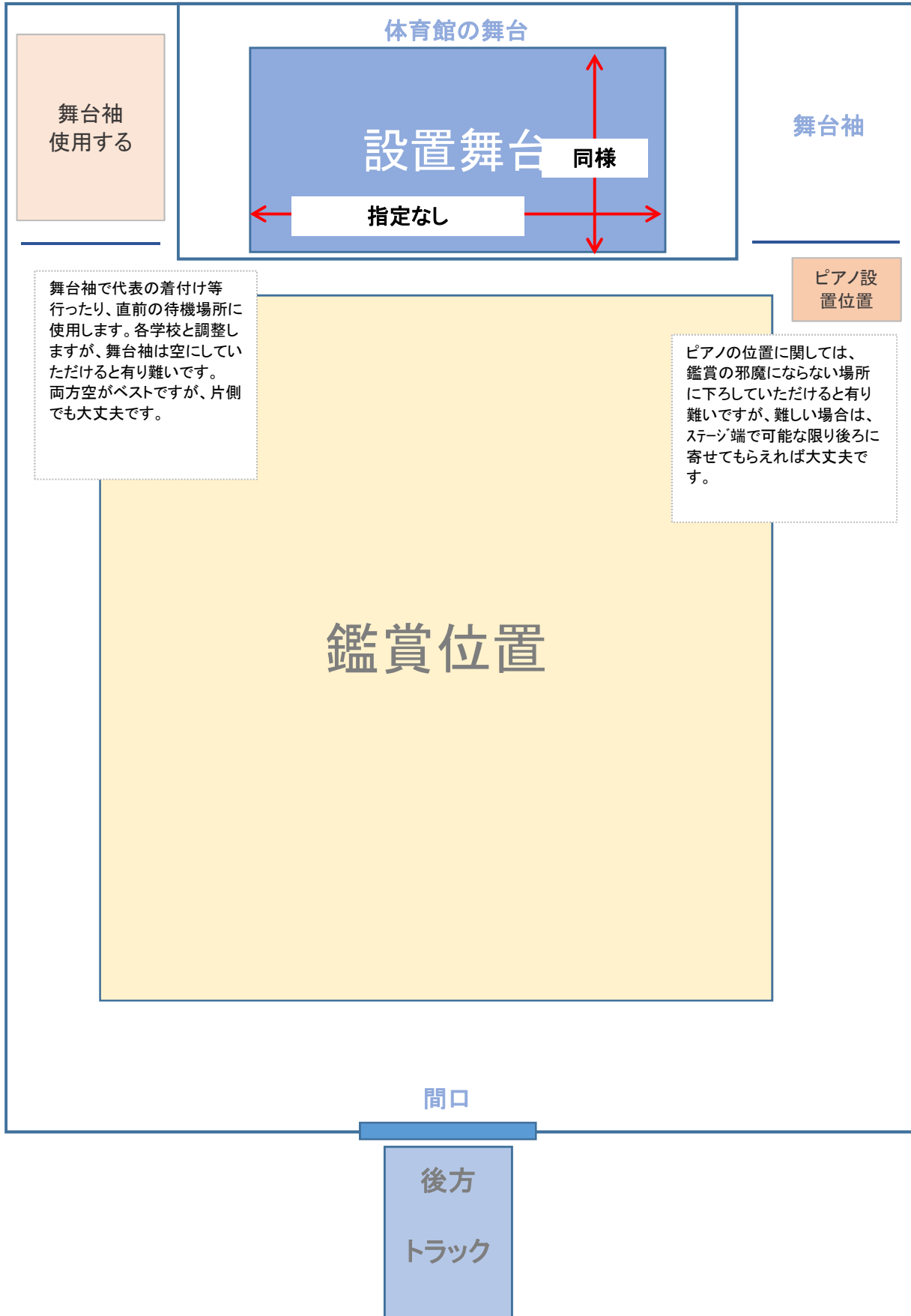
【令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	B22	分野	伝統芸能	種目	演芸	ブロック	B	区分	A区分
公演団体名	日本講談協会				制作団体名	公益社団法人 落語芸術協会			

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等								
控室について	可	必要数 *	1室	条件	着替えの為、カーテンが閉まると有り難いです。					
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数 *			バン	1台	乗用車	1台		
	不可	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			バン(ハイエースロング程度)					
	可	搬入車両の横づけの要否 *			要					
	可	横づけができない場合の搬入可能距離 *			30m以内					
	不可	搬入経路の最低条件			雨天時、雨がさけられる経路の確保ができること。					
		理由			大道具が雨に弱い					
	不可	設置階の制限 *			2階以上不可					
	可	搬入間口について 単位:メートル		幅	1.8m	高さ	1.8m			
WSについて	可	参加可能人数			300名					
	—	学年の指定の有無 *			なし	指定学年 *	なし			
	可	所要時間の目安 単位:分			90分程度					
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)」の目安をご参照ください。					
	可	鑑賞可能人数			300名					
	可	舞台設置場所 *			体育館のステージ上					
	—	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル		幅	指定なし	奥行	指定なし	高さ	指定なし	
	可	体育館の舞台を使用する場合の条件			舞台袖スペースの確保 *		要			
	可				舞台袖スペースの条件 *		袖にある程度スペースが必要			
	—				緞帳 *	不要	バトン *	不要		
	可	遮光(暗幕等)の要否 *			要	理由	舞台に集中してもらうため			
	不可	ピアノの調律・移動の要否		指定位置へのピアノの移動 *	要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。				
	可			ピアノの事前調律 *		不要				
	可	フロアを使用する場合の条件		バスケットゴールの設置状況 *		格納されていれば可				
	可	公演に必要な電源容量			30A	※主幹電源の必要容量				
	その他特記事項									
	不可	WSで張扇(はりおうぎ)を作成時、体育館の場合、作業用で下敷きとなる紙は用意しますが糊で汚れることもあります								
可	出演者が体育館舞台袖に直接出入りできる入口がない場合、入口から舞台袖までパーテーションをご用意いただいたほうが									
	良いケースがあります(可能な範囲で)									

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	1.8m	高さ	1.8m
搬入車両の横づけの要否		可能であれば助かります		
横づけができない場合の搬入可能距離		30m以内		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。



令和元年度

文化芸術による

子供育成総合事業

巡回公演事業

神田蘭

鏡味ふじ乃

古今亭今輔

神田紅純

演芸公演

「文化芸術による子供育成総合事業—巡回公演事業—」

我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。



公演日程

- 11月25日(月) 青森県弘前市[開演13:30~] 弘前市立裾野中学校
地元主催：青森県教育委員会／弘前市教育委員会
- 11月26日(火) 秋田県三種町[開演13:30~] 三種町立琴丘中学校
地元主催：秋田県教育委員会
- 11月27日(水) 秋田県鹿角市[開演13:30~] 鹿角市立八幡平中学校
地元主催：秋田県教育委員会
- 11月28日(木) 宮城県気仙沼市[開演13:30~] 気仙沼市立九条小学校
地元主催：宮城県教育委員会／気仙沼市教育委員会
- 11月29日(金) 宮城県仙台市[開演13:30~] 仙台市立幸町小学校
地元主催：仙台市教育委員会



制作

公益社団法人 落語芸術協会

〒160-0023 東京都新宿区西新宿6-12-30 芸能花伝舎2階 公益社団法人 落語芸術協会
TEL:03-5909-3080 FAX:03-5909-3082
ホームページ www.geikyo.com Eメール info@geikyo.com

表紙イラスト：とつか りょうこ

知ってますか？ ~ 10月1日は「国際音楽の日」です ~

1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることをしました。

日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。



神田 蘭



鏡味 よひ乃



古今亭 今輔



神田 紅純

◎ 講談って何？①

講談とは、日本の伝統芸能のひとつで、落語と並んで寄席で楽しむことのできる話芸です。落語も講談もお寺のお坊さんの説法が元で、「楽しい」「笑える」といって重点を置き、会話形式で進行するのが落語、話を面白く「伝える」ことに重点を置き、説明の入るものが講談です。

落語は「話す」といいますが、講談は「読む」と表現します。特徴を表していますね！

◎ 講談って何？②

赤い毛せんの上に座布団、前には釈台、講師の手には張りの扇…。講談師の口から語られるのは、まるで本人がそこについて見てきたかのような臨場感溢れるストーリー。

古い時代のお話が多いので、古風な言葉遣いや台詞回しもありますが、日本講談協会では、小中学生の皆さんにも聞いてもらいたいと思い、親しみやすい講談を目指し工夫してお届けしています。

◎ 寄席のいろは

寄席といつのは人を集めて芸能を催す「人寄せ場」の略です。今から200年前に常設寄席(定席)が始まりました。

江戸時代には200軒あった寄席ですが、現在では都内に4軒残っています。

寄席では落語や講談の話芸と、色物と呼ばれる曲芸等『見て楽しめる』ものが次々と登場します。

寄席の一日は太鼓で始まります。

開演の30分前に「一番太鼓」が鳴ります。(ドントドントコイ、ドントドントコイ)と打ちます。これを合図に開場です。次に、開演直前には「二番太鼓」が鳴ります。(オタフクコイ、オタフクコイ)と打ちます。着倒とも呼ばれる太鼓でまもなく開演です。出囃子と共に開口一番、前座さんの登場です。その後も仲入り(休憩)の太鼓、トリ(一番最後に出る方)が終わると追い出し太鼓を打ちます。別名「薄情太鼓」とも呼ばれ、(デテケ、デテケ、デテケ)と打ち、これで寄席の一日が終わります。

実はこの太鼓、落語家や講談師の前座さんが叩いているのです。



お囃子 稲葉千秋
前座 三遊亭 馬ん次

学校代表 講談

一、講談 神田 紅純

一、落語 古今亭 今輔

仲入り (きゅうけい)

一、太神楽曲芸 鏡味 よひ乃

一、講談 神田 蘭



〒160-0023 東京都新宿区西新宿6-12-30 芸能花伝舎2階 公益社団法人 落語芸術協会 TEL.03-5909-3080 FAX.03-5909-3082 www.geikyo.com info@geikyo.com

●公益社団法人 落語芸術協会
公益社団法人落語芸術協会は、寄席芸能を広く普及し後生へ伝える為、昭和5年10月に日本芸術協会として設立。昭和52年12月に法人許可され社団法人落語芸術協会と改称。
平成23年4月に「公益社団法人 落語芸術協会」と改称。
断家と色物(曲芸・漫才・奇術・紙切り・俗曲等)お囃子を入れ、会員数250名(令和元年現在)の大部分である。
当協会は寄席芸能の責任団体として、東京の寄席の出演を始め全国各地の会館や学校で主催される、寄席(落語会)の企画制作を行い、落語の普及に尽力している。
また、寄席以外に継承にも力を入れ、年間約90ステージに及ぶ若手による落語会を催している。
現在、会長の春風亭昇太のもとに演芸関係のリーダー格として位置付けられている。

● 日本講談協会

平成3年に二代目神田山陽が弟子を引き連れ講談協会を脱会、日本講談協会を設立。
二代目山陽は従来の固定観念を捨て改革に臨み、女性の弟子も多く取った。惜しくも2000年に死去したが、その精神を受け継いだ弟子は講談界に留まらず多方面に活躍を続けている。
現在、所属講談師は22名。半数以上が公益社団法人落語芸術協会にも所属し、都内各寄席にも多数出演。
その他全国各地での会館や学校で主催される演芸会やイベントに出演し、講談の普及や広報活動に尽力している。



バク助 (落語芸術協会のマスコットキャラクター)

Ⅷ 令和2年度「文化芸術による子供育成総合事業」出演希望調書(メディア芸術)

分野, 種目 (該当する種目に○を付してください。)

分野	種目
【メディア芸術】	映像, <input checked="" type="checkbox"/> メディアアート等

申請する区分に, ○を付してください。

A区分・C区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)

あり・なし

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

- (1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能
 (2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能
 (3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能
 (4) その他()

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	わうかぶしきがいしゃ ワウ株式会社		
代表者職・氏名	代表取締役 高橋裕士		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒 150-0041 東京都渋谷区神南1-14-3		
電話番号	03-5459-1100	F A X 番号	03-5459-1101
ふりがな 公演団体名	わう WOW		
代表者職・氏名	取締役 工藤薫		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒 150-0041 東京都渋谷区神南1-14-3		
制作団体 設立年月	1997年 7月		
制作団体 組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	代表取締役 高橋裕士 取締役 高橋秀明 取締役 於保浩介 取締役 森脇大輔 取締役 工藤薫 取締役 中路琢磨	社員数:55名	
事務体制の担当	専任・ <input checked="" type="checkbox"/> 他の業務と兼任	本事業担当者名	稲垣拓也
経理処理等の 監査担当の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無	経理責任者名	星靖浩

制作団体沿革	<p>1997年4月 株式会社デジタルメディアプロダクツ(代表取締役 高橋秀明)を仙台に設立 Webのシステム&コンテンツの開発事業を行う</p> <p>1999年4月 名称をワウ株式会社に変更。CMを中心とした映像制作およびプロダクション業務を展開</p> <p>2000年4月 ワウ東京ランチを開設</p> <p>2002年4月 本社を仙台から東京に変更</p> <p>2004年7月 東京本社を銀座から青山に移転</p> <p>2005年4月 代表取締役に高橋裕士が就任</p> <p>2007年10月 東京本社を青山から渋谷に移転</p> <p>2010年9月 仙台支店を現住所に移転</p>		
メディア教育における活動実績	<p>BAKERU (WOWによるデジタルアート作品):</p> <p>2017年3月 せんだいメディアテーク オリジナル企画展「ハレとケ展」内で展示</p> <p>2017年3月 せんだいメディアテーク オリジナル企画展「ハレとケ展」内でBAKERU関連ワークショップ「ペーパークラフトでお面をつくろう」を開催</p> <p>2018年4月 東京鹿踊(岩手郷土芸能)とのコラボレーションによるコンセプト映像を公開</p> <p>2018年4月 青山スパイラル「WOW Visual Design Studio -WOWが動かす世界-」内で展示</p> <p>2019年7月 JAPAN HOUSE Los Angeles で個展「BAKERU: Transforming Spirits」を開催</p> <p>縦系横系合同会社(本プログラム共同実施団体):</p> <p>2014年9月 舞台芸術の創造と発信、そして地域に根ざした杉並区の文化活動の拠点座・高円寺『みんなの作業場』企画にて、子ども向けの鹿踊ワークショップを開催</p> <p>2015年2月 日韓芸能交流を目的とした公演「マツリクロッシング」企画にて、国内外の観客向けの鹿踊ワークショップを開催</p> <p>2015年8月 子ども向けの体験型イベント「こどもの夢ひろば“ボレロ”～つながる・集まる・羽ばたく～」企画にて、子ども向けの神楽ワークショップを開催</p> <p>2016年5月 G7仙台財務大臣・中央銀行総裁会議時に仙台市が市民向けに企画した東北トレジャーズカフェ「るるるる郷土芸能」にて子ども向けの鹿踊ワークショップを開催</p> <p>2016年5月 東京豊島区のとしま未来文化財団主催の「日本の民俗舞踊～踊り手が語るその魅力・祈り～」企画にて観客向けの鹿踊ワークショップを開催</p> <p>2017年2月 宮城県主催事業「文化芸術の力による心の復興フォーラム」企画にて地域の郷土芸能体験ワークショップを企画</p> <p>2017年5月 岩手県主催事業「訪日外国人向け伝統文化鑑賞・体験プログラム開発事業」にて、外国人向けの各地域プログラムを企画、ワークショップを開催</p> <p>2017年8月 八戸市主催事業「八戸ポータルミュージアムはっちプロジェクトDASHIJIN」にて教育プログラムを企画、子ども向けのお祭り参加ワークショップを開催</p> <p>2017年12月 和太鼓や神輿の製作を行う宮本卯之助商店との共同企画で「訪日外国人向けの祭り・郷土芸能体験プログラム」にて外国人向けの鹿踊ワークショップを開催</p> <p>2018年1月 郷土芸能の衣装や道具を支える人の創出、育成を目的とした「カグラツクル」を自主企画、ワークショップを開催</p> <p>2018年3月 日本自然保護協会主催の「日本の伝統文化のなかに生きる動物たち」企画にて、子ども向けの鹿踊ワークショップを開催</p>		
特別支援学校における活動実績	特になし		
参考資料の有無	<p>(A)</p> <p>Aの提出が困難な場合</p>	<p>申請する企画のチラシパンフレット等</p> <p>申請する企画の DVD または WEB 公開資料</p> <p>※WEB 公開資料有の場合 URL</p> <p>※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード</p> <p>今回申請する企画に近い活動を記録した DVD または WEB 公開資料</p> <p>※WEB 公開資料有の場合 URL</p> <p>※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード</p>	<p>有 ・ 無</p> <p>有 ・ 無</p> <p>http://bakeru.jp/</p> <p>ID: 不要 PW:</p> <p>有 ・ 無</p> <p>ID: PW:</p>

メインプログラム・ワークショップの内容

【公演団体名

WOW

】

対 象	小学生(低学年・中学年・高学年) ・ 中 学 生											
企 画 名	BAKERU ― デジタルアートで「体感」する郷土芸能の世界 ―											
プログラム全体の流れ	<p>【プログラムの構成】</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>ワークショップ 1 回 → メインプログラム</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ワークショップ 2 回 → メインプログラム</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ワークショップ → メインプログラム → ワークショップ</td> </tr> <tr> <td></td> <td>メインプログラム → ワークショップ 2 回</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>メインプログラム → ワークショップ 1 回</td> </tr> </table> <p>【全体の流れ】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>※ はじめに、昨年度プログラムの記録映像をご覧ください https://vimeo.com/313292823</p> </div>  <p>1日目 郷土芸能の鑑賞、レクチャー、およびワークショップ</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>デジタルアートとは何か、について分かりやすく紹介します。 また、郷土芸能と「変身する」ことのつながりについてお話しします。</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>郷土芸能の一例として、岩手県「行山流舞川鹿子躍」を実演。 作品のモチーフになった実際の芸能を鑑賞します。</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>「変身する」ことをテーマに衣装について解説し 着付け体験などを通して芸能に触れ、理解を深めます。</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>レクチャーを参考に「自分が変身するとしたら」をテーマに オリジナルのお面を制作。2日目の体験で使用します。</p> </div> </div> <p>2日目 「BAKERU」の体験</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>ワークショップで制作したオリジナルの体験用お面を使って デジタルアート作品「BAKERU」を体験します。</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>それぞれの想いがつまったお面。他の参加者がどのような コンセプトで自身のお面をデザインしたか、見て考えます。</p> </div> </div>			ワークショップ 1 回 → メインプログラム		ワークショップ 2 回 → メインプログラム		ワークショップ → メインプログラム → ワークショップ		メインプログラム → ワークショップ 2 回	○	メインプログラム → ワークショップ 1 回
	ワークショップ 1 回 → メインプログラム											
	ワークショップ 2 回 → メインプログラム											
	ワークショップ → メインプログラム → ワークショップ											
	メインプログラム → ワークショップ 2 回											
○	メインプログラム → ワークショップ 1 回											
児 童 ・ 生 徒 の 参 加 上 限 人 数	メインプログラム (1日目)	制限なし(ただし、2日目を体験しきれる合計人数)										
	ワークショップ (2日目)	40名程度(1時限あたりの体験可能人数。120人程度まで対応可能)										

<p>メインプログラムの主たる指導者</p>	<p>工藤薫(ディレクター), 佐藤宏樹(テクニカルディレクター) アシスタント(エンジニア、デザイナー)2名, 稲垣拓也(プロデューサー), 山田雅也(ワークショップコーディネーター) アシスタント4名(演舞演者を兼ねる)</p>		
<p>スタッフ人数 (1公演あたり)</p>	<p>計10名</p>	<p>機材等 運搬方法</p>	<p>バン3台程度による機材搬入を想定</p> <p>積載量 1 t 車長 5 m 台数 3 台</p>
<p>企画のねらい</p>	<p style="text-align: center;">伝統文化の豊かな世界観に、デジタルアートを通して触れる</p>  <p>長い時間を受け継がれてきた郷土芸能には、自然、人の生き方、願いなど、大変豊かな世界観が内包されています。しかし、今日を生きる子供たちはそれらに触れる機会が多くありません。デジタルアート作品『BAKERU』は東北の郷土芸能を様々なリサーチを通してデジタルアートに昇華させた作品です。本公演は、デジタルアートという普段とは違った体験を通して、子どもたちに伝統文化に対する新たな気づきやまなざしが生まれることをねらっています。</p> <p>▶ デジタルアート作品 『BAKERU』</p> <p>BAKERUは東北に古くから伝わる4つの郷土芸能(なまはげ、早乙女、鹿踊加勢鳥)をモチーフにした、体験型のデジタルアート作品です。スクリーンの前に立って顔に体験用のお面をつけると自分の姿が変化し、それぞれの芸能の世界観で様々な体験ができます。現代的な視点と新しい表現を通して伝統文化に触れることで、その奥深さを広く知ってもらうことを目的としています。</p>  <p>▶ 1日目(芸能実演とワークショップ) のねらい</p> <p>1日目は、①郷土芸能のレクチャーと実演、②体験用のお面制作を行います。①では、有史以前から続くお面を使って「変身する」という行為をテーマにお話した後、例として「東京鹿踊」による実際の演舞を鑑賞します。②では、「自分が変身する」としたらをテーマにBAKERU体験用のお面を参加者がカスタマイズします。子どもたちが自身の「願い」と「それに対応するデザイン」を考えて制作することで、芸能で衣装が果たす役割を深く学びます。</p>    <p>▶ 2日目(デジタルアート体験) のねらい</p> <p>2日目は、体育館に設置したスクリーンでデジタルアート作品「BAKERU」を体験します。ここで1日目に制作したオリジナル面を利用することが、より深く作品に入り込み、体験を記憶に残すきっかけとなります。</p>   		

【公演団体名 **WOW**】

実施にあたっての会場条件および学校側が必要な準備等	<p align="center">【メインプログラム】(1日目)</p> <p>▶ 会場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育館相当の空間 … 1室 (幅10m x 15m x 高さ6m 以上) 郷土芸能レクチャーと演舞鑑賞に利用 ・教室 … 参加クラス分 お面制作WSに利用 ・設置時間 … 前日夕方から <p>▶ 準備物</p> <ul style="list-style-type: none"> ・画材 … 参加人数分 通常図工等で使用しているはさみや 絵の具に加え、マジック、色紙 など 	<p align="center">【ワークショップ】(2日目)</p> <p>▶ 会場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育館相当の空間 … 1室 (幅10m x 15m x 高さ6m 以上) BAKERUの体験に利用 ・設置時間 … 前日夕方から 								
当日の所要時間(タイムスケジュール)の目安	<p align="center">【メインプログラム】(1日目)</p> <p>前日の夕方に機材搬入、また当日もしくは事前にワークショップの打ち合わせを行います。</p> <p align="center">開始1～2時間前学校到着、打ち合わせ</p> <table border="0"> <tr> <td style="vertical-align: top;">1時限目 (45分想定)</td> <td style="border-left: 2px solid black; padding-left: 5px;"> イントロダクション (10分) 郷土芸能レクチャー (10分) 郷土芸能実演・体験 (20分) ワークショップのイントロダクション (5分) </td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">休み時間</td> <td style="border-left: 2px solid black; padding-left: 5px;">休憩 (10分)</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">2時限目 (45分想定)</td> <td style="border-left: 2px solid black; padding-left: 5px;"> 体験用お面制作(40分) 1日目のまとめ(5分) </td> </tr> </table>	1時限目 (45分想定)	イントロダクション (10分) 郷土芸能レクチャー (10分) 郷土芸能実演・体験 (20分) ワークショップのイントロダクション (5分)	休み時間	休憩 (10分)	2時限目 (45分想定)	体験用お面制作(40分) 1日目のまとめ(5分)	<p align="center">【ワークショップ】(2日目)</p> <p>前日の夕方に機材搬入を行います。</p> <p align="center">開始1～2時間前学校到着、打ち合わせ</p> <table border="0"> <tr> <td style="vertical-align: top;">1時限目 (45分想定)</td> <td style="border-left: 2px solid black; padding-left: 5px;"> BAKERU体験 (25分) 参加者の制作お面鑑賞 (10分) 本企画のまとめ (10分) </td> </tr> </table>	1時限目 (45分想定)	BAKERU体験 (25分) 参加者の制作お面鑑賞 (10分) 本企画のまとめ (10分)
1時限目 (45分想定)	イントロダクション (10分) 郷土芸能レクチャー (10分) 郷土芸能実演・体験 (20分) ワークショップのイントロダクション (5分)									
休み時間	休憩 (10分)									
2時限目 (45分想定)	体験用お面制作(40分) 1日目のまとめ(5分)									
1時限目 (45分想定)	BAKERU体験 (25分) 参加者の制作お面鑑賞 (10分) 本企画のまとめ (10分)									
※採択決定後、採択団体へ学校側に提示する条件の確認書の作成をお願いします。										
特別支援学校での実施における工夫点										
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。									

提出書類④

申請する公演演目のWEB情報

BAKERU

BAKERU ポータルサイト

BAKERUのコンセプトや展示歴などをまとめたウェブサイト
<http://bakeru.jp/>



BAKERU

<https://vimeo.com/219637092>



BAKERU -バケルの学校-

2018年 本公演実証実験の記録映像
<https://vimeo.com/313292823>
<http://bakeru.jp/project/81/>



BAKERU Concept Movie

「東京鹿踊」とのコラボレーションによるコンセプト映像
<https://vimeo.com/263846520>



ハレとケ展

BAKERUを初公開したオリジナル企画展。
ペーパークラフトのお面を制作するワークショップを開催。
<https://vimeo.com/219636641>



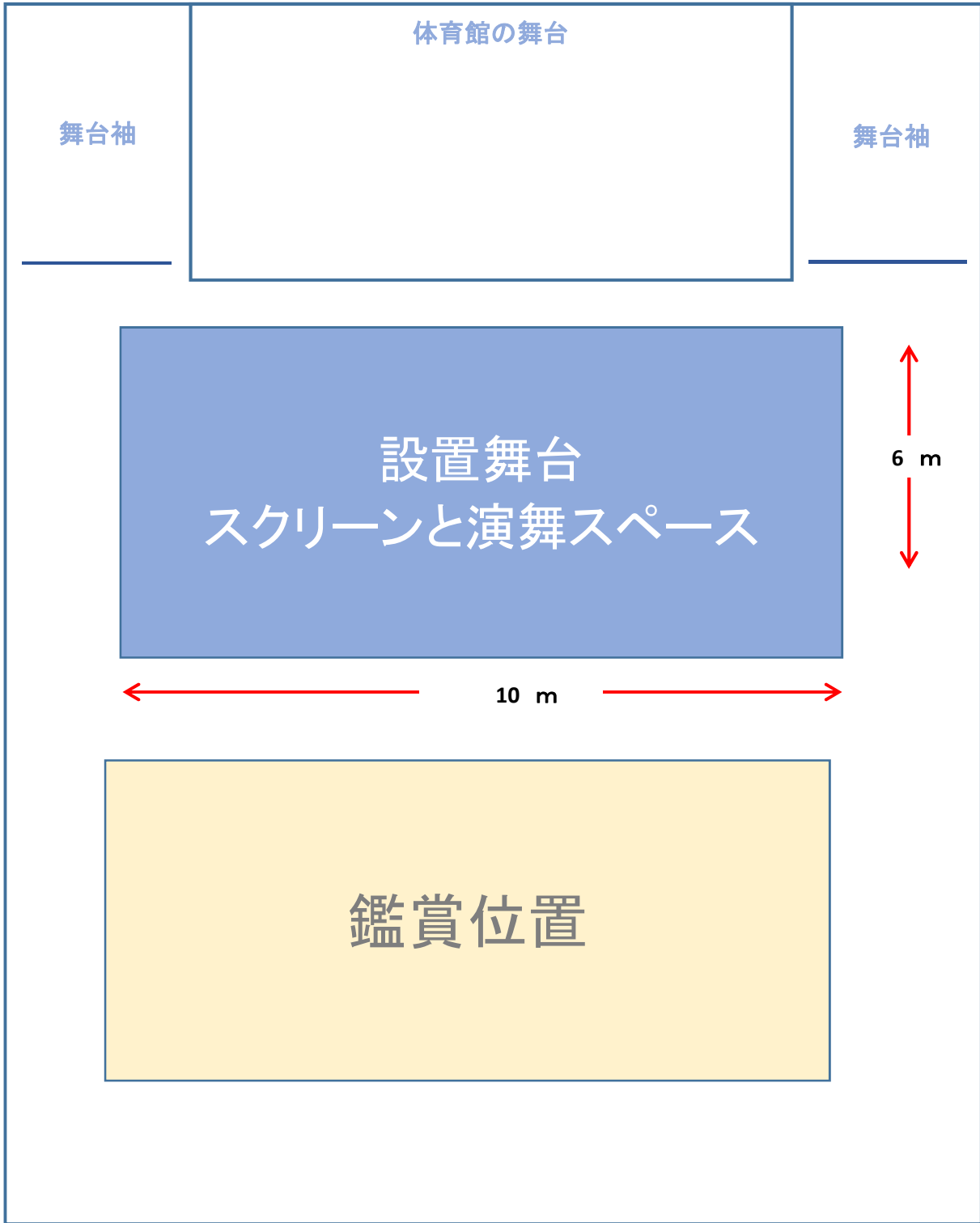
【令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	K121	分野	メディア芸術	種目	メディアアート等	ブロック	K	区分	A区分
公演団体名	WOW			制作団体名	ワウ 株式会社				

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等							
控室について	可	必要数 *	2室	条件	機材置き部屋と控え室				
搬入について	可	来校する車両の大きさと台数 *			バン	3台			
	—	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			不要				
	—	搬入車両の横づけの要否 *			不要				
	—	横づけができない場合の搬入可能距離 *			問わない				
	—	搬入経路の最低条件			問わない				
	理由								
	—	設置階の制限 *			問わない				
—	搬入間口について 単位:メートル		幅	問わない		高さ	問わない		
WSIについて	可	参加可能人数			120名程度				
	不可	学年の指定の有無 *			あり	指定学年 *	小学生のみ		
	可	所要時間の目安 単位:分			2～3時限分(参加人数によって、要相談)				
本公演について	理由	会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)」の目安をご参照ください。				
	可	鑑賞可能人数			120名程度				
	可	舞台設置場所 *			フロア				
	不可	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル		幅	10m	奥行	6m	高さ	6m
	—	体育館の舞台を使用する場合の条件			舞台袖スペースの確保 *		不要		
	—				舞台袖スペースの条件 *		不要		
	—	遮光(暗幕等)の要否 *			緞帳 *	不要		パトン *	不要
	不可				要		理由	スクリーンを設置するため	
	—	ピアノの調律・移動の要否		指定位置へのピアノの移動 *		不要		※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。	
	—			ピアノの事前調律 *		不要			
	可	フロアを使用する場合の条件		バスケットゴールの設置状況 *		格納されていれば可			
	不可	公演に必要な電源容量			30A		※主幹電源の必要容量		
	その他特記事項								

会場図面(表記単位:メートル)

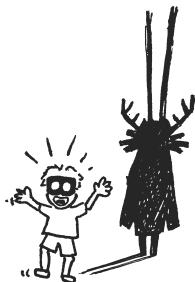


搬入間口について	幅	問わない	高さ	問わない
搬入車両の横づけの要否			不要	
横づけができない場合の搬入可能距離			問わない	

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

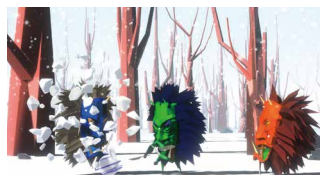
BAKERU ばける

その不思議な力を、私たちは忘れかけていた。
お面を着けて、自分以外の存在へと“化ける”
神の使いとなって、人々に恵みを分け与える。
自然への畏怖が生んだ、“ハレとケ”の文化
私たちは今何を感じ、未来を紡いでいくのだろうか。



東北に古くから伝わる祭りや伝統行事をモチーフにした体験型の映像インスタレーション作品。スクリーンの前にお面を顔につけると、自分の姿がいつしか自分ではない何者かに変化します。現実から空想の世界へと入り込み、その姿で様々な体験をすることができます。作品の対象となる東北の伝統行事の中で特にユニークなのが、1年の決まった時期になると各地に現れる“神の使い”たちの姿。三陸地方に伝わる「鹿踊（ししどり）」や、簀（みの）をかぶった若者に水をかける「加勢鳥（かせどり）」など、人々はお面や衣装を身に着けることで、豊作や無病息災をもたらす存在へと変身するのです。

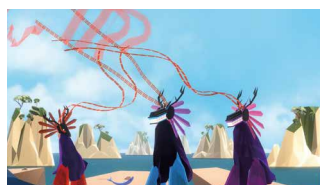
この作品では「なまはげ」「鹿踊」「加勢鳥」「早乙女」の4種類の伝統行事をモチーフにし、WOWの解釈を加えてビジュアルライズしました。スクリーンの前でお面を付けると、自分のシルエットがそれぞれの姿に変化して、その行事が人々にもたらす恵みがアニメーションで映し出されます。自分以外の存在、人間以外の何者かへと“化ける”という不思議な力を、楽しみながら体験する試み。東北の風土が生んだ伝統文化に、まったく新しい表現を通して触れてもらうことで、その価値を次の世代へ受け継いでいきたいという願いを込めた作品です。



なまはげ Namahage



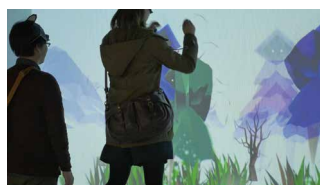
早乙女 Saotome



鹿踊 Shishiodori



加勢鳥 Kasedori



WOW <http://www.w0w.co.jp/> <http://wowlab.net/>

東京、仙台、サンフランシスコに拠点を置くビジュアルデザインスタジオ。CM やコンセプト映像など、広告における多様な映像表現から、さまざまな空間におけるインスタレーション映像演出、メーカーと共同で開発するユーザーインターフェイスデザインまで、既存のメディアやカテゴリーにとらわれない、幅広いデザインワークをおこなっている。

実際の作品や鹿踊の様子はこちらで動画でご覧いただけます。<http://bakeru.jp>

BAKERU

デジタルアートで「体感」する郷土芸能の世界

1日目 郷土芸能の学びと作品体験のためのお面作り

▶ 郷土芸能 実演・体験

”東京鹿踊”による演舞を鑑賞。
お祭りの意味や衣装について解説し、着付け体験をします。



▶ 体験用お面制作ワークショップ

「自分が変身するとしたら」をテーマに、デジタルアート体験のためのお面を自分でデザインします。



2日目 デジタルアート作品『BAKERU』の体験

▶ BAKERU の体験

ワークショップで作った体験用のお面を使って、デジタルアート作品『BAKERU』を体験します。



れいわ ねんど ぶんかげいじゆつ こども いくせいこうえんじぎょう じゆんかいこうえんじぎょう

令和2年度 文化芸術による子供育成総合事業 —巡回公演事業—

我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。